

次期箕面市総合計画策定のための
市民意識調査
【中間報告】

平成 20 年 12 月
箕 面 市

【目次】

1 . 調査の概要	1
2 . 調査結果	3
3 . 暮らしの満足度・重要度について	65
(1) 調査項目一覧	66
(2) 結果散布図	67
(3) 地区別結果散布図	69
4 . 前回調査との比較	79
5 . 自由回答	93
6 . 総評	105
7 . 資料編	109
(1) 調査票	110

1 . 調査の概要

(1) 調査の目的

平成 23 年度(2011 年度)からはじまる次期箕面市総合計画の策定にあたり、まちづくりの方針を示す最も基本となる計画であることから、市民の皆様のご意見を反映すべく、市の現状に対してどのように感じているか、またこれからのまちづくりに関してどう考えているのかを把握するためアンケート調査を実施しました。

(2) 調査の概要

調査区域	: 箕面市全域
調査対象	: 16 歳以上の市民から 2,000 人を無作為抽出
調査時期	: 平成 20 年 7 月
配布数	: 2,000 票
回収数	: 1,005 票
回収率	: 50.3%

(3) 報告書の留意事項

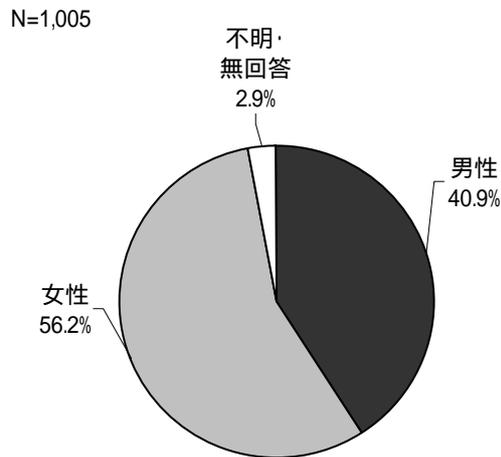
回答結果は小数点第 2 位を四捨五入しています。このため単数回答（選択肢からひとつを選ぶ方式）であっても合計値がちょうど 100.0%にならない場合があります。

2 . 調查結果

あなた自身のことについてお伺いします

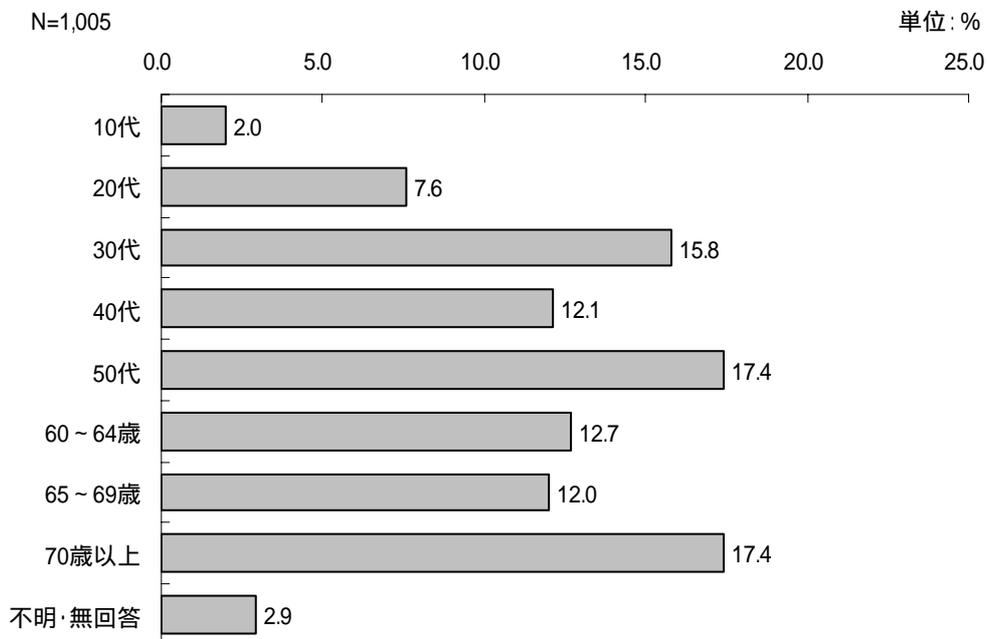
問1 - あなたの性別をお知らせください。

回答者の性別について見ると、「女性」が56.2%、「男性」が40.9%となっています。



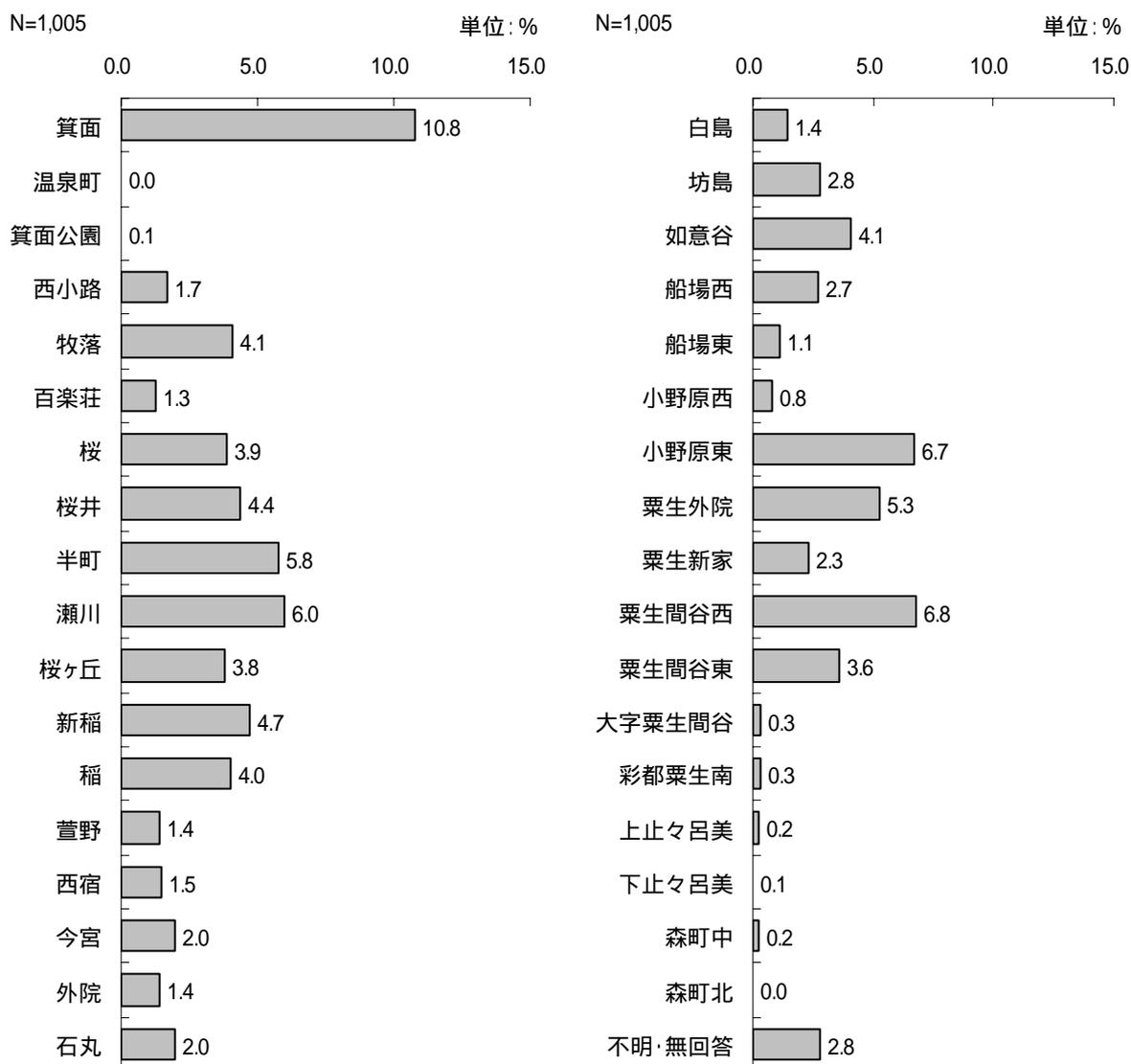
問1 - あなたの年代をお知らせください。

回答者の年代について見ると、「50代」「70歳以上」が最も高く17.4%、次いで「30代」が15.8%となっています。



問1 - あなたは箕面市のどの地区にお住まいですか。

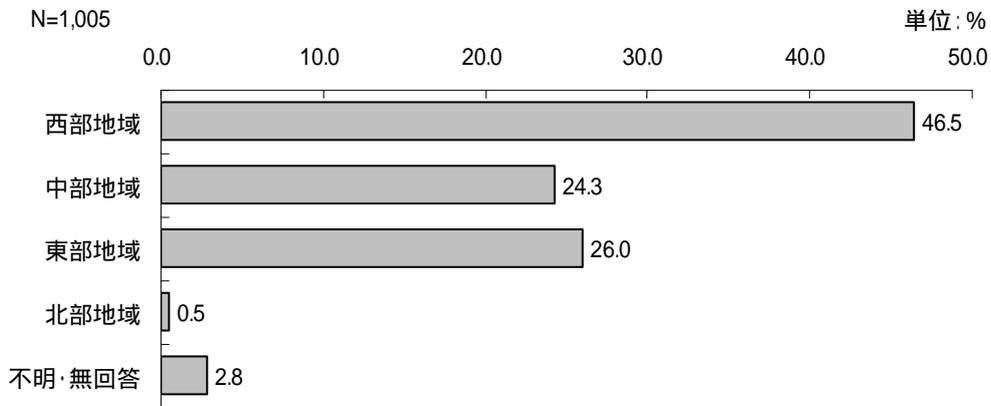
回答者の居住地区について見ると、「箕面」が最も高く10.8%となっています。



地区分類

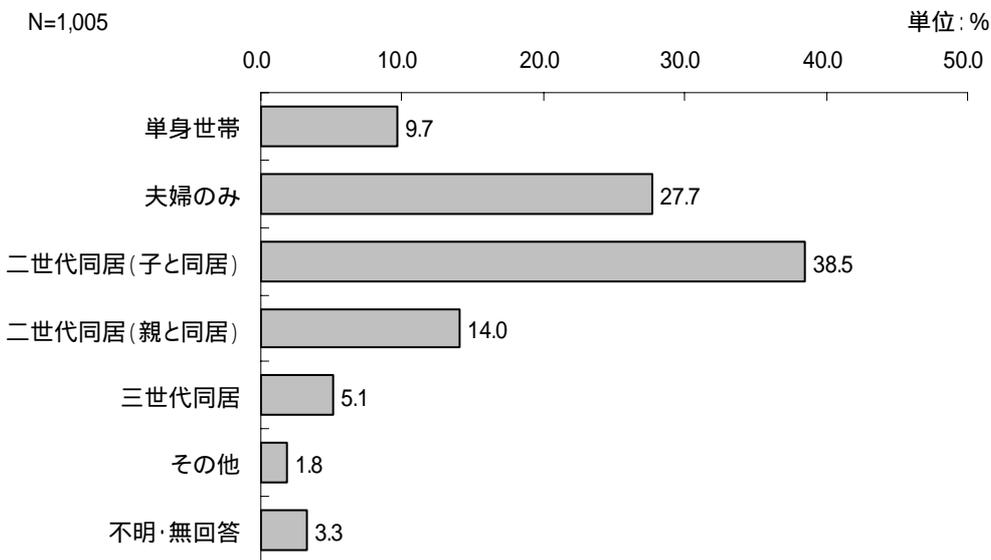
西部地域	箕面、温泉町、箕面公園、西小路、牧落、百楽荘、桜、桜井、半町、瀬川、桜ヶ丘、新稲
中部地域	稲、萱野、西宿、今宮、外院、石丸、白島、坊島、如意谷、船場西、船場東
東部地域	小野原西、小野原東、粟生外院、粟生新家、粟生間谷西、粟生間谷東、大字粟生間谷、彩都粟生南
北部地域	上止々呂美、下止々呂美、森町中、森町北

回答者の居住地域について見ると、「西部地域」が最も高く 46.5%となっています。



問 1 - あなたのご家族の構成をお知らせください。

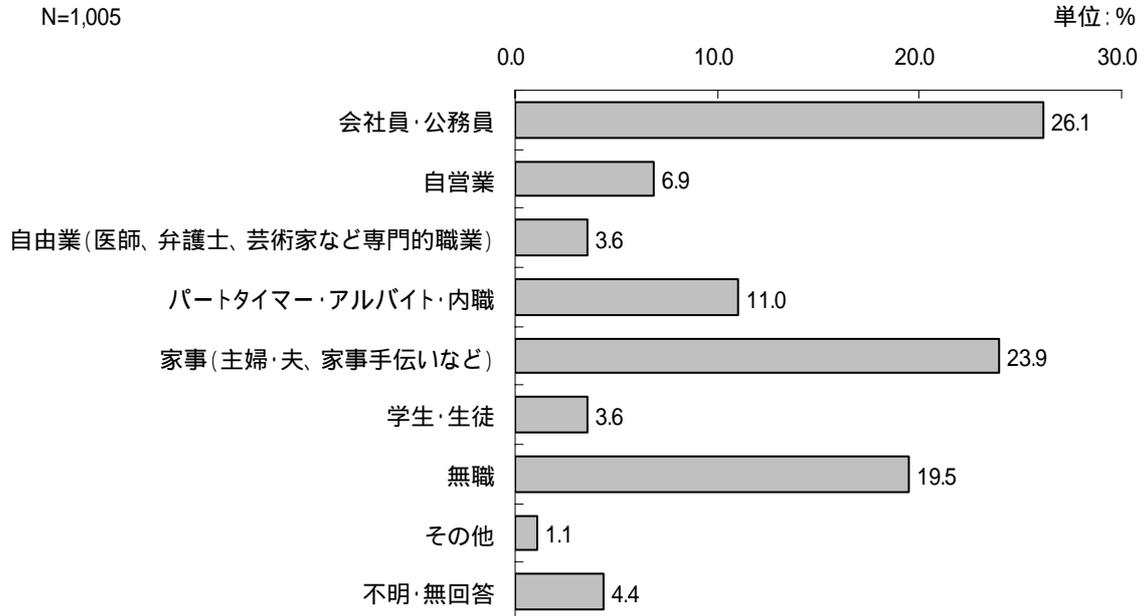
回答者の家族構成について見ると、「二世世代同居(子と同居)」が最も高く 38.5%、次いで「夫婦のみ」が 27.7%となっています。



その他回答			
内容	件数	内容	件数
親子	4	本人と同居人	1
母子家庭	2	夫婦と息子と義妹	1
夫婦と子供	3	姉	1
同棲	1	夫婦と姉	1
夫婦・子・姉	1	娘2人、夫、いずれも別居中	1
祖母	1		

問1 - あなたの主な職業をお知らせください。

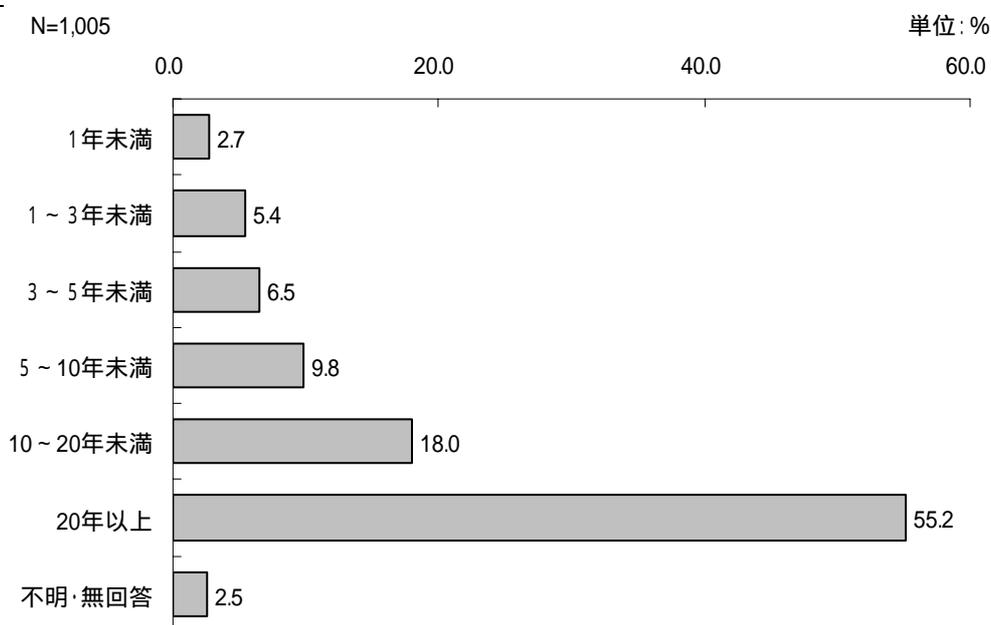
回答者の職業について見ると、「会社員・公務員」が最も高く 26.1%、次いで「家事（主婦・夫、家事手伝いなど）」が 23.9%となっています。



その他回答	
内容	件数
シルバー人材センター	1
非常勤嘱託職員	1
私立学校教師	1
会社役員	1
非常勤役員	1
契約社員	1
特別支援学校のバスの介添人	1
大学院教授	1
農業	1

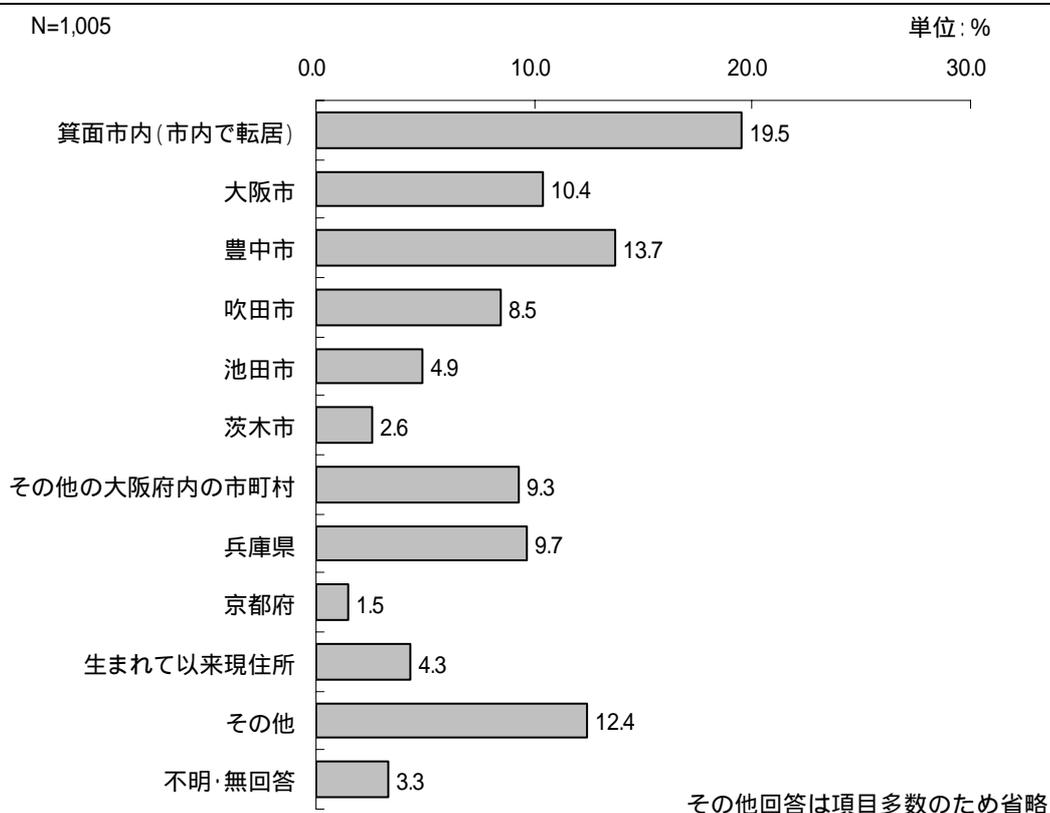
問 1 - 箕面市にお住まいになって何年ぐらいになりますか。

回答者の居住歴について見ると、「20年以上」が最も高く55.2%、次いで「10～20年未満」が18.0%となっています。



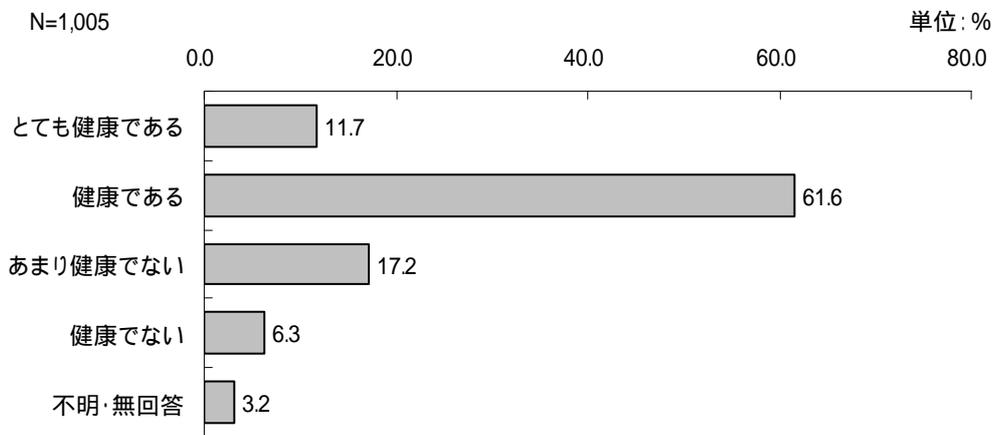
問 1 - 現在のお住まいの所に来られる前はどちらに住んでおられましたか。

回答者の以前の居住地について見ると、「箕面市内(市内で転居)」が最も高く19.5%、次いで「豊中市」が13.7%となっています。



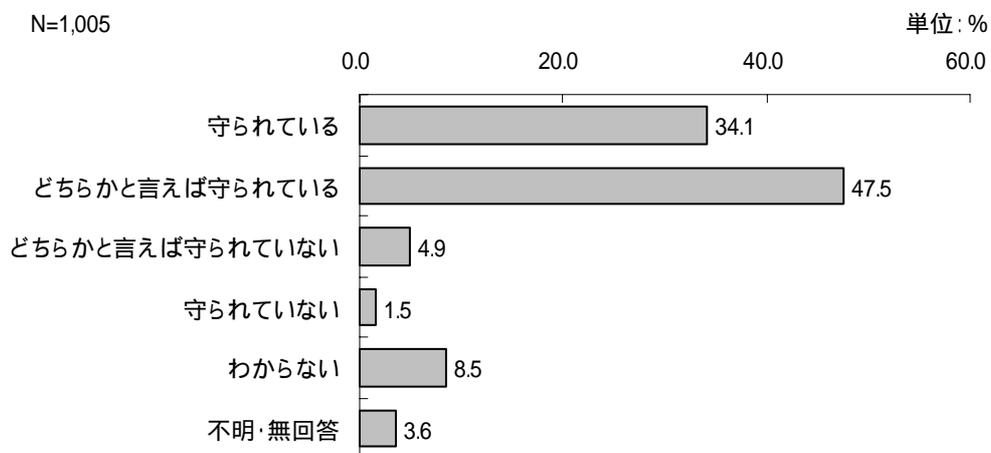
問1 - あなたは、自分の健康についてどのように考えていますか。

回答者の健康観について見ると、「健康である」が最も高く 61.6%、次いで「あまり健康でない」が 17.2%となっています。



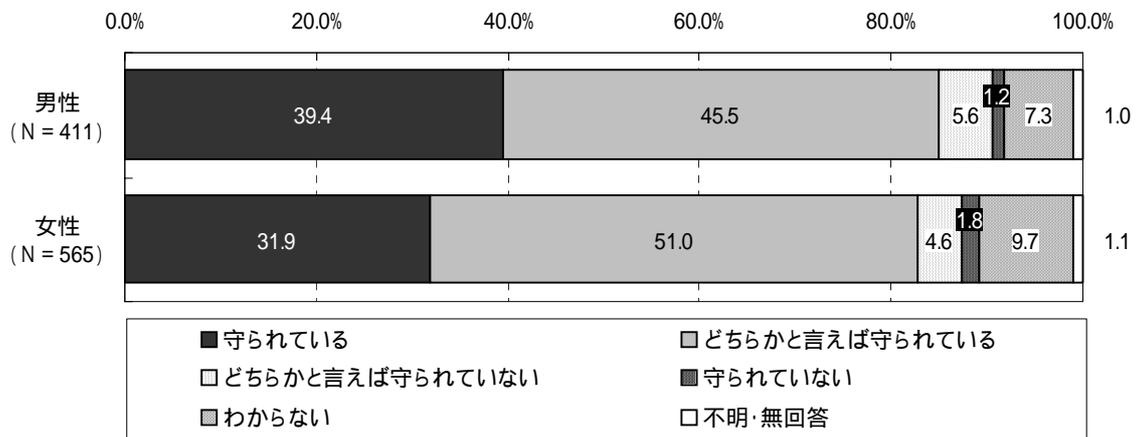
問1 - あなたの人権は守られていると思いますか。

人権についての考えを見ると、「どちらかと言えば守られている」が最も高く 47.5%、次いで「守られている」が 34.1%となっています。



問 1 - × 性別

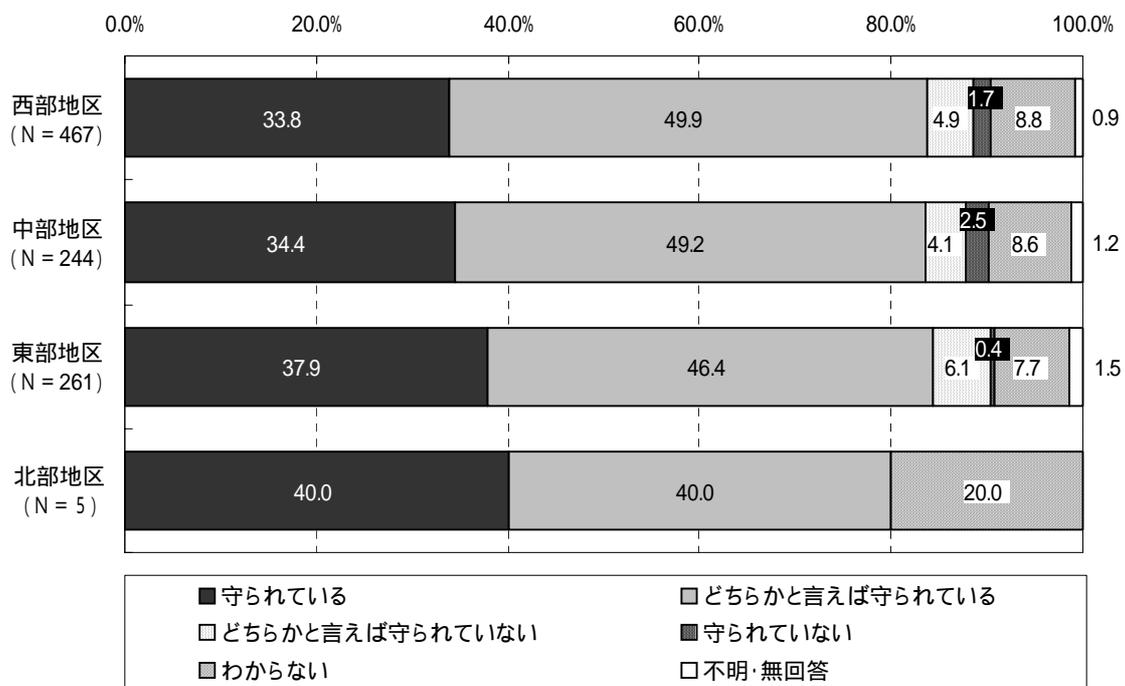
人権についての考えを性別に見ると、「守られている」の割合で、女性が 31.9%と男性に比べ 7.5 ポイント低くなっています。性別によって、人権に関する捉え方に差があることがわかります。



男性の方が、「人権が守られている」と感じている人が多くなっている

問 1 - × 地区別

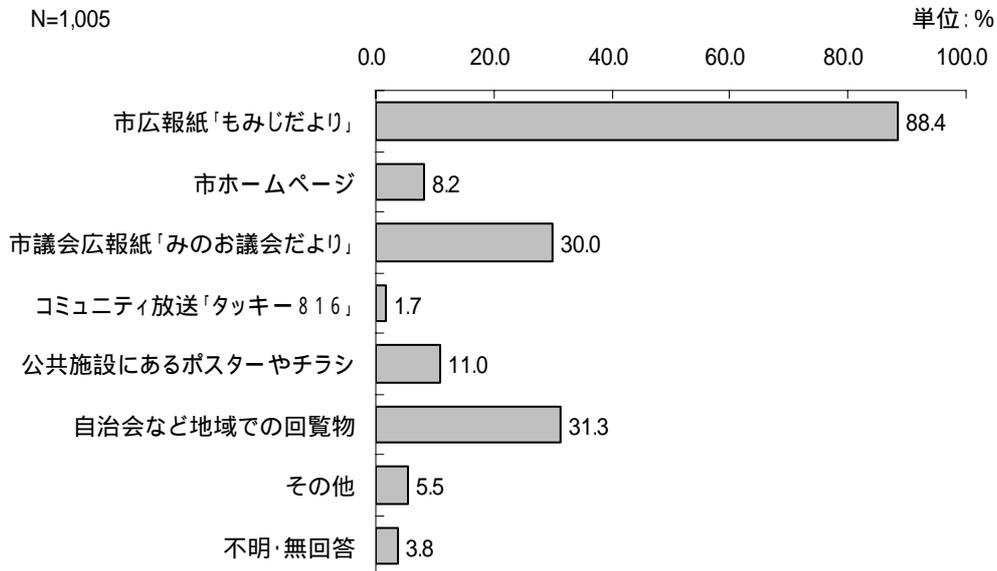
人権についての考えを地区別に見ると、「守られている」の割合で、西部地区が 33.8%と他の地区に比べ低くなっています。



地区別で人権意識に若干の差が見られる

問1 - あなたは、行政の情報をどのような方法で得ていますか。

行政情報の入手方法を見ると、「市広報紙『もみじだより』」が最も高く 88.4%、次いで「自治会など地域での回覧物」が 31.3%となっています。



その他回答	
内容	件数
興味がない・特に何も見ていない	15
議員が個人的に発行している新聞・パンフレット	9
知人などの話	6
子ども会・学校	4
配布されるビラ	3
家族から	2
親の話	2
市の主催する行政説明会・行事・市民活動	2
妻から	1
夫から	1
子供夫婦から	1
居住して3ヶ月、まだ得られていない	1
テレビや他者との会話から	1
施設職員から	1
市役所に電話かメールで	1
ニュースやうわさ	1
集まりの場	1

問 1 - × 性別

行政情報の入手方法を性別で見ると、男女ともに「市広報紙『もみじだより』」が最も高くなっていますが、女性の方が割合が高くなっています。また、「市ホームページ」では男性が10.7%と女性に比べ4ポイント高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	市広報紙 「もみじだより」	市 ホームページ	市議会広報紙 「みのお議会 だより」	コミュニティ放送 「タッキー816」
合計	1,005 100.0	888 88.4	82 8.2	302 30.0	17 1.7
男性	411 100.0	360 87.6	44 10.7	119 29.0	6 1.5
女性	565 100.0	524 92.7	38 6.7	182 32.2	11 1.9
上段:度数 下段:%	公共施設にある ポスターやチラシ	自治会など 地域での回覧物	その他	不明・無回答	
合計	111 11.0	315 31.3	55 5.5	38 3.8	
男性	34 8.3	117 28.5	31 7.5	7 1.7	
女性	77 13.6	196 34.7	23 4.1	6 1.1	

行政情報の入手先は広報紙や自治会の回覧物などは女性が、市ホームページは男性が高くなっている

問 1 - × 年代別

行政情報の入手方法を年代別で見ると、いずれの年代でも「市広報紙『もみじだより』」が最も高くなっていますが、若い世代ほど割合が低くなっています。また 40 代以上では「市議会広報紙『みのお議会だより』」「自治会など地域での回覧物」の割合が 3 割を超えています。

上段:度数 下段:%	合計	市広報紙 「もみじだより」	市 ホームページ	市議会広報紙 「みのお議会 だより」	コミュニティ放送 「タッキー 816」
合計	1,005 100.0	888 88.4	82 8.2	302 30.0	17 1.7
10代	20 100.0	11 55.0	1 5.0	- -	- -
20代	76 100.0	62 81.6	8 10.5	11 14.5	1 1.3
30代	159 100.0	137 86.2	25 15.7	32 20.1	2 1.3
40代	122 100.0	116 95.1	13 10.7	37 30.3	2 1.6
50代	175 100.0	166 94.9	13 7.4	68 38.9	5 2.9
60～64歳	128 100.0	119 93.0	8 6.3	44 34.4	1 0.8
65～69歳	121 100.0	112 92.6	9 7.4	48 39.7	4 3.3
70歳以上	175 100.0	161 92.0	5 2.9	62 35.4	2 1.1
上段:度数 下段:%	公共施設にある ポスターやチラシ	自治会など 地域での回覧物	その他	不明・無回答	
合計	111 11.0	315 31.3	55 5.5	38 3.8	
10代	5 25.0	1 5.0	3 15.0	1 5.0	
20代	14 18.4	4 5.3	9 11.8	2 2.6	
30代	20 12.6	31 19.5	10 6.3	3 1.9	
40代	21 17.2	39 32.0	12 9.8	- -	
50代	14 8.0	71 40.6	6 3.4	1 0.6	
60～64歳	13 10.2	58 45.3	6 4.7	1 0.8	
65～69歳	9 7.4	45 37.2	2 1.7	1 0.8	
70歳以上	15 8.6	64 36.6	7 4.0	4 2.3	

行政情報の入手先は 40 代以上では広報紙が 9 割を超えている

問 1 - × 地区別

行政情報の入手方法を地区別で見ると、いずれの年代でも「市広報紙『もみじだより』」が最も高くなっています。また、中部地区では「自治会など地域での回覧物」の割合が26.6%と他の地区と比べ低くなっています。(サンプル数の少ない北部地区を除く)

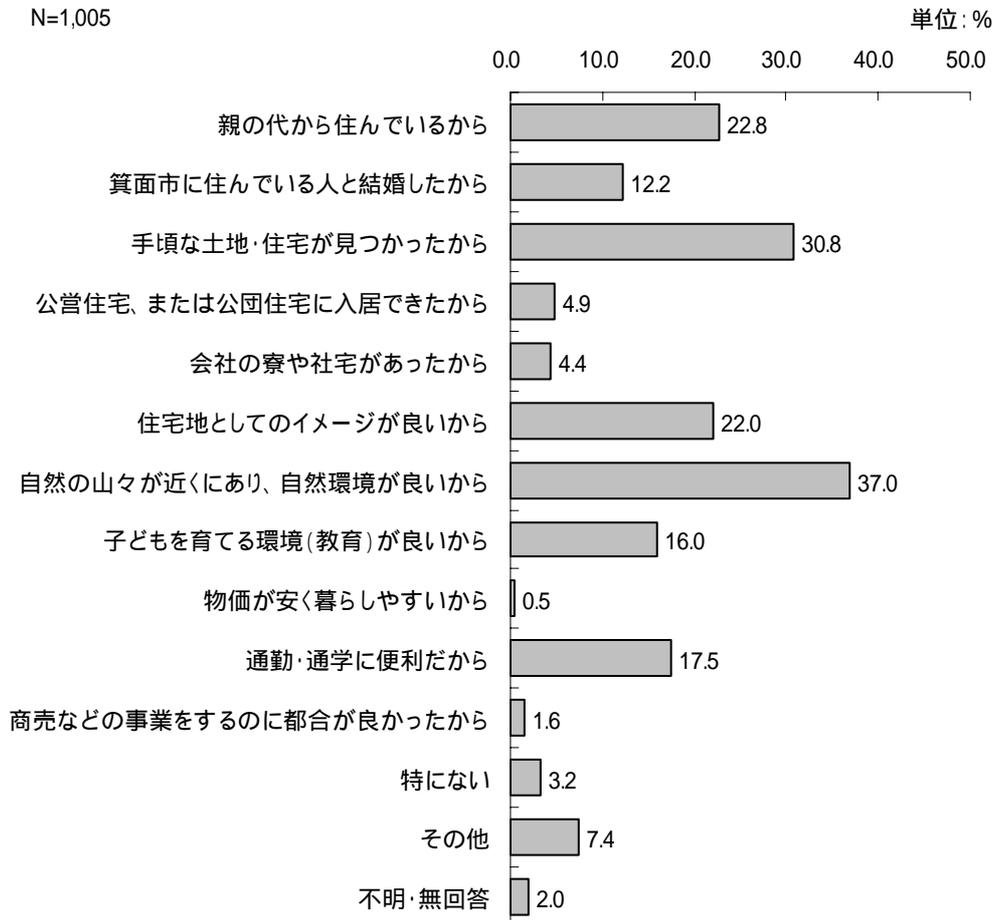
上段:度数 下段:%	合計	市広報紙 「もみじだより」	市 ホームページ	市議会広報紙 「みのお議会 だより」	コミュニティ放送 「タッキー816」
合計	1,005 100.0	888 88.4	82 8.2	302 30.0	17 1.7
西部地区	467 100.0	415 88.9	39 8.4	140 30.0	9 1.9
中部地区	244 100.0	225 92.2	25 10.2	73 29.9	5 2.0
東部地区	261 100.0	240 92.0	18 6.9	89 34.1	3 1.1
北部地区	5 100.0	5 100.0	-	-	-
上段:度数 下段:%	公共施設にある ポスターやチラシ	自治会など 地域での回覧物	その他	不明・無回答	
合計	111 11.0	315 31.3	55 5.5	38 3.8	
西部地区	51 10.9	152 32.5	32 6.9	6 1.3	
中部地区	28 11.5	65 26.6	10 4.1	4 1.6	
東部地区	30 11.5	98 37.5	13 5.0	3 1.1	
北部地区	2 40.0	-	-	-	

行政情報の入手先は中部地区で自治会など地域での回覧物の割合が若干低くなっている

市内での定住意向などについてお伺いします

問2 あなたが、箕面市に住むようになられた主な理由は何ですか。

箕面市に住むようになった理由を見ると、「自然の山々が近くにあり、自然環境が良いから」が最も高く37.0%、次いで「手頃な土地・住宅が見つかったから」が30.8%となっています。



その他回答			
内容	件数	内容	件数
娘夫婦が近くに住んでいるから	4	夫が少年時代を過ごし愛着のある土地だったから	1
転勤のため	4	夫が決めた	1
親の都合	3	子供のころ北摂に住んでいたため	1
兄弟が近くに住んでいるから	2	学生時代通っていて土地かんがあったから	1
実家が近いから	2	公共施(図書館)が充実しているから	1
実家に同居	2	地震後、身内を通じて購入したから	1
息子が住んでいるから	2	海外に行くことが多く、当時大阪空港が国際空港だったから	1
子供の家に同居のため	2	結婚するとき、夫の会社が箕面だったから	1
親の家があったから	2	医療・保健・衛生にいいと聞いた	1
仕事のため	2	大阪市内の家が立ち退きになったから	1
病院が近くにあるので	2	父方が箕面だったから	1
土地があったから	2	過去はイメージがよかったから	1
親の面倒をみるため実家の近く	2	猫を飼っているの	1
梅田まで40分で行けるから	1	不動産業者の勧め	1
夫が国立循環器病センターに通っていたから	1	エアコンを使わなくても快適だと情報を得たから	1
有料老人ホーム入居のため	1	結婚のため	1
福祉の充実	1	精神病にて入院目的	1
過去に池田市に居住していたから	1	カルフルが近くにあったから	1
数少ないコーポラティブ住宅の計画があったから	1		

問 2 × 年代別

箕面市に住むようになった理由を年代別に見ると、10代・20代では、「親の代が住んでいるから」が、60～64歳では「手頃な土地・住宅が見つかったから」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	親の代から住んでいるから	箕面市に住んでいる人と結婚したから	手頃な土地・住宅が見つかったから	公営住宅、または公園住宅に入居できたから
合計	1,005 100.0	229 22.8	123 12.2	310 30.8	49 4.9
10代	20 100.0	10 50.0	-	2 10.0	1 5.0
20代	76 100.0	35 46.1	5 6.6	13 17.1	2 2.6
30代	159 100.0	51 32.1	23 14.5	37 23.3	2 1.3
40代	122 100.0	30 24.6	15 12.3	35 28.7	5 4.1
50代	175 100.0	33 18.9	20 11.4	63 36.0	12 6.9
60～64歳	128 100.0	15 11.7	17 13.3	58 45.3	4 3.1
65～69歳	121 100.0	23 19.0	22 18.2	34 28.1	7 5.8
70歳以上	175 100.0	21 12.0	19 10.9	59 33.7	16 9.1
上段:度数 下段:%	会社の寮や社宅があったから	住宅地としてのイメージが良いから	自然の山々が近くにあり、自然環境が良いから	子どもを育てる環境(教育)が良いから	物価が安く暮らしやすいから
合計	44 4.4	221 22.0	372 37.0	161 16.0	5 0.5
10代	-	1 5.0	-	1 5.0	-
20代	3 3.9	12 15.8	20 26.3	6 7.9	-
30代	8 5.0	32 20.1	56 35.2	31 19.5	-
40代	9 7.4	25 20.5	46 37.7	31 25.4	-
50代	9 5.1	42 24.0	70 40.0	23 13.1	-
60～64歳	5 3.9	40 31.3	54 42.2	26 20.3	2 1.6
65～69歳	3 2.5	28 23.1	45 37.2	21 17.4	2 1.7
70歳以上	4 2.3	37 21.1	72 41.1	16 9.1	1 0.6
上段:度数 下段:%	通勤・通学に便利だから	商売などの事業をするのに都合良かったから	特にない	その他	不明・無回答
合計	176 17.5	16 1.6	32 3.2	74 7.4	20 2.0
10代	-	-	6 30.0	2 10.0	-
20代	17 22.4	-	6 7.9	4 5.3	1 1.3
30代	40 25.2	1 0.6	4 2.5	10 6.3	3 1.9
40代	32 26.2	1 0.8	1 0.8	9 7.4	1 0.8
50代	32 18.3	1 0.6	3 1.7	21 12.0	1 0.6
60～64歳	16 12.5	2 1.6	1 0.8	7 5.5	3 2.3
65～69歳	12 9.9	4 3.3	5 4.1	5 4.1	3 2.5
70歳以上	21 12.0	6 3.4	5 2.9	16 9.1	6 3.4

住むようになった理由は、若い世代では「親の代から住んでいるから」、30代以上では「自然環境が良い」が高くなっている

問 2 × 地区別

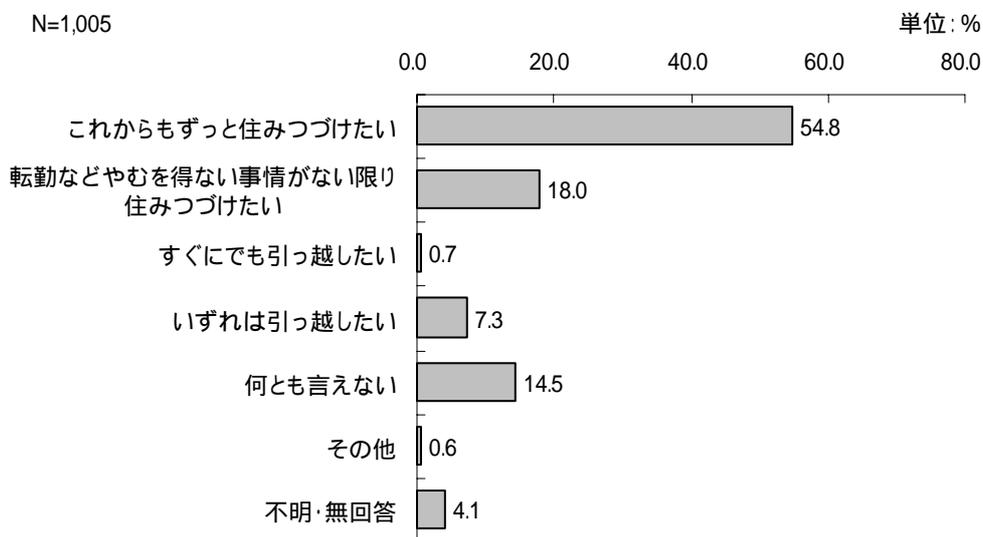
箕面市に住むようになった理由を地区別に見ると、いずれの地区でも「自然の山々が近くにあり、自然環境が良いから」が最も高く、特に東部地区では、4割を超えています。(サンプル数の少ない北部地区を除く)

上段:度数 下段:%	合計	親の代から住んでいるから	箕面市に住んでいる人と結婚したから	手頃な土地・住宅が見つかったから	公営住宅、または公団住宅に入居できたから
合計	1,005 100.0	229 22.8	123 12.2	310 30.8	49 4.9
西部地区	467 100.0	119 25.5	66 14.1	128 27.4	14 3.0
中部地区	244 100.0	45 18.4	29 11.9	90 36.9	13 5.3
東部地区	261 100.0	53 20.3	25 9.6	83 31.8	22 8.4
北部地区	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	- -
上段:度数 下段:%	会社の寮や社宅があったから	住宅地としてのイメージが良いから	自然の山々が近くにあり、自然環境が良いから	子どもを育てる環境(教育)が良いから	物価が安く暮らしやすいから
合計	44 4.4	221 22.0	372 37.0	161 16.0	5 0.5
西部地区	19 4.1	94 20.1	154 33.0	75 16.1	2 0.4
中部地区	14 5.7	47 19.3	97 39.8	29 11.9	1 0.4
東部地区	8 3.1	76 29.1	111 42.5	50 19.2	2 0.8
北部地区	- -	- -	1 20.0	- -	- -
上段:度数 下段:%	通勤・通学に便利だから	商売などの事業をするのに都合が良かったから	特にない	その他	不明・無回答
合計	176 17.5	16 1.6	32 3.2	74 7.4	20 2.0
西部地区	80 17.1	11 2.4	12 2.6	42 9.0	5 1.1
中部地区	47 19.3	3 1.2	7 2.9	15 6.1	6 2.5
東部地区	43 16.5	1 0.4	12 4.6	16 6.1	7 2.7
北部地区	- -	- -	- -	1 20.0	- -

住むようになった理由は、特に東部地区では、「自然環境が良い」が高くなっている

問3 あなたは、これからも箕面市（現在お住まいの地区）に住みつづけたいと思っておられますか。

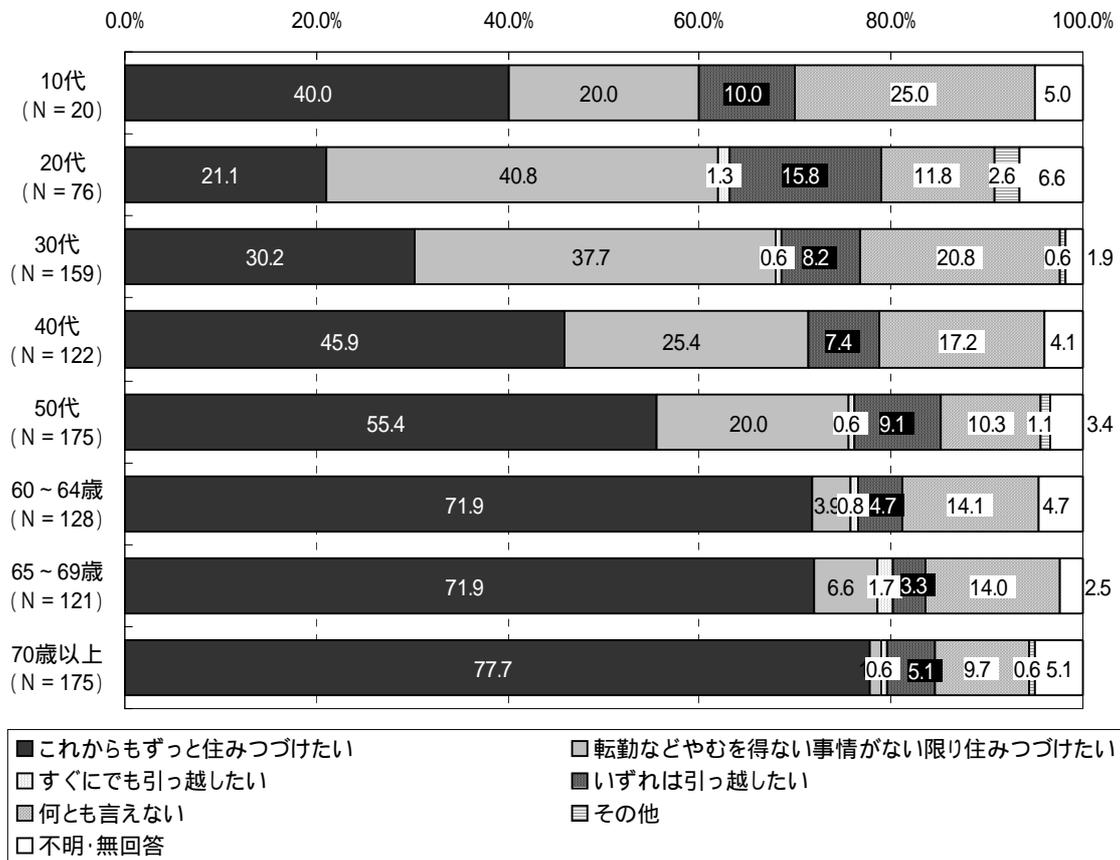
今後の定住意向について見ると、「これからもずっと住みつづけたい」が最も高く 54.8%、次いで「転勤などやむを得ない事情がない限り住みつづけたい」が 18.0%となっています。



その他回答	
内容	件数
社宅のため退職後は自宅へ戻る	1
転居できない	1
引っ越す予定	1
身体が動かなくなったら、他市に住んでいる長女のところへ行きたい	1

問3 × 年代別

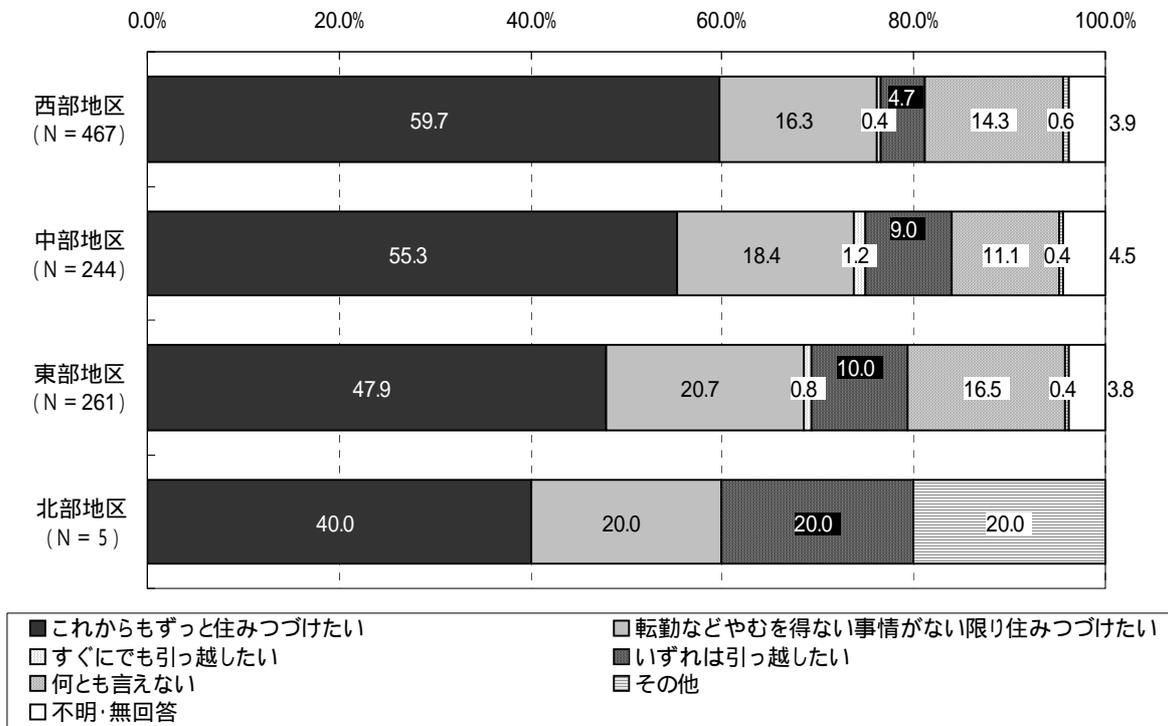
今後の定住意向について年代別に見ると、年代が上がるほど、「これからもずっと住みつけたい」の割合が高くなっており、60歳以上では、7割を超えています。



定住意向は、年代が上がるほど高くなっている

問3 × 地区別

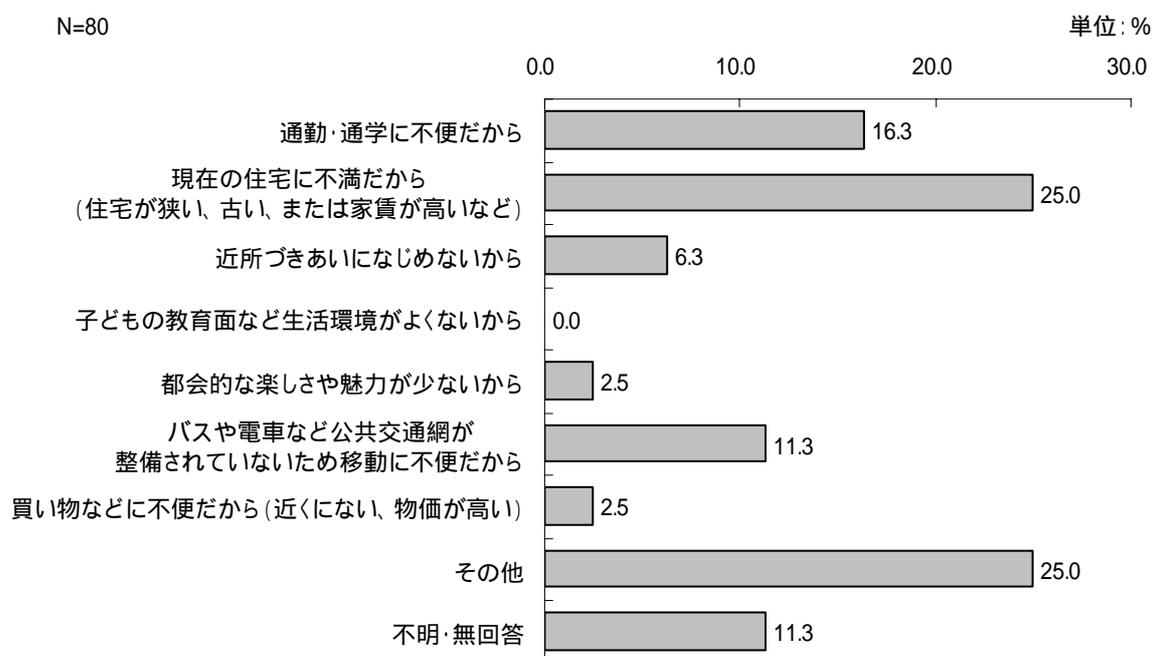
今後の定住意向について地区別に見ると、「これからもずっと住みつづけたい」では西部地区が最も高く約6割となっています。



定住意向は、特に西部地区で高くなっている

問3 - 1 【問3で「すぐにでも引っ越したい」または「いずれは引っ越したい」を選択された方のみ回答】あなたが引っ越したいと回答された最も大きな理由は何ですか。

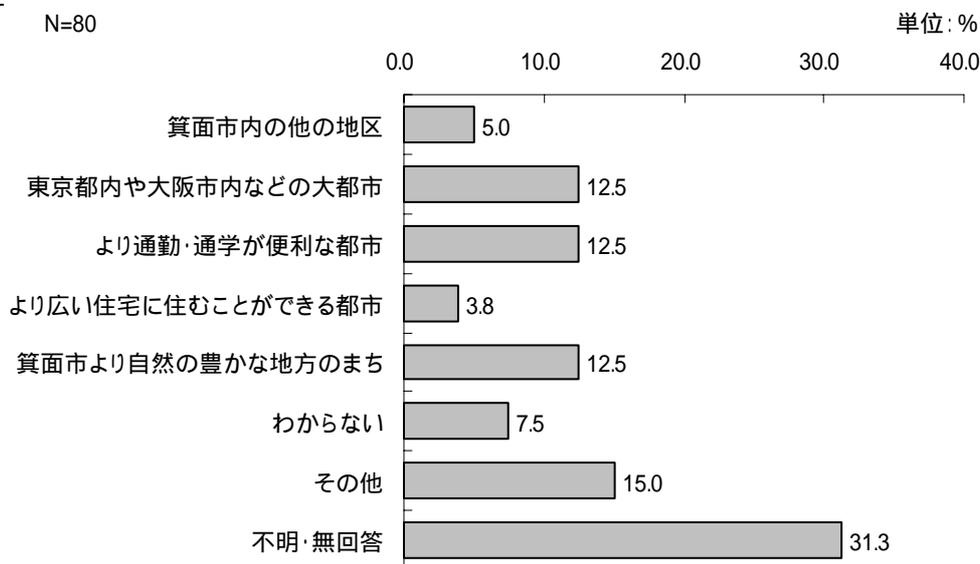
引っ越したい理由について見ると、「現在の住宅に不満だから（住宅が狭い、古い、または家賃が高いなど）」が最も高く 25.0%、次いで「通勤・通学に不便だから」が 16.3%となっています。



その他回答	
内容	件数
郷里へ	3
子供の近くへ	3
実家の近くへ	2
田舎暮らししたい	2
ゴミ袋・税金が高い	2
老後はもっと自然がほしい	1
都市計画・道路網が最悪だから	1
職場が箕面なので、定年になると住む理由がない	1
道路の騒音がやかましい	1
他でも住んでみたい	1
中途半端に全てが高い	1

問3 - 2 【問3で「すぐにでも引っ越したい」または「いずれは引っ越したい」を選択された方のみ回答】どのような地域に移りたいと考えていますか。

引っ越したい地域について見ると、「不明・無回答」「その他」を除き、「東京都内や大阪市内などの大都市」「より通勤・通学が便利な都市」「箕面市より自然の豊かな地方のまち」が15.0%と高くなっています。



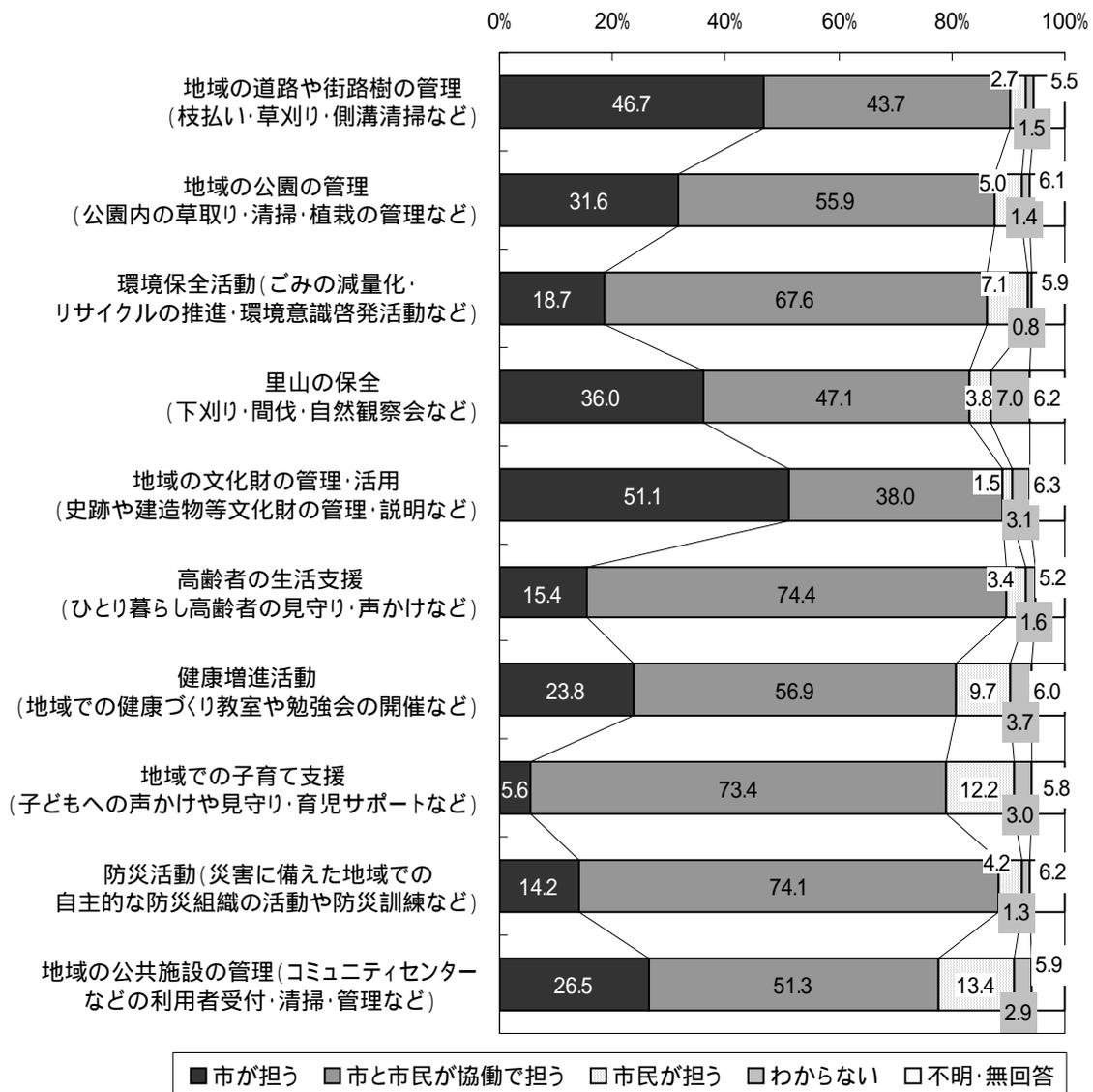
その他回答	
内容	件数
子供宅近く	2
高齢化に対応できる家のある地域	1
農業ができるところ	1
兄弟友人が多く、墓もあるため郷里に引っ越したい	1
性格の良い人がいるところ	1
関東地方	1
庶民的な地域	1
色んな電車の駅が近くにある大阪市内	1
阪神間	1
住宅環境がよい地区へ	1

これからのまちづくりについてお伺いします

問4 これからの社会では、市民のみなさんと市が役割分担をしながら、市民一人ひとりが主体となってまちづくりを進めていくことが必要です。それぞれの項目について、主に誰が中心となって進めていくべきだと考えますか。

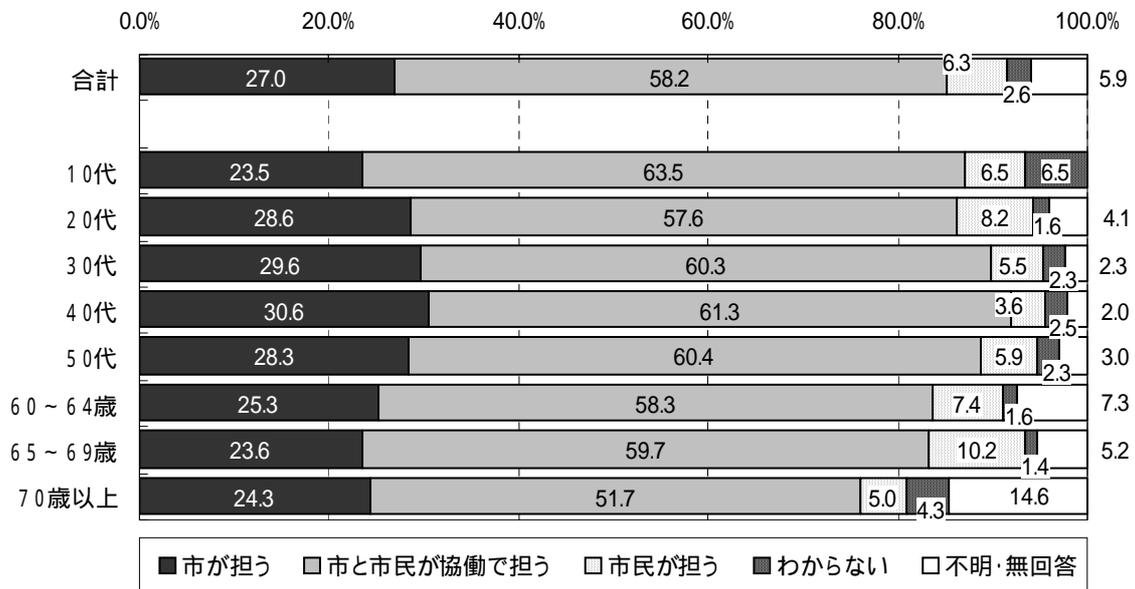
まちづくりの活動における市民と行政の役割分担について見ると、「地域の文化財の管理・活用（史跡や建造物等文化財の管理・説明など）」「地域の道路や街路樹の管理（枝払い・草刈り・側溝清掃など）」では、「市が担う」が高く、それ以外では「市と市民が協働で担う」が高くなっています。「地域の公共施設の管理（コミュニティセンターなどの利用者受付・清掃・管理など）」「地域での子育て支援（子どもへの声かけや見守り・育児サポートなど）」では、他の項目に比べ「市民が担う」が高くなっています。

N=1,005



問4 【(1)～(10)の平均】×年代別

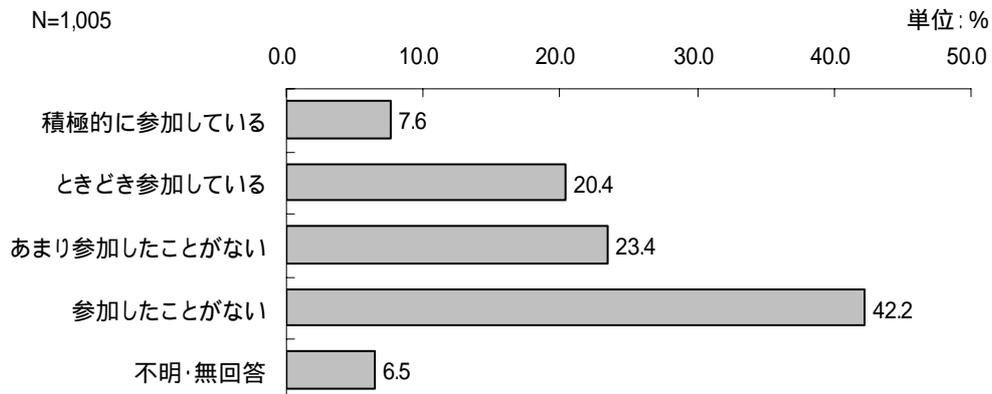
市民協働について、(1)～(10)の項目の平均を年代別に見ると、10代、30代～50代では、「市と市民が協働で担う」の割合が6割を超えています。



いずれの年代においても、さまざまな項目で協働意識が5割～6割となっている

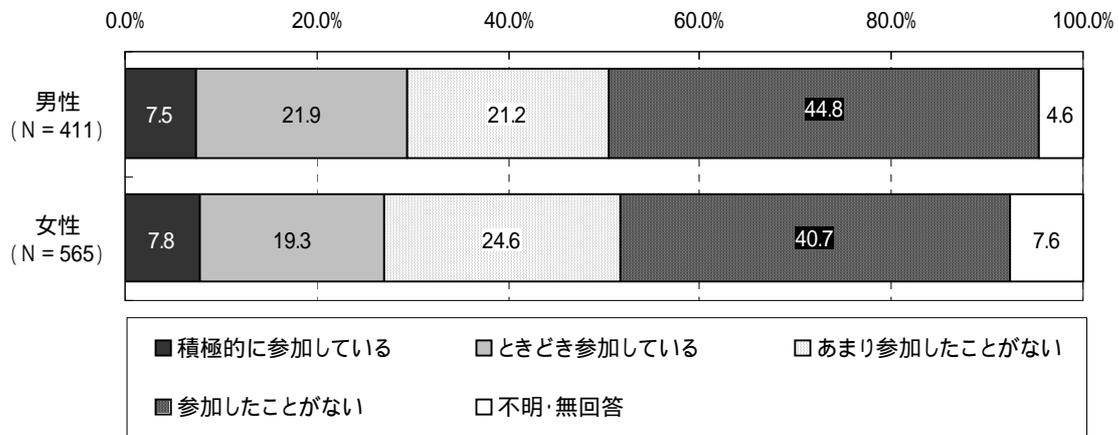
問5 あなたは、自治会や各種団体、ボランティア組織、NPOなどの活動に、どの程度参加したことがありますか。

地域活動への参加状況について見ると、「参加したことがない」が最も高く42.2%、次いで「あまり参加したことがない」が23.4%となっています。



問5 × 性別

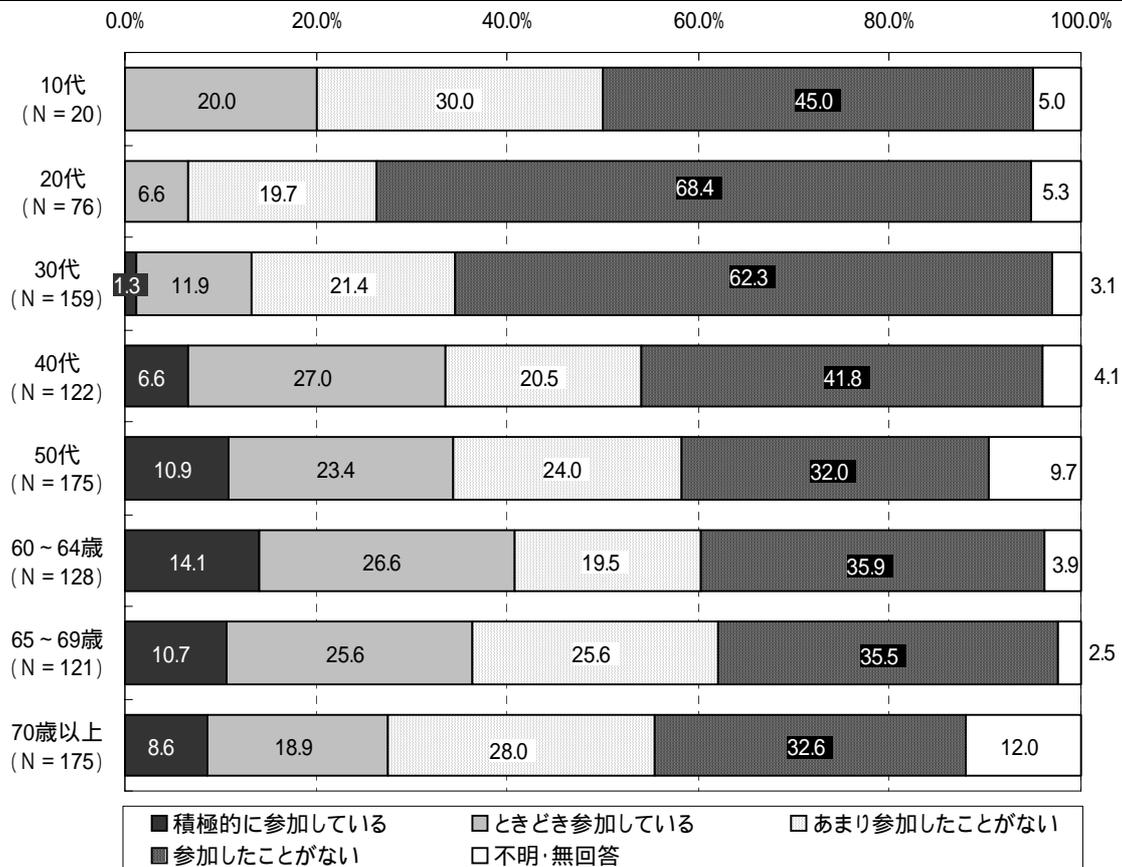
地域活動への参加状況について性別に見ると、男性の方が「積極的に参加している」「ときどき参加している」の割合の合計が女性に比べ高くなっています。



男性の方が地域活動に参加している割合が高くなっている

問5 × 年代別

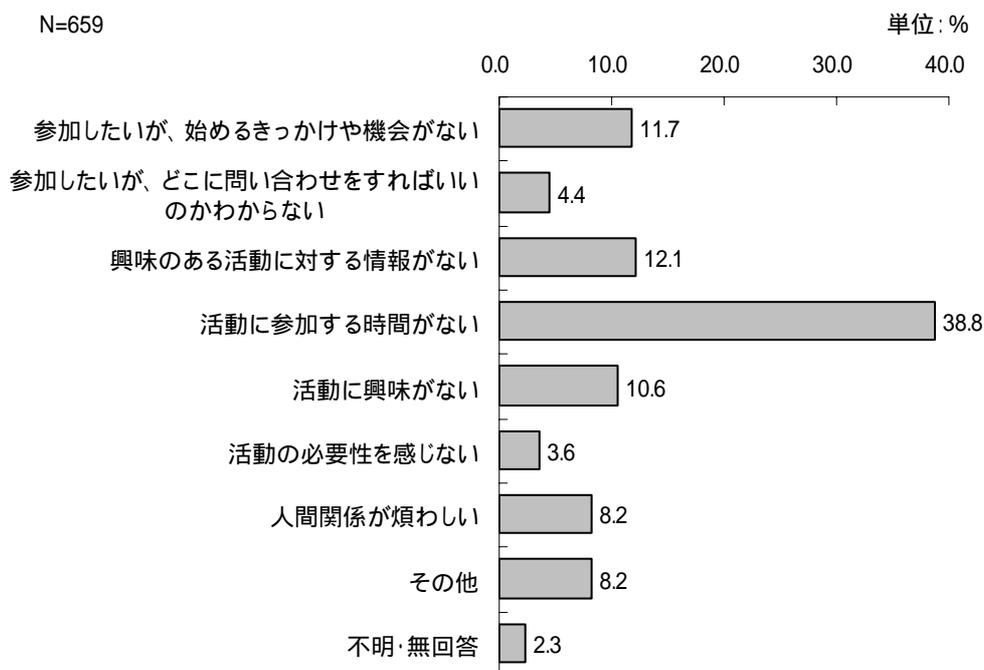
地域活動への参加状況について年代別に見ると、30代以下では「積極的に参加している」「ときどき参加している」の割合の合計が2割以下となっています。



20代・30代の地域活動への参加状況は、「参加したことがない」が6割以上

問5 - 1 【問5で「あまり参加したことがない」または「参加したことがない」を選択された方のみ回答】参加したことがないと回答された最も大きな理由は何ですか。

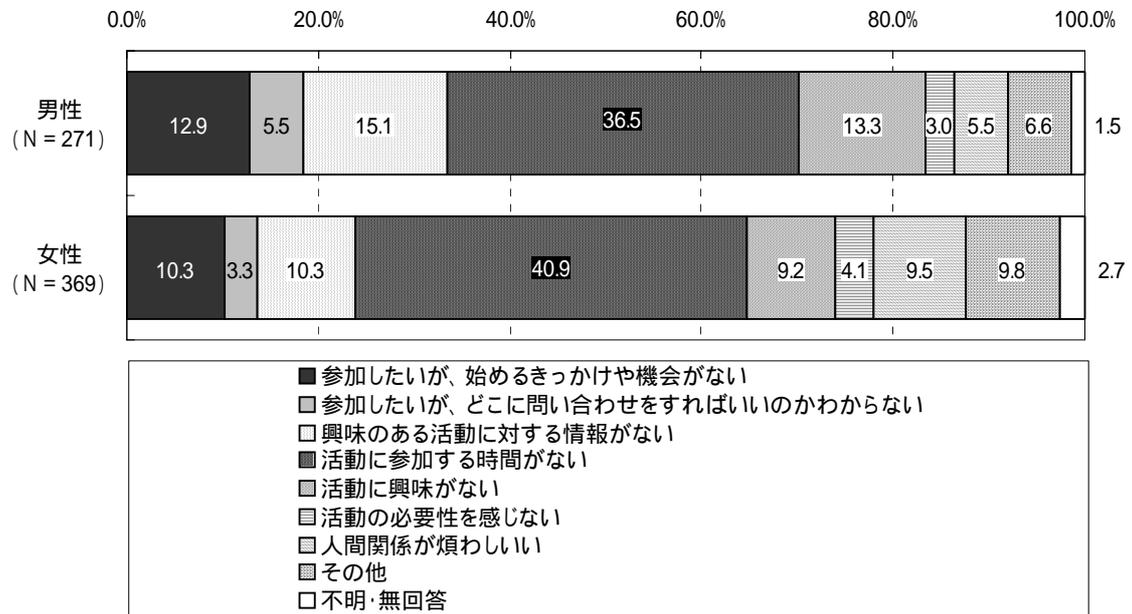
地域活動に参加したことがない理由について見ると、「活動に参加する時間がない」が最も高く38.8%、次いで「興味のある活動に対する情報がない」が12.1%となっています。



その他回答	
内容	件数
高齢のため	13
体調が悪い	11
体が不自由	9
引っ越してきたばかりで、わからない	2
小さい子がいるため	1
転勤族のためか、町内会の加入すらない	1
自治会の活動すら見えない状況で、参加を要請する気持ちがわからない	1
仕事で出張が多く参加する機会がない	1
自治会の活動が全く行なわれていない	1
どんな活動があるのか知らない	1
介護している	1
入院中	1

問5 - 1 × 性別

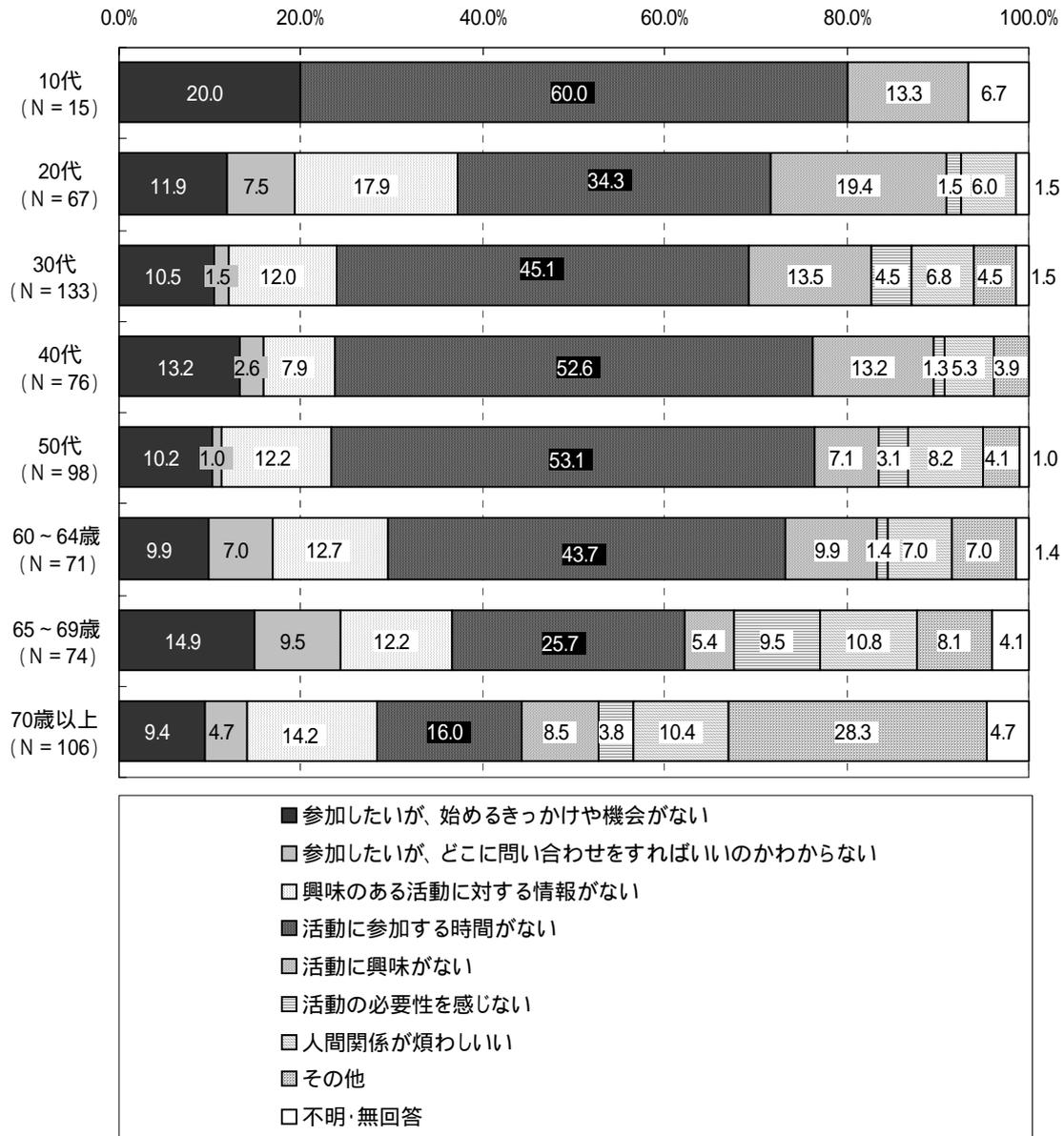
地域活動に参加したことがない理由について性別に見ると、女性の方が「活動に参加する時間がない」が高くなっています。



女性の方が「参加する時間がない」割合が高くなっている

問5 - 1 ×年代別

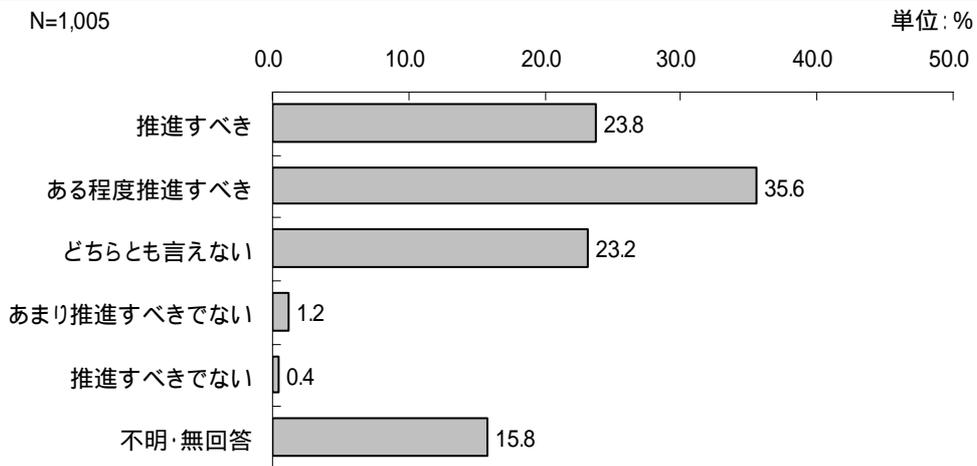
地域活動に参加したことがない理由について年代別に見ると、40代・50代で「活動に参加する時間がない」が5割を超えています。



30代～60代では、「参加する時間がない」割合が高くなっている

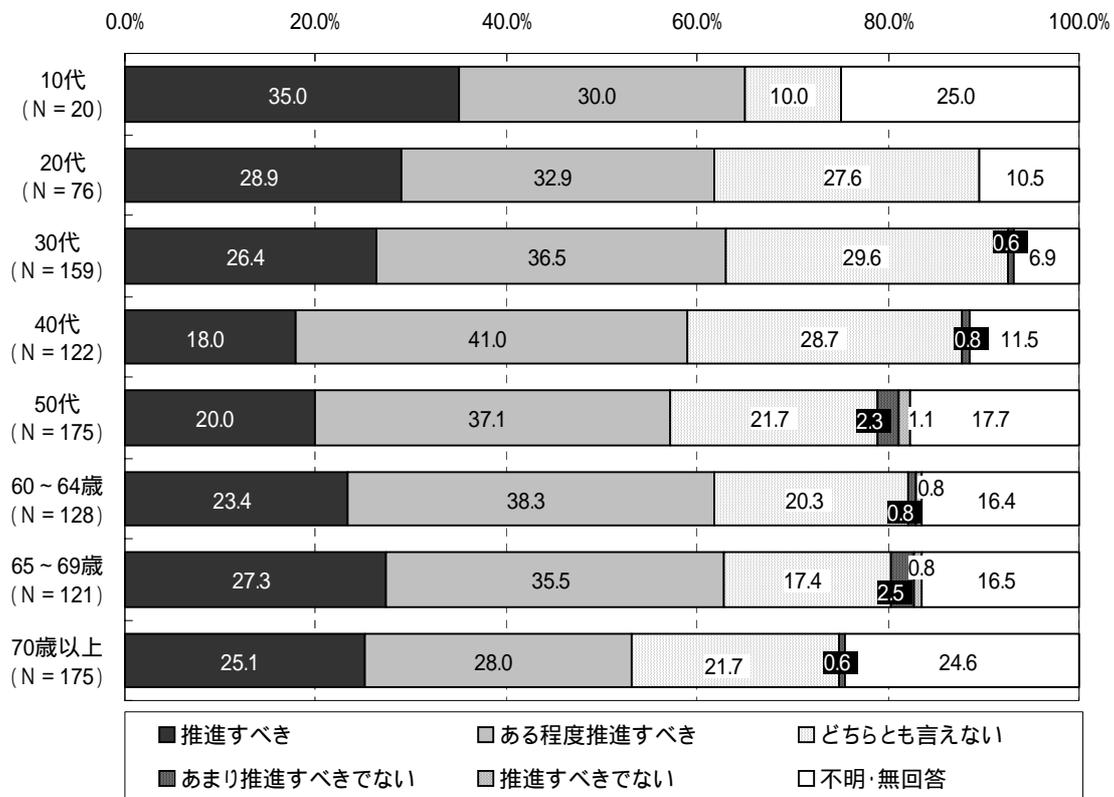
問6 市では、市民協働型社会の実現をめざしていますが、あなたは、このことについてどう考えますか。

市民協働型社会への考えについて見ると、「ある程度推進すべき」が最も高く 35.6%、次いで「推進すべき」が 23.8%となっています。



問6 × 年代別

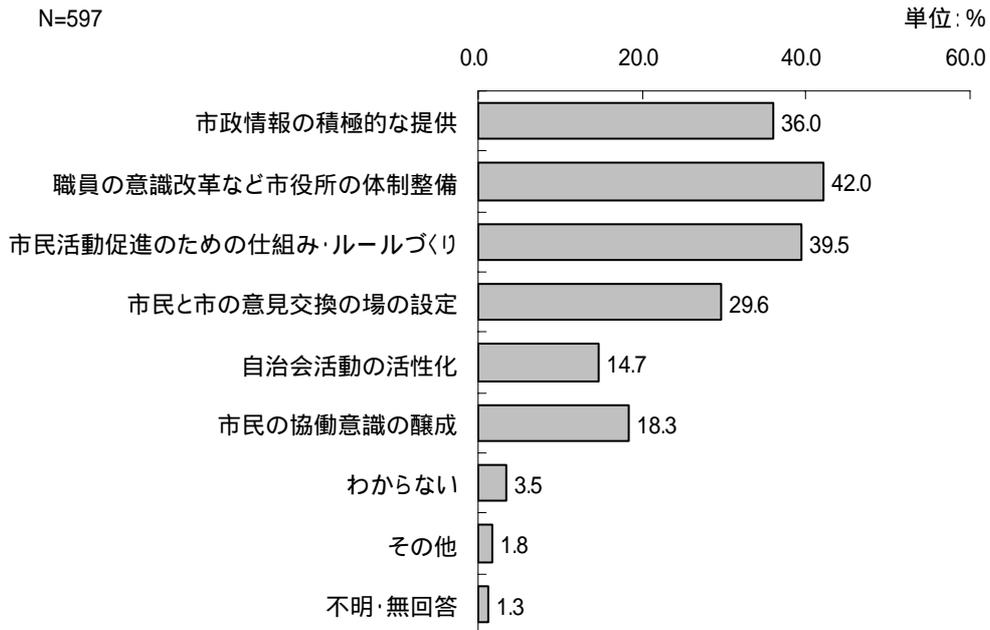
市民協働型社会への考えについて年代別に見ると、40代・50代では「推進すべき」が他の年代に比べ低くなっています。



40代・50代では、協働を「推進すべき」が低くなっている

問6 - 1 【問6で「推進すべき」または「ある程度推進すべき」を選択された方のみお答えください】市民協働型社会の実現のため、あなたは、市がどのようなことに取り組むべきだと考えますか。

市民協働型社会実現のために取り組むべきことについて見ると、「職員の意識改革など市役所の体制整備」が最も高く42.0%、次いで「市民活動促進のための仕組み・ルールづくり」が39.5%となっています。

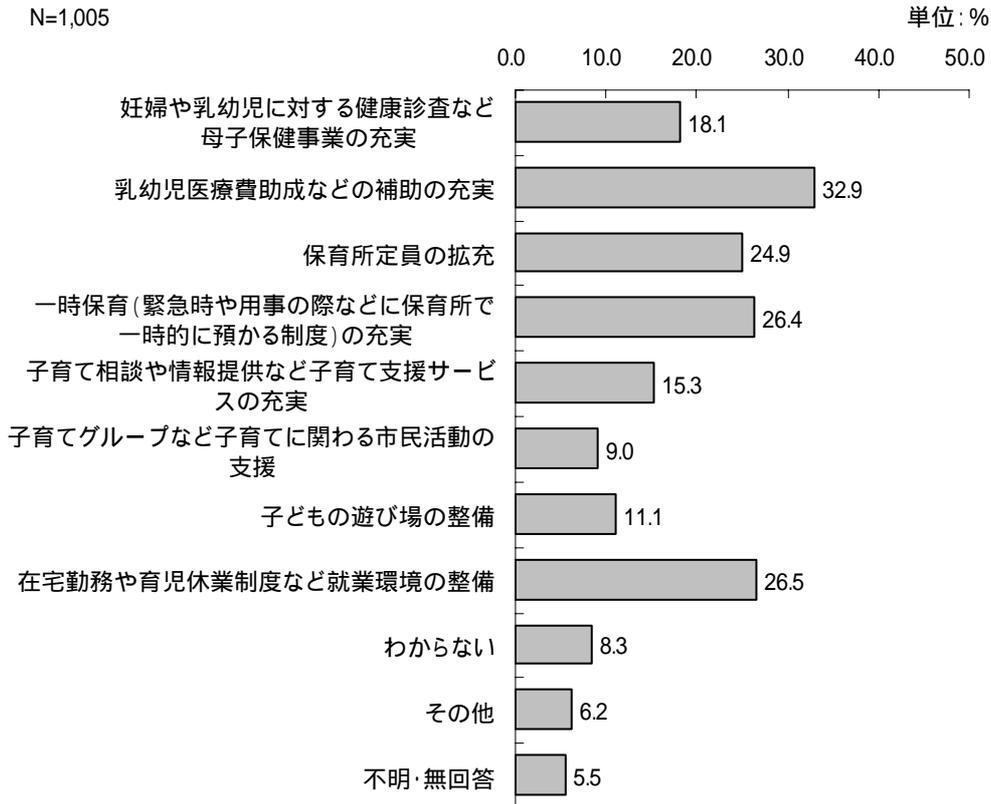


その他回答	
内容	件数
職員数の大幅な削減	2
軽労働で参加者募集	1
老人主体の社会であることを念頭に行政を広げる	1
市からの出費を減らす	1
市民活動に金を出す	1
市民全体の積極的な意識改革	1
市民税を安くする	1
市長以下全職員にモラルの徹底を	1
市民が参加する動機付けとなる何らかのインセンティブ	1
住民説明において結論ありきの進行をしないこと	1
市民の声を聞くべき	1
市民活動や福祉活動などもっとアピールする	1

【子育て環境】

問7 あなたは、少子化が進む中で、この変化に対応するには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。

少子化に対応するために必要なことについて見ると、「乳幼児医療費助成などの補助の充実」が最も高く 32.9%、次いで「在宅勤務や育児休業制度など就業環境の整備」が 26.5% となっています。



その他回答			
保育所について	件数	子どもの必要性を伝える	件数
病気の時に預かってもらえる保育所	2	子作りを推進する	1
公立保育所の存続	1	教育段階から子育ての楽しさや重要性、難しさを伝えられる教育体制が必要	1
保育所の拡張	1	親になりたいようなことを企画する	1
保育所の時間延長・24時間保育	1	若者に子供の必要性を伝える	1
補助金・助成金について	件数	市民の遊びなどによる市民同士のつながりが始まる企画を展開する	件数
養育費助成の充実	5	公営住宅の拡充	1
中学卒業まで助成する	2	住宅環境の整備	1
今以上の経済的支援	2	その他	件数
児童手当の増額	2	少子化は個人の問題であり、市が税金を投入して取り組むべきではない	4
子育て費用の低減	1	税の軽減	2
乳幼児への補助金や就学期間の学資補助	1	結婚促進・労働環境改善	1
妊婦や乳幼児に対する補助金	1	結婚できる相手を見出せる場の提供	1
高校まで助成すべき	1	若い世代が正社員として働ける環境作り	1
出産費用の補助と出産施設の充実	1	一時的に預かってくれるサービス団体	1
私学助成の充実	1	女性が強くなり働くことで、子供に対してお金で育てるように思われる	1
学費補助・奨学金制度など、長期間にわたる生活支援及び育児補助	1	仕方がない、それに見合った対応をする	1
産婦人科の充実について	件数	スポーツ特待制度によるエリート教育	1
不妊治療にかかる医療費を安くしてほしい	2	生活全般の安全性の充実	1
産婦人科医師の育成	1	一時保育できる家庭の登録など、市民の中で子育て支援の仕組みを充実する	1
産婦人科などの充実	1	扶養控除の充実	1
訪問診療や自宅介護の地域安全基盤充実	1	少子化を問題にするのではなく、人口減少対応政策をとるべき	1

問7 × 性別

少子化に対応するために必要なことについて性別に見ると、男女ともに「乳幼児医療費助成などの補助の充実」が最も高くなっており、ほとんどの項目で女性の方が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	妊婦や乳幼児に対する健康診査など母子保健事業の充実	乳幼児医療費助成などの補助の充実	保育所定員の拡充
合計	1,005 100.0	182 18.1	331 32.9	250 24.9
男性	411 100.0	69 16.8	138 33.6	100 24.3
女性	565 100.0	111 19.6	187 33.1	141 25.0
上段:度数 下段:%	一時保育（緊急時や用事の際などに保育所で一時的に預かる制度）の充実	子育て相談や情報提供など子育て支援サービスの充実	子育てグループなど子育てに関わる市民活動の支援	子どもの遊び場の整備
合計	265 26.4	154 15.3	90 9.0	112 11.1
男性	105 25.5	64 15.6	37 9.0	43 10.5
女性	152 26.9	88 15.6	51 9.0	63 11.2
上段:度数 下段:%	在宅勤務や育児休業制度など就業環境の整備	わからない	その他	不明・無回答
合計	266 26.5	83 8.3	62 6.2	55 5.5
男性	101 24.6	42 10.2	38 9.2	16 3.9
女性	155 27.4	40 7.1	22 3.9	34 6.0

少子化への対応は、ほとんどの項目で女性の方が、割合が高くなっている

問7 × 年代別

少子化に対応するために必要なことについて年代別に見ると、40代・50代では、「在宅勤務や育児休業制度など就業環境の整備」が最も高くなっています。

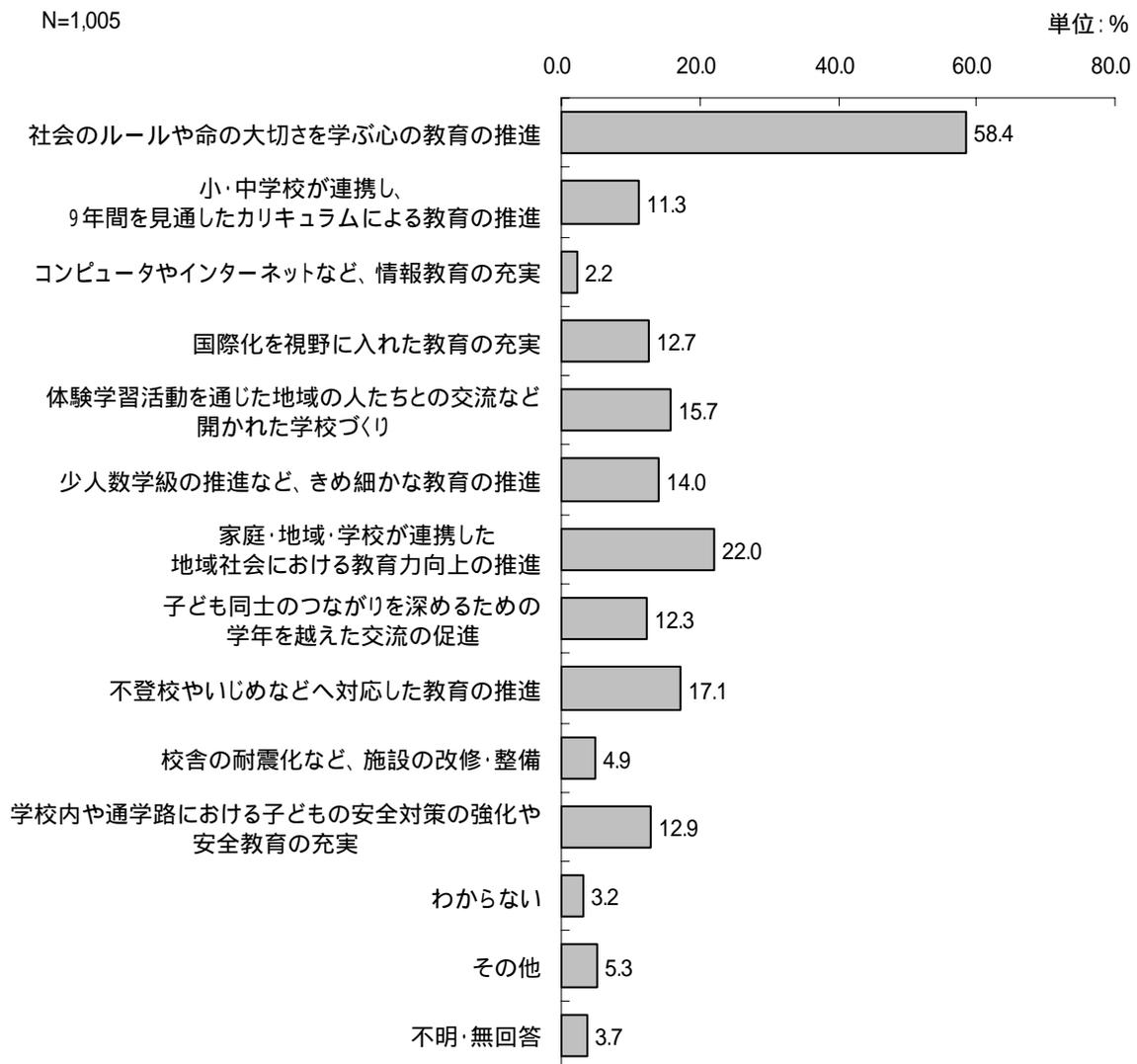
上段:度数 下段:%	合計	妊婦や乳幼児に対する健康診査など母子保健事業の充実	乳幼児医療費助成などの補助の充実	保育所定員の拡充
合計	1,005 100.0	182 18.1	331 32.9	250 24.9
10代	20 100.0	5 25.0	6 30.0	3 15.0
20代	76 100.0	27 35.5	39 51.3	15 19.7
30代	159 100.0	32 20.1	77 48.4	50 31.4
40代	122 100.0	15 12.3	38 31.1	30 24.6
50代	175 100.0	24 13.7	51 29.1	56 32.0
60～64歳	128 100.0	18 14.1	41 32.0	21 16.4
65～69歳	121 100.0	15 12.4	42 34.7	26 21.5
70歳以上	175 100.0	44 25.1	31 17.7	39 22.3
上段:度数 下段:%	一時保育（緊急時や用事の際などに保育所で一時的に預かる制度）の充実	子育て相談や情報提供など子育て支援サービスの充実	子育てグループなど子育てに関わる市民活動の支援	子どもの遊び場の整備
合計	265 26.4	154 15.3	90 9.0	112 11.1
10代	2 10.0	7 35.0	1 5.0	4 20.0
20代	17 22.4	5 6.6	3 3.9	5 6.6
30代	43 27.0	13 8.2	5 3.1	27 17.0
40代	33 27.0	22 18.0	8 6.6	18 14.8
50代	55 31.4	28 16.0	21 12.0	7 4.0
60～64歳	49 38.3	26 20.3	16 12.5	14 10.9
65～69歳	30 24.8	28 23.1	18 14.9	12 9.9
70歳以上	29 16.6	23 13.1	16 9.1	20 11.4
上段:度数 下段:%	在宅勤務や育児休業制度など就業環境の整備	わからない	その他	不明・無回答
合計	266 26.5	83 8.3	62 6.2	55 5.5
10代	5 25.0	-	2 10.0	2 10.0
20代	27 35.5	4 5.3	4 5.3	1 1.3
30代	40 25.2	6 3.8	20 12.6	1 0.6
40代	41 33.6	7 5.7	15 12.3	3 2.5
50代	68 38.9	13 7.4	7 4.0	4 2.3
60～64歳	25 19.5	10 7.8	3 2.3	7 5.5
65～69歳	24 19.8	11 9.1	7 5.8	5 4.1
70歳以上	26 14.9	31 17.7	3 1.7	26 14.9

20代・30代の子育て世代では、「乳幼児医療費助成などの補助の充実」の割合が高くなっている

【学校教育】

問8 あなたは、学校教育を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。

学校教育を充実させるために必要なことについて見ると、「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」が最も高く58.4%、次いで「家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進」が22.0%となっています。



その他回答			
内容	件数	内容	件数
教師の質の向上	10	校内全面芝生化	1
教師に対する教育	5	納得できる環境問題教育	1
親自身の教育	4	怪我や病気に対する予備知識を教えてください	1
基礎学力を身につけさせる。自立性を育てる	2	農林水産業での単位習得 高校生へ	1
モンスターペアレントのような親を減らす	2	校長の意識改革	1
教師自身モラルに反することを正す	1	学区制を廃止すること	1
手書きパソコンの導入	1	親子で学んでいく体制が必要	1
個々の夢を実現させるための教育向上の推進	1	専門分野を増やし職業に対して実践的な学習を早いうちから	1
放課後学校	1	義務教育では社会の基本を教える。もう少しきびしく指導してもよいのでは	1
規律・礼儀を教える	1	国の学習指導要領の見直し	1
保護者側の教育理解と学校との連携	1	先生の服装を改める	1
学校以外で活躍している人の講演会開催	1	読み書きそろばん(基本学習の徹底)	1
水谷修先生の講演会	1	道徳・倫理教育	1
マナーの向上 躾教育	1	個人の能力に着目して個人の力を応援する風潮を充実させる	1

問 8 × 年代別

学校教育を充実させるために必要なことについて年代別に見ると、いずれの年代においても「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」が最も高くなっており、特に60代以上では6割を超えています。

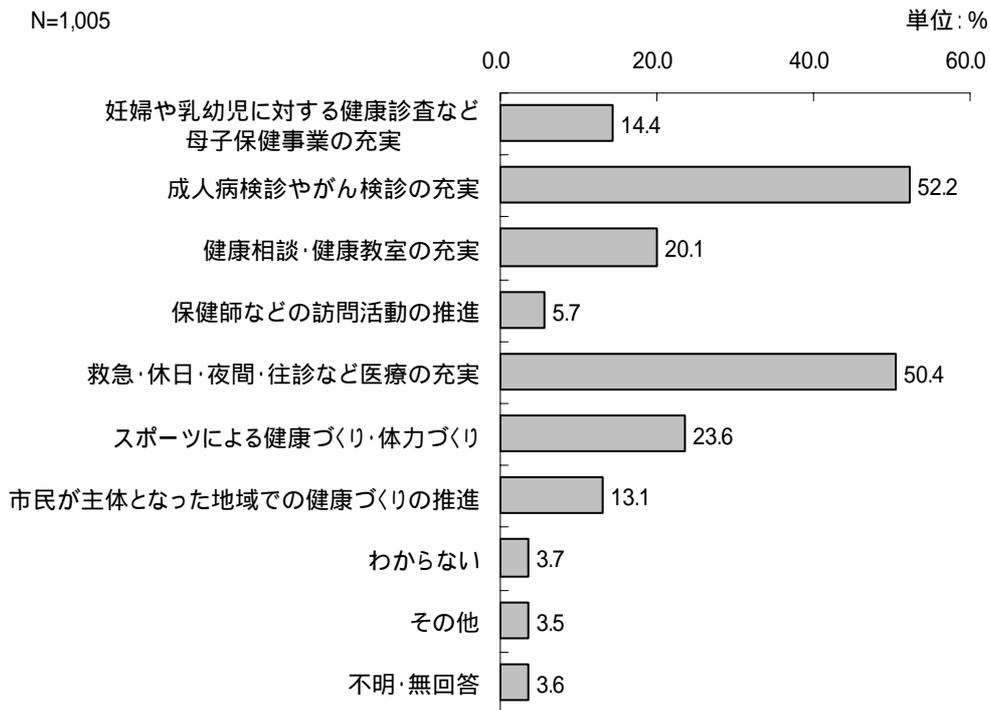
上段:度数 下段:%	合計	社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進	小・中学校が連携し、9年間を見通したカリキュラムによる教育の推進	コンピュータやインターネットなど、情報教育の充実	国際化を視野に入れた教育の充実
合計	1,005 100.0	587 58.4	114 11.3	22 2.2	128 12.7
10代	20 100.0	8 40.0	2 10.0	-	5 25.0
20代	76 100.0	45 59.2	9 11.8	-	9 11.8
30代	159 100.0	88 55.3	20 12.6	5 3.1	15 9.4
40代	122 100.0	62 50.8	12 9.8	3 2.5	11 9.0
50代	175 100.0	99 56.6	21 12.0	8 4.6	28 16.0
60～64歳	128 100.0	86 67.2	18 14.1	-	17 13.3
65～69歳	121 100.0	81 66.9	16 13.2	1 0.8	21 17.4
70歳以上	175 100.0	105 60.0	15 8.6	5 2.9	18 10.3
上段:度数 下段:%	体験学習活動を通じた地域の人たちとの交流など開かれた学校づくり	少人数学級の推進など、きめ細かな教育の推進	家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進	子ども同士のつながりを深めるための学年を越えた交流の促進	不登校やいじめなどへ対応した教育の推進
合計	158 15.7	141 14.0	221 22.0	124 12.3	172 17.1
10代	2 10.0	1 5.0	6 30.0	2 10.0	7 35.0
20代	15 19.7	8 10.5	13 17.1	9 11.8	19 25.0
30代	37 23.3	27 17.0	28 17.6	17 10.7	27 17.0
40代	13 10.7	39 32.0	36 29.5	11 9.0	17 13.9
50代	30 17.1	29 16.6	42 24.0	16 9.1	29 16.6
60～64歳	27 21.1	3 2.3	26 20.3	27 21.1	21 16.4
65～69歳	14 11.6	12 9.9	36 29.8	13 10.7	17 14.0
70歳以上	15 8.6	18 10.3	29 16.6	26 14.9	30 17.1
上段:度数 下段:%	校舎の耐震化など、施設の改修・整備	学校内や通学路における子どもの安全対策の強化や安全教育の充実	わからない	その他	不明・無回答
合計	49 4.9	130 12.9	32 3.2	53 5.3	37 3.7
10代	1 5.0	1 5.0	-	1 5.0	2 10.0
20代	6 7.9	11 14.5	-	6 7.9	1 1.3
30代	9 5.7	31 19.5	3 1.9	13 8.2	2 1.3
40代	8 6.6	17 13.9	3 2.5	11 9.0	1 0.8
50代	10 5.7	19 10.9	3 1.7	8 4.6	3 1.7
60～64歳	4 3.1	12 9.4	1 0.8	4 3.1	4 3.1
65～69歳	2 1.7	11 9.1	4 3.3	7 5.8	4 3.3
70歳以上	8 4.6	24 13.7	17 9.7	2 1.1	15 8.6

高齢になるほど、「心の教育の推進」の割合が高くなっている

【健康づくり】

問9 あなたは、健康づくりを充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。

健康づくりを充実させるために必要なことについて見ると、「成人病検診やがん検診の充実」が最も高く52.2%、次いで「救急・休日・夜間・往診など医療の充実」が50.4%となっています。



その他回答			
スポーツについて	件数	市民病院の充実	件数
地域のスポーツジムと連携した健康教室など	1	市民病院の充実化	1
市営スポーツ施設の充実見直し	1	市民病院の分室を小野原西に設けていただきたい	1
公費を削除したスポーツ推進	1	その他	件数
病気があっても健康づくり・体力づくりに参加できる教室	1	車社会からの脱却、自転車専用道の整備など	2
食生活について	件数	医療機関及び医師の協力姿勢	1
料理と食育の大切さを教えること	3	近代化の危険性に対処できる仕組み	1
料理教室	1	緑を増やす	1
市による検診など	件数	高齢者の就労機会の充実	1
市助成金による年1回の健康診断の実施	1	年1回健康状態に対するアンケートを行い、身体を大事する意識を高め、数週間後に健康相談を行なう	1
70歳以上も市の検診が受けられるように	1		
趣味や自己管理	件数	健康増進セミナーの開催	1
健康管理は自己の問題	2	年輩の人が参加しやすいような、体力作り教室や勉強会講演など	1
自分自身が興味あることをすれば、健康維持につながる	1	気の病に特化したカウンセラーに相談できるところがあるといい	1
個人の自覚	1	正しい生活習慣を伝えてほしい	1
ゆとりある生活の推進	1		
徒歩・自転車やすずめ、車・バイクの利用制限	1		
町内掃除・ガーデニング・市民菜園	1		

問9 × 年代別

健康づくりを充実させるために必要なことについて年代別に見ると、50代では「救急・休日・夜間・往診など医療の充実」が最も高くなっています。

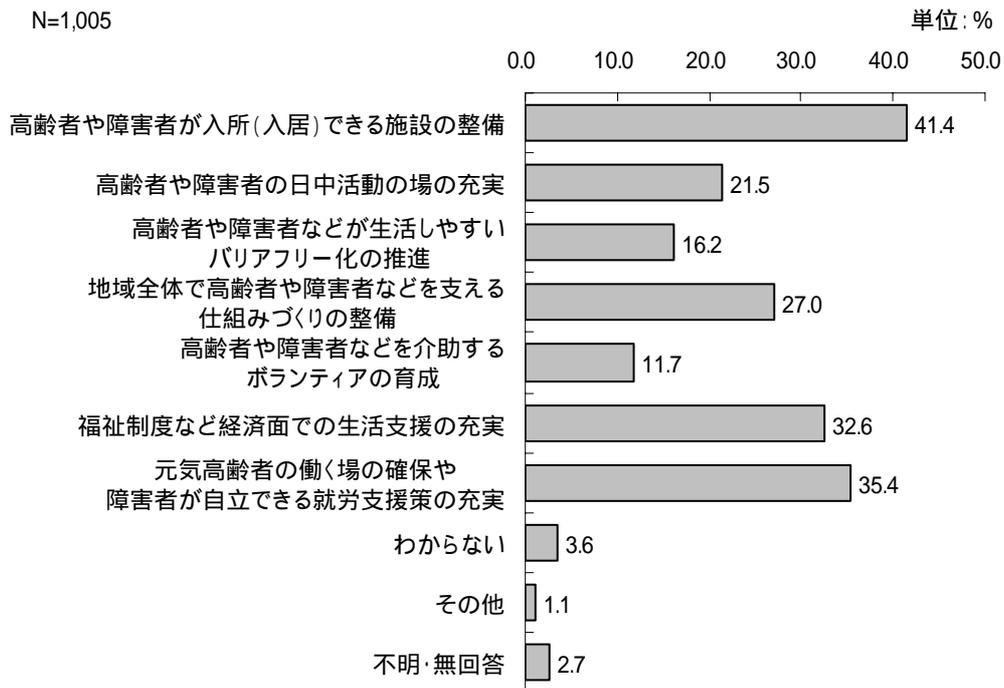
上段:度数 下段:%	合計	妊婦や乳幼児に対する健康診査など母子保健事業の充実	成人病検診やがん検診の充実	健康相談・健康教室の充実
合計	1,005 100.0	145 14.4	525 52.2	202 20.1
10代	20 100.0	3 15.0	11 55.0	5 25.0
20代	76 100.0	19 25.0	43 56.6	16 21.1
30代	159 100.0	35 22.0	93 58.5	30 18.9
40代	122 100.0	6 4.9	72 59.0	29 23.8
50代	175 100.0	19 10.9	88 50.3	36 20.6
60～64歳	128 100.0	22 17.2	63 49.2	25 19.5
65～69歳	121 100.0	16 13.2	61 50.4	24 19.8
70歳以上	175 100.0	24 13.7	83 47.4	33 18.9
上段:度数 下段:%	保健師などの訪問活動の推進	救急・休日・夜間・往診など医療の充実	スポーツによる健康づくり・体力づくり	市民が主体となった地域での健康づくりの推進
合計	57 5.7	507 50.4	237 23.6	132 13.1
10代	1 5.0	4 20.0	4 20.0	7 35.0
20代	2 2.6	37 48.7	19 25.0	5 6.6
30代	5 3.1	80 50.3	45 28.3	10 6.3
40代	7 5.7	63 51.6	35 28.7	12 9.8
50代	12 6.9	102 58.3	44 25.1	22 12.6
60～64歳	7 5.5	61 47.7	25 19.5	33 25.8
65～69歳	7 5.8	60 49.6	30 24.8	20 16.5
70歳以上	13 7.4	82 46.9	28 16.0	20 11.4
上段:度数 下段:%	わからない	その他	不明・無回答	
合計	37 3.7	35 3.5	36 3.6	
10代	-	-	2 10.0	
20代	2 2.6	4 5.3	1 1.3	
30代	5 3.1	8 5.0	1 0.6	
40代	5 4.1	8 6.6	1 0.8	
50代	5 2.9	6 3.4	3 1.7	
60～64歳	4 3.1	3 2.3	3 2.3	
65～69歳	3 2.5	2 1.7	5 4.1	
70歳以上	12 6.9	4 2.3	16 9.1	

30代～50代では、「医療の充実」の割合が5割を超えている

【福祉】

問 10 あなたは、福祉を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。

福祉を充実させるために必要なことについて見ると、「高齢者や障害者が入所（入居）できる施設の整備」が最も高く 41.4%、次いで「元気高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実」が 35.4%となっています。



その他回答	
内容	件数
母子手当での充実	1
府営市営住宅の入居	1
施設に行くための交通手段の充実	1
高齢者を支える人を増やす工夫	1
高齢者と子供たちがかかわりあえる環境	1
福祉に従事する人の給与を大幅に改善する	1
自分の責任でない理由による出費は自己負担なしで	1
制度や対象者の取捨選択を	1
自分のことは自分です	1
自己責任を市民に語るべき	1
座りやすいベンチを増やす	1

問 10 × 性別

福祉を充実させるために必要なことについて性別に見ると、「高齢者や障害者が入所(入居)できる施設の整備」が最も高くなっており、女性の方が高い割合となっています。

上段:度数 下段:%	合計	高齢者や障害者が 入所(入居)でき る施設の整備	高齢者や障害者の 日中活動の場の充 実	高齢者や障害者な どが生活しやすい バリアフリー化の 推進
合計	1,005 100.0	416 41.4	216 21.5	163 16.2
男性	411 100.0	161 39.2	95 23.1	62 15.1
女性	565 100.0	247 43.7	114 20.2	98 17.3
上段:度数 下段:%	地域全体で高齢者 や障害者などを支 える仕組みづくり の整備	高齢者や障害者な どを介助するボラ ンティアの育成	福祉制度など経済 面での生活支援の 充実	元気高齢者の働く 場の確保や障害者 が自立できる就労 支援策の充実
合計	271 27.0	118 11.7	328 32.6	356 35.4
男性	122 29.7	41 10.0	128 31.1	160 38.9
女性	142 25.1	71 12.6	193 34.2	186 32.9
上段:度数 下段:%	わからない	その他	不明・無回答	
合計	36 3.6	11 1.1	27 2.7	
男性	13 3.2	6 1.5	9 2.2	
女性	21 3.7	5 0.9	16 2.8	

女性の方が、「施設の整備」を求める割合が高くなっている

問 10×年代別

福祉を充実させるために必要なことについて年代別に見ると、20代では「福祉制度など経済面での生活支援の充実」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	高齢者や障害者が 入所(入居)でき る施設の整備	高齢者や障害者の 日中活動の場の充 実	高齢者や障害者な どが生活しやすい バリアフリー化の 推進
合計	1,005 100.0	416 41.4	216 21.5	163 16.2
10代	20 100.0	6 30.0	3 15.0	9 45.0
20代	76 100.0	23 30.3	21 27.6	19 25.0
30代	159 100.0	51 32.1	37 23.3	24 15.1
40代	122 100.0	51 41.8	36 29.5	20 16.4
50代	175 100.0	74 42.3	32 18.3	24 13.7
60～64歳	128 100.0	63 49.2	30 23.4	17 13.3
65～69歳	121 100.0	64 52.9	21 17.4	15 12.4
70歳以上	175 100.0	76 43.4	30 17.1	32 18.3
上段:度数 下段:%	地域全体で高齢者 や障害者などを支 える仕組みづくり の整備	高齢者や障害者な どを介助するボラ ンティアの育成	福祉制度など経済 面での生活支援の 充実	元気高齢者の働く 場の確保や障害者 が自立できる就労 支援策の充実
合計	271 27.0	118 11.7	328 32.6	356 35.4
10代	3 15.0	4 20.0	8 40.0	4 20.0
20代	24 31.6	9 11.8	27 35.5	24 31.6
30代	44 27.7	13 8.2	57 35.8	69 43.4
40代	30 24.6	7 5.7	40 32.8	51 41.8
50代	50 28.6	20 11.4	60 34.3	71 40.6
60～64歳	36 28.1	16 12.5	35 27.3	50 39.1
65～69歳	40 33.1	8 6.6	35 28.9	44 36.4
70歳以上	36 20.6	36 20.6	59 33.7	34 19.4
上段:度数 下段:%	わからない	その他	不明・無回答	
合計	36 3.6	11 1.1	27 2.7	
10代	-	1 5.0	1 5.0	
20代	1 1.3	1 1.3	1 1.3	
30代	8 5.0	4 2.5	2 1.3	
40代	3 2.5	2 1.6	1 0.8	
50代	4 2.3	2 1.1	2 1.1	
60～64歳	2 1.6	-	2 1.6	
65～69歳	3 2.5	1 0.8	3 2.5	
70歳以上	12 6.9	-	13 7.4	

20代では、「経済面での支援」40代以上では「施設の整備」の割合が高くなっている

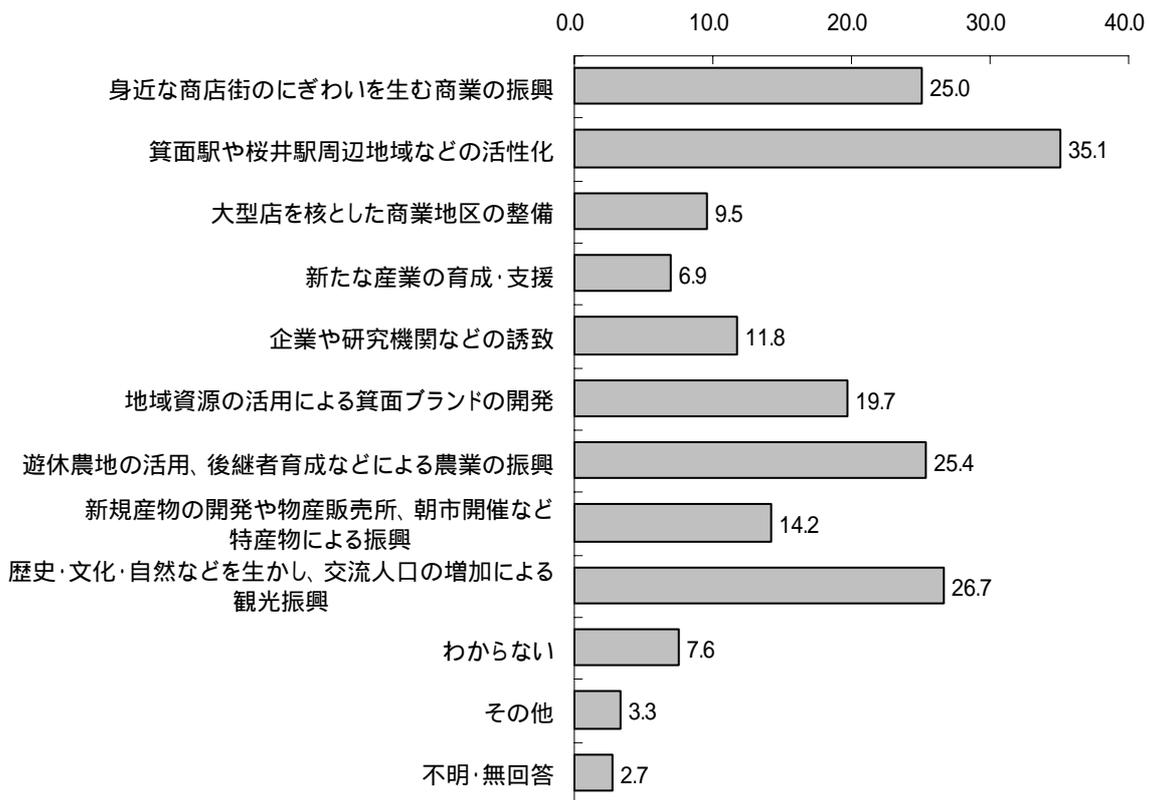
【産業振興】

問 11 あなたは、産業振興・活性化のためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。

産業振興・活性化のために必要なことについて見ると、「箕面駅や桜井駅周辺地域などの活性化」が最も高く 35.1%、次いで「歴史・文化・自然などを生かし、交流人口の増加による観光振興」が 26.7%となっています。

N=1,005

単位：%

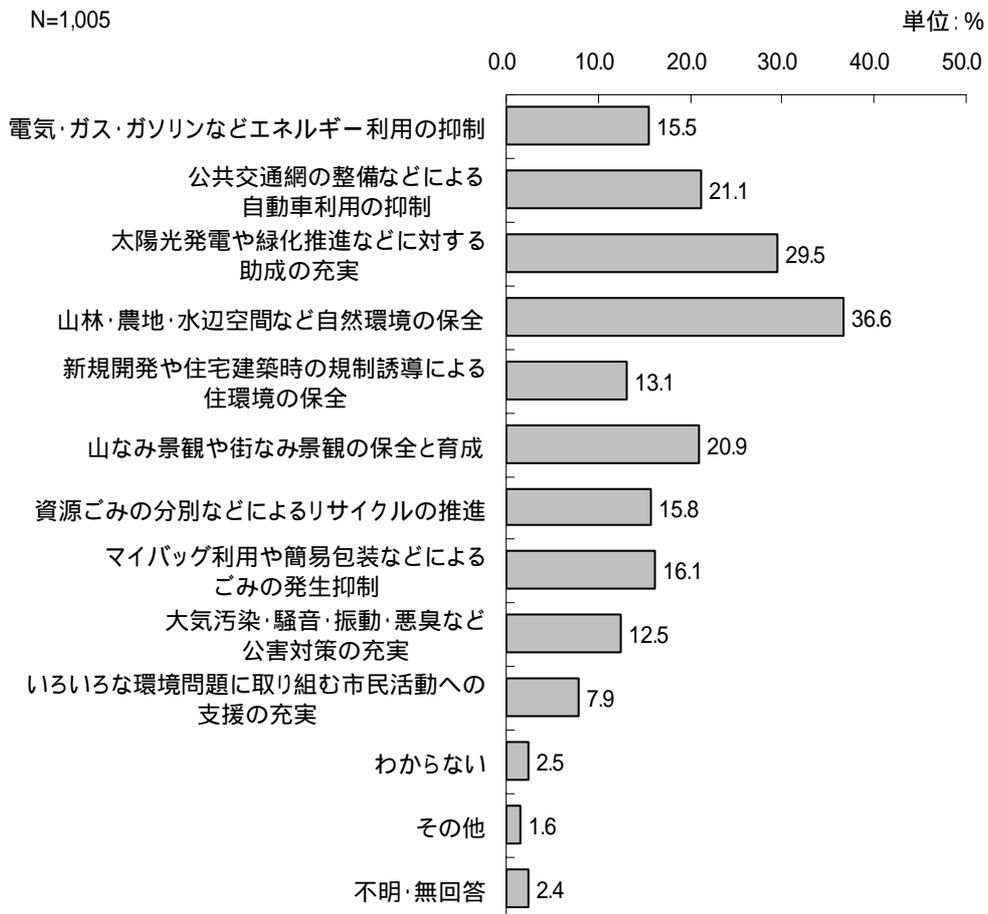


その他回答			
公共交通機関の整備	件数	スポーツなどの振興	件数
北大阪急行延伸	6	スポーツ・芸術振興	1
交通機関の充実	3	健康・スポーツ施設の充実	1
千里中央が地下鉄を北伸し箕面中央に	1	市内にある大学・研究機関と連携し、学問都市を目指す	1
千里中央と牧落を結ぶ電車がほしい	1	各種学校の誘致で学生数を増やす	1
カルフルを中心にする東西の一本の線路が必要と思う	1	その他	件数
安く便利に交通網を充実させる	1	地元中学生の農業体験教育実習	1
PR活動	件数	箕面駅周辺を賑やかに	1
貸農園などに転用、週末農業したい市街地の人にアピールしてはどうか	1	道幅拡張や駐車スペースの確保	1
独自のキャラクターを作成・PR。インパクトあるテーマパークを作る	1	現状維持、生活の場に緑や木を増やすべき	1
開発に走ることなくPRに励むこと	1	これから歴史文化をつくっていくというエネルギーが必要	1
反対意見	件数	自営業者への適正な対応	1
力を入れる必要ない	2	町中にもみじのてんぶらの販売所をつくる	1
住宅地として静かに生活したい。活性化してほしい	1	廃墟となった桜井駅前ビルの解体	1

【環境】

問 12 あなたは、環境を良くするためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。

環境を良くするために必要なことについて見ると、「山林・農地・水辺空間など自然環境の保全」が最も高く 36.6%、次いで「太陽光発電や緑化推進などに対する助成の充実」が 29.5% となっています。

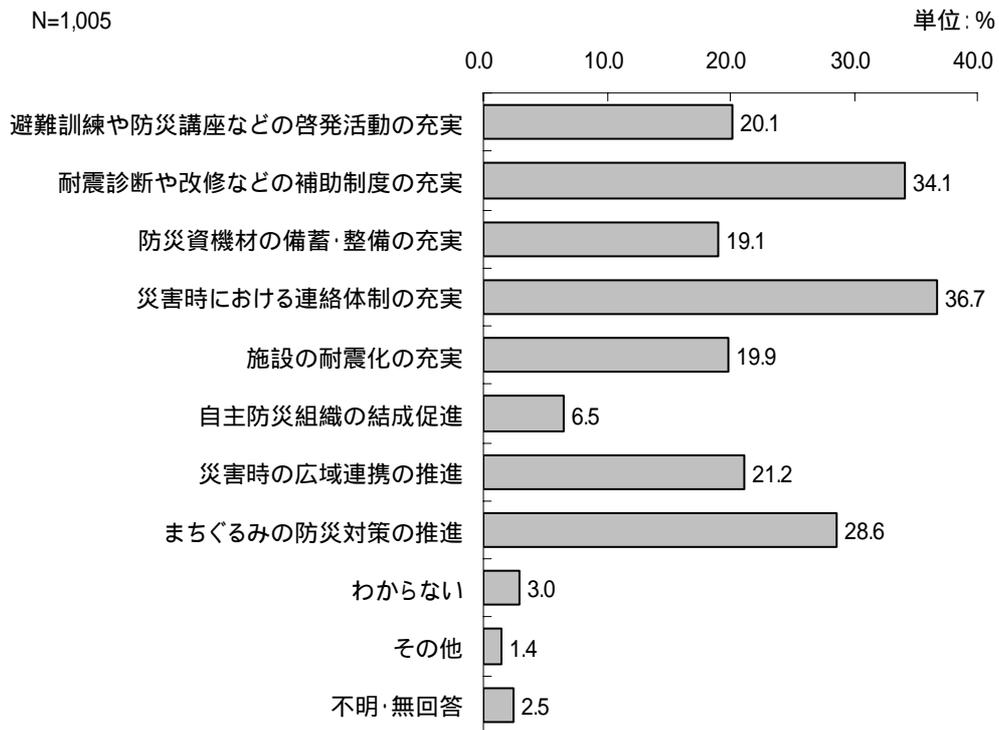


その他回答	
内容	件数
深夜営業の自粛	1
ダムが再利用できて発電力がアップできるようにすればいい	1
park - and - rideの実施	1
カラスの対策	1
公共施設への太陽光発電の設置	1
アイドリング規制	1
電気自動車の推進	1
箕面の滝上流駐車場は妊婦・高齢者以外使用禁止	1
歩道の整備	1
開発はどんどん推し進め、その際の緑化など自発的に進むように	1
萱野中央周辺道路の早期整備と、北大阪急行の早期延伸	1
箕面の滝の水量が減っている原因を考えているか聞きたい	1
公道・公共施設で全面禁煙	1
ドイツなど環境の取り組みの進んだ地域との交流をさらに深める	1

【安全】

問 13 あなたは、地震や台風など災害による被害を防ぐ取り組みとして、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

災害による被害を防ぐ取り組みを充実させるために必要なことについて見ると、「災害時における連絡体制の充実」が最も高く 36.7%、次いで「耐震診断や改修などの補助制度の充実」が 34.1%となっています。



その他回答	
内容	件数
避難場所の設置	2
自治会を中心に地区の公園などで訓練してはどうか	1
都市集中型をやめる。ゆとりある生活円内にする	1
市内危険箇所防災マップを作成見直し、危険箇所の警備補強	1
道路網の整備。道路が狭すぎて地震災害のとき消防車など入ってこれない	1
個人の責任	1
防災費用で損害保険に加入する	1
自分で考えるための情報提供	1
池田市との連携	1
行政防災組織の意識向上	1

問 13×年代別

災害による被害を防ぐ取り組みを充実させるために必要なことについて年代別に見ると、40代以下では「耐震診断や改修などの補助制度の充実」が最も高く、50代以上では「災害時における連絡体制の充実」が最も高くなっています。

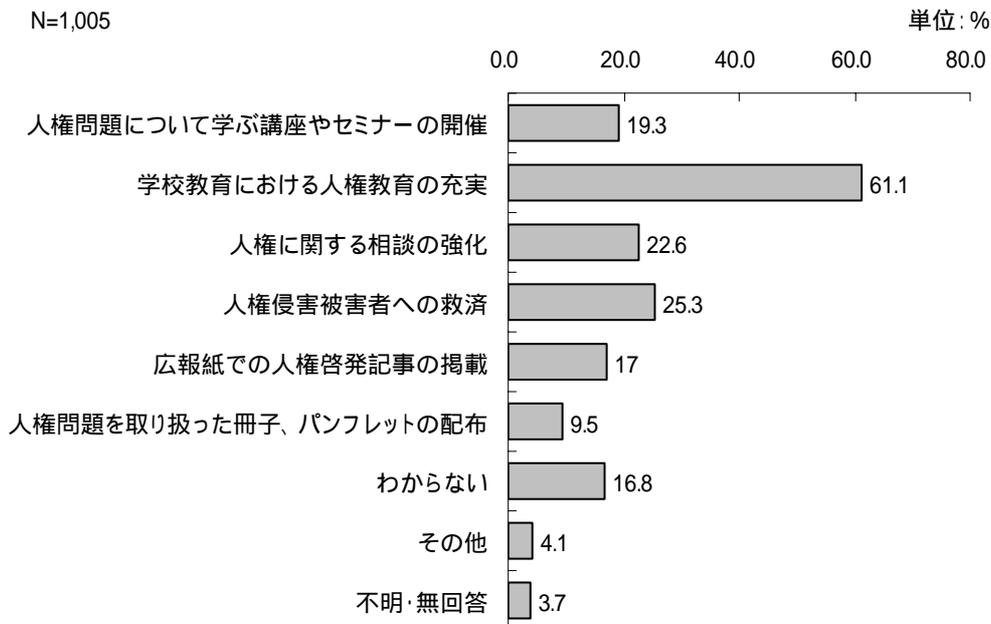
上段:度数 下段:%	合計	避難訓練や防災講座 などの啓発活動の充 実	耐震診断や改修など の補助制度の充実	防災資機材の備蓄・ 整備の充実
合計	1005 100.0	202 20.1	343 34.1	192 19.1
10代	20 100.0	4 20.0	8 40.0	4 20.0
20代	76 100.0	18 23.7	32 42.1	15 19.7
30代	159 100.0	42 26.4	56 35.2	41 25.8
40代	122 100.0	28 23.0	52 42.6	23 18.9
50代	175 100.0	30 17.1	62 35.4	32 18.3
60～64歳	128 100.0	26 20.3	40 31.3	26 20.3
65～69歳	121 100.0	22 18.2	34 28.1	23 19.0
70歳以上	175 100.0	28 16.0	53 30.3	23 13.1
上段:度数 下段:%	災害時における連絡 体制の充実	施設の耐震化の充実	自主防災組織の結成 促進	災害時の広域連携の 推進
合計	369 36.7	200 19.9	65 6.5	213 21.2
10代	6 30.0	8 40.0	1 5.0	2 10.0
20代	30 39.5	17 22.4	3 3.9	17 22.4
30代	48 30.2	40 25.2	9 5.7	29 18.2
40代	40 32.8	35 28.7	6 4.9	22 18.0
50代	68 38.9	29 16.6	18 10.3	46 26.3
60～64歳	51 39.8	15 11.7	7 5.5	33 25.8
65～69歳	48 39.7	18 14.9	14 11.6	19 15.7
70歳以上	69 39.4	29 16.6	7 4.0	37 21.1
上段:度数 下段:%	まちぐるみの防災対 策の推進	わからない	その他	不明・無回答
合計	287 28.6	30 3.0	14 1.4	25 2.5
10代	5 25.0	-	-	1 5.0
20代	15 19.7	1 1.3	1 1.3	1 1.3
30代	38 23.9	4 2.5	4 2.5	2 1.3
40代	31 25.4	2 1.6	2 1.6	-
50代	52 29.7	4 2.3	-	3 1.7
60～64歳	50 39.1	-	1 0.8	2 1.6
65～69歳	37 30.6	4 3.3	2 1.7	4 3.3
70歳以上	47 26.9	15 8.6	3 1.7	10 5.7

10代～40代では、「耐震への補助」、50代以上では「連絡体制の充実」の割合が高くなっている

【人権】

問 14 あなたは、人権問題を解決するためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。

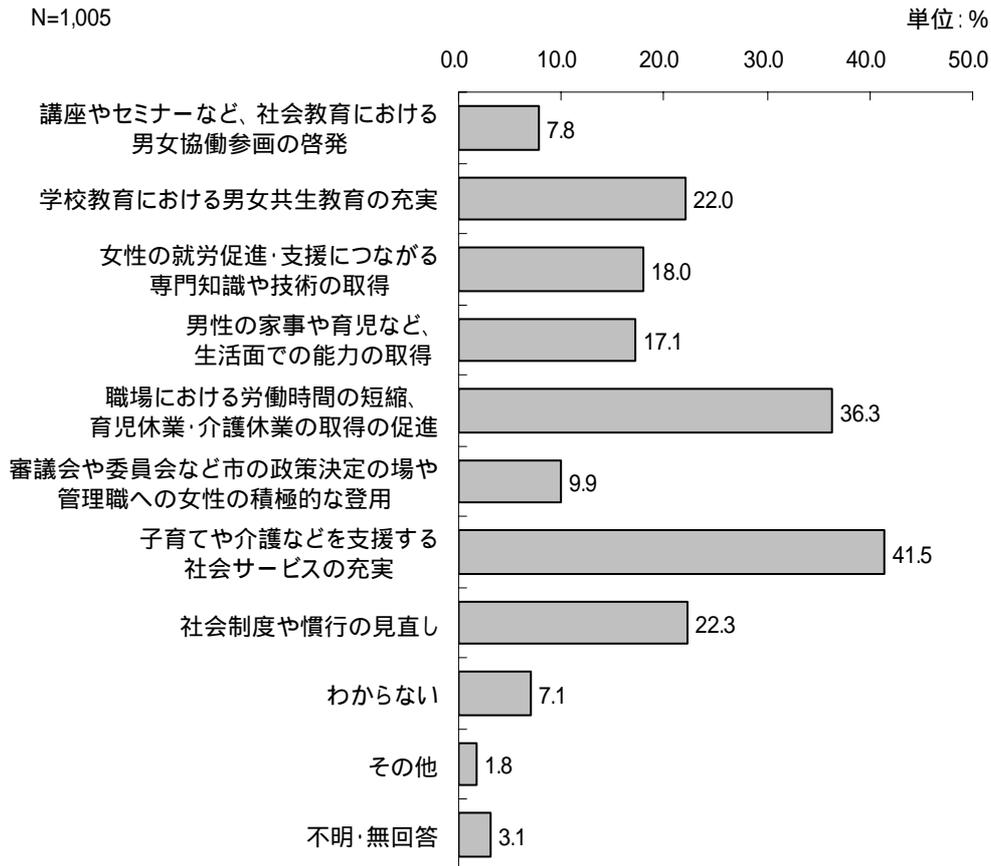
人権問題を解決するために必要なことについて見ると、「学校教育における人権教育の充実」が最も高く 61.1%、次いで「人権侵害被害者への救済」が 25.3%となっています。



その他回答			
内容	件数	内容	件数
特別扱いすることをやめる	6	同和地区救済をやめてほしい	1
人権問題に力を入れるべきことはない・人権を意識しすぎ・これ以上不要	4	講座などを受け心の改革すべき	1
人権で害を加えた人を教育する	2	委員の任命は慎重に	1
親の教育	1	市政に携わる人の意識改革	1
自然に任せることも必要	1	地域全体で人権問題を解決するための仕組み取り組みづくり	1
いじめっこの絶滅に努力せよ	1	人権問題の根源を理解することが重要	1
人権という言葉こそ逆差別	1	市の人権宣言を守る(市職員の人権意識向上)	1
人権人権と差別化しすぎ、平等であるべき	1	何故人権侵害かを判断できる人権擁護委員の能力向上が必要	1
人権に関して例え権力者でも裁ける条例の策定	1	非正規労働者の劣悪条件について相談受付と企業への指導	1
小学校からの人権に関する道徳教育	1	親が子供と色々な話をする	1
いつまでもひきずらない	1	差別被害者への必要以上の対応は、新たな差別の原因となるのでやめるべき	1
大人が見本となれること	1	「基本的人権の尊重」よりもっと深めた学びの場をつくる	1

問 15 あなたは、男女が対等なパートナーとして、家庭、職場、地域における活動を両立し、社会のあらゆる分野に参画していくためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。

男女協働参画を充実させるために必要なことについて見ると、「子育てや介護などを支援する社会サービスの充実」が最も高く 41.5%、次いで「職場における労働時間の短縮、育児休業・介護休業の取得の促進」が 36.3%となっています。



内容	件数
男女のらしさ、役割がある	2
育休からもどったときにもとのポストが確保されていること	1
子供の急病などで遅刻・早退・有給消化が許されていること	1
男女の特性に合わせた役割分担の教育	1
男が女を、女を男が共に立てあう教育	1
各自が考えればいい	1
女性の正規雇用を増やす	1
必要なし	1
出産・育児に関することの男性への教育	1
女性自身の意識改革	1
職場での恋愛を推進する	1

問 15 × 性別

男女協働参画を充実させるために必要なことについて性別に見ると、男女ともに「子育てや介護などを支援する社会サービスの充実」が最も高くなっていますが、女性の方が男性に比べ、9.5ポイント高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	講座やセミナーなど、社会教育における男女協働参画の啓発	学校教育における男女共生教育の充実	女性の就労促進・支援につながる専門知識や技術の取得
合計	1,005 100.0	78 7.8	221 22.0	181 18.0
男性	411 100.0	43 10.5	103 25.1	63 15.3
女性	565 100.0	35 6.2	113 20.0	110 19.5
上段:度数 下段:%	男性の家事や育児など、生活面での能力の取得	職場における労働時間の短縮、育児休業・介護休業の取得の促進	審議会や委員会など市の政策決定の場や管理職への女性の積極的な登用	子育てや介護などを支援する社会サービスの充実
合計	172 17.1	365 36.3	99 9.9	417 41.5
男性	65 15.8	131 31.9	45 10.9	149 36.3
女性	103 18.2	224 39.6	49 8.7	259 45.8
上段:度数 下段:%	社会制度や慣行の見直し	わからない	その他	不明・無回答
合計	224 22.3	71 7.1	18 1.8	31 3.1
男性	103 25.1	36 8.8	13 3.2	11 2.7
女性	114 20.2	35 6.2	3 0.5	17 3.0

女性では、「子育てや介護支援サービスの充実」の割合が特に高くなっている

問 15 × 年代別

男女協働参画を充実させるために必要なことについて年代別に見ると、30代以下では「職場における労働時間の短縮、育児休暇・介護休業の取得の促進」が最も高くなっています。

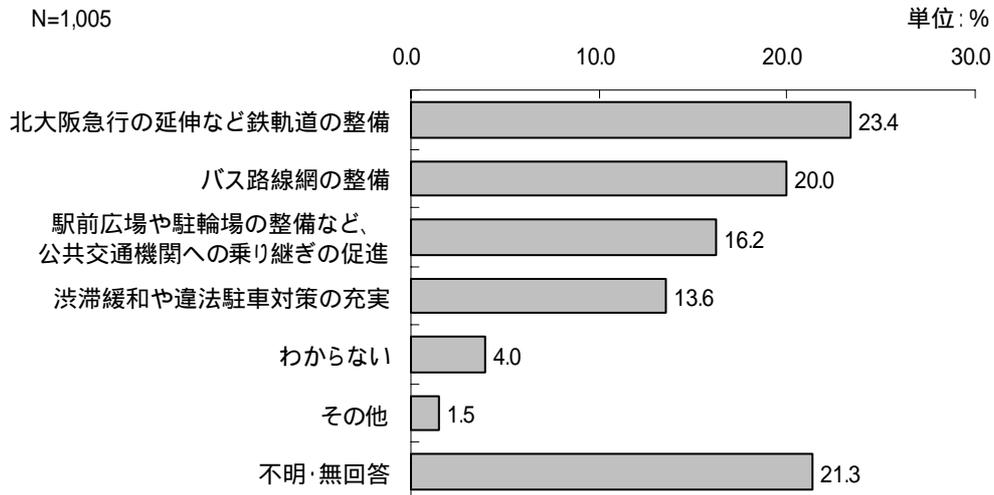
上段:度数 下段:%	合計	講座やセミナーなど、社会教育における男女協働参画の啓発	学校教育における男女共生教育の充実	女性の就労促進・支援につながる専門知識や技術の取得
合計	1,005 100.0	78 7.8	221 22.0	181 18.0
10代	20 100.0	1 5.0	5 25.0	5 25.0
20代	76 100.0	2 2.6	13 17.1	20 26.3
30代	159 100.0	6 3.8	21 13.2	29 18.2
40代	122 100.0	2 1.6	28 23.0	27 22.1
50代	175 100.0	13 7.4	33 18.9	23 13.1
60～64歳	128 100.0	21 16.4	31 24.2	25 19.5
65～69歳	121 100.0	16 13.2	31 25.6	22 18.2
70歳以上	175 100.0	17 9.7	54 30.9	22 12.6
上段:度数 下段:%	男性の家事や育児など、生活面での能力の取得	職場における労働時間の短縮、育児休暇・介護休業の取得の促進	審議会や委員会など市の政策決定の場や管理職への女性の積極的な登用	子育てや介護などを支援する社会サービスの充実
合計	172 17.1	365 36.3	99 9.9	417 41.5
10代	5 25.0	10 50.0	1 5.0	5 25.0
20代	19 25.0	37 48.7	3 3.9	31 40.8
30代	35 22.0	84 52.8	10 6.3	75 47.2
40代	24 19.7	50 41.0	7 5.7	58 47.5
50代	33 18.9	80 45.7	19 10.9	85 48.6
60～64歳	17 13.3	28 21.9	19 14.8	58 45.3
65～69歳	10 8.3	32 26.4	20 16.5	40 33.1
70歳以上	25 14.3	33 18.9	15 8.6	56 32.0
上段:度数 下段:%	社会制度や慣行の見直し	わからない	その他	不明・無回答
合計	224 22.3	71 7.1	18 1.8	31 3.1
10代	6 30.0	-	-	1 5.0
20代	12 15.8	6 7.9	2 2.6	1 1.3
30代	35 22.0	7 4.4	4 2.5	2 1.3
40代	31 25.4	8 6.6	2 1.6	-
50代	41 23.4	8 4.6	-	2 1.1
60～64歳	25 19.5	9 7.0	5 3.9	3 2.3
65～69歳	34 28.1	9 7.4	2 1.7	2 1.7
70歳以上	33 18.9	24 13.7	1 1.1	17 9.7

10代～30代では、「労働環境の充実」の割合が高くなっている

【公共交通の整備】

問 16 あなたは、公共交通の整備を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。

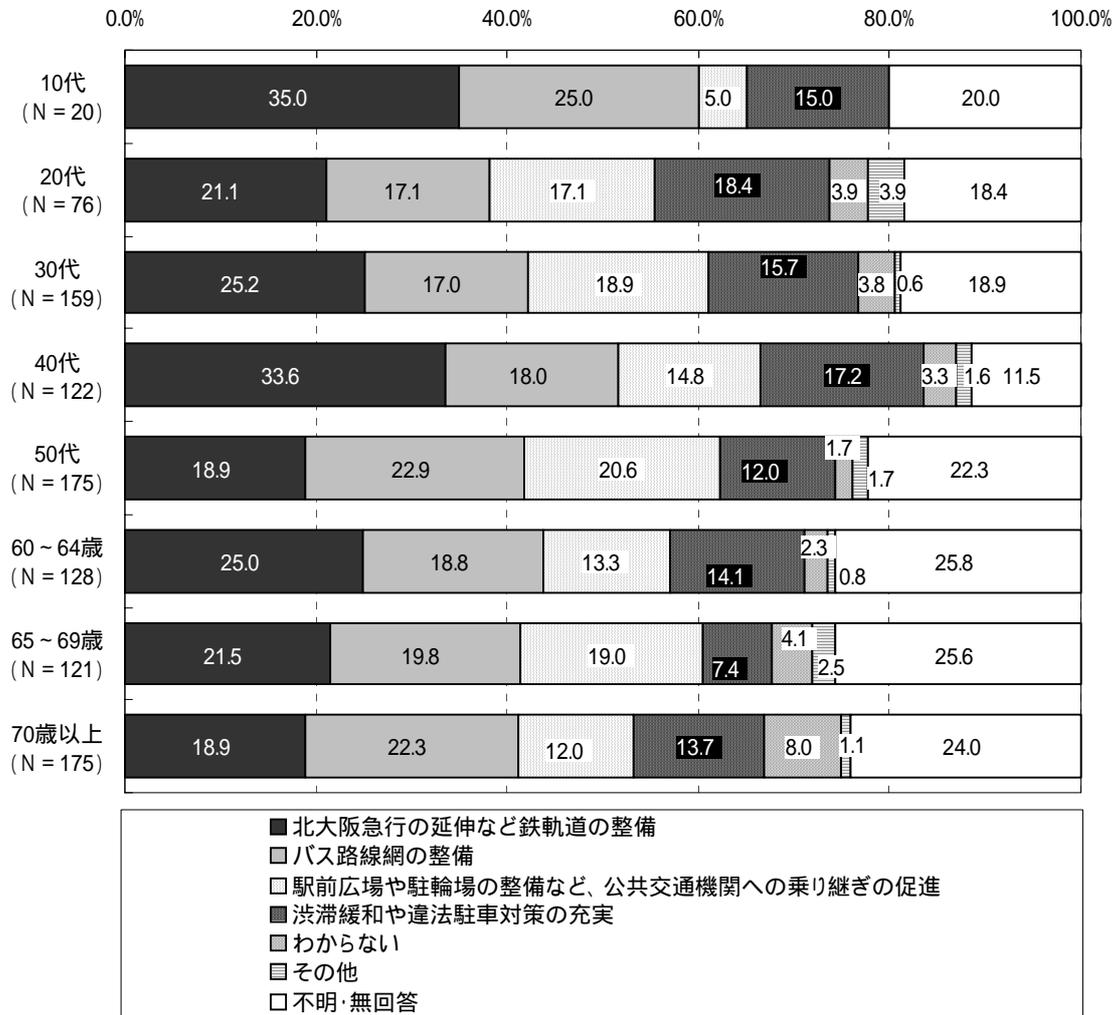
公共交通の整備を充実させるために必要なことについて見ると、「北大阪急行の延伸など鉄軌道の整備」が最も高く 23.4%となっています。



その他回答	
内容	件数
思い切った料金の見直し	2
今のままでよい	2
阪急と市の協力で駐輪場を	1
阪急沿線全駅にエレベーター・エスカレーター設備向上希望	1
東西交通の整備	1
旧街道などの拡張推進	1
桜井、牧落までの道路整備、歩行者優先のルール作り	1
レンタル自転車の広域運用	1
障害を持った人でも自由に乘れるようなしくみ	1
北大阪急行延伸反対	1
自転車専用道路の整備	1
障害者にはタクシーを格安で使用できるようにする	1
自転車が乗りやすいまちづくり	1
あまり役に立たないトンネル道路(車用)よりも歩道を整備せよ	1

問 16 × 年代別

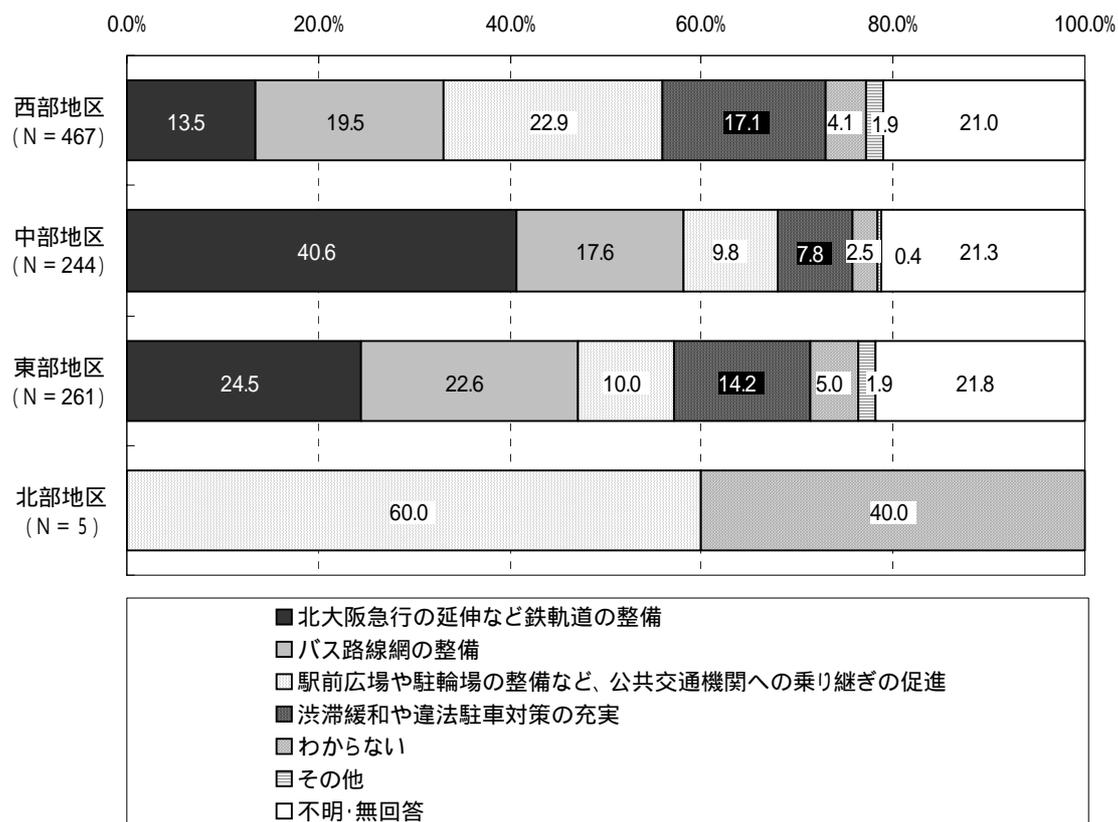
公共交通の整備を充実させるために必要なことについて年代別に見ると、40代以下では、「北大阪急行の延伸など鉄軌道の整備」が最も高くなっています。



40代以下で、「北大阪急行の延伸など鉄軌道の整備」の割合が高くなっている

問 16 × 地区別

公共交通の整備を充実させるために必要なことについて地区別に見ると、中部地区では「北大阪急行の延伸など鉄軌道の整備」が4割を超えており、他の地区と比べ特に高くなっています。また、西部地区では「駅前広場や駐輪場の整備など、公共交通機関への乗り継ぎの促進」が高くなっています。



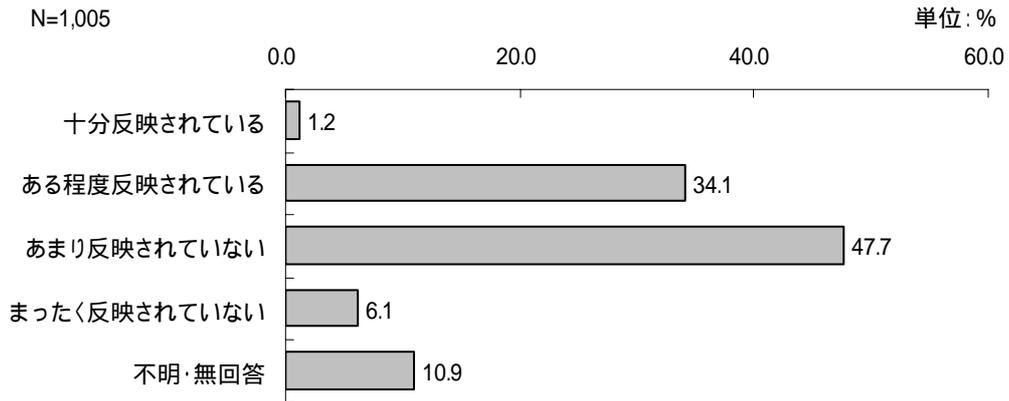
中部地区で、「北大阪急行の延伸など鉄軌道の整備」の割合が特に高くなっている

行政運営についてお伺いします

【市民意見の反映】

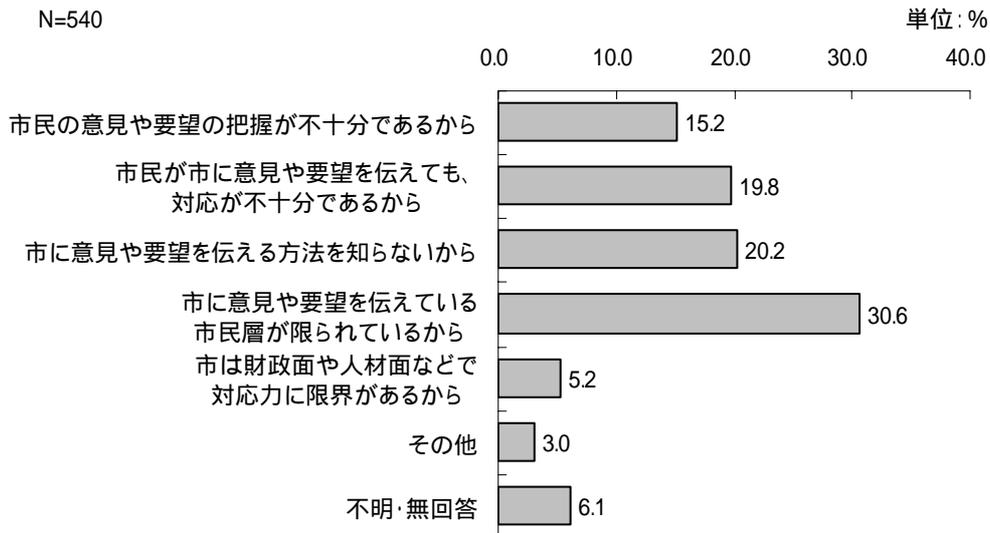
問 17 あなたは、現在の市政に市民の意向がどの程度反映されていると考えていますか。

市政への市民の意向の反映度について見ると、「あまり反映されていない」が最も高く47.7%、次いで「ある程度反映されている」が34.1%となっています。



問 17 - 1 【問 17 で「あまり反映されていない」または「まったく反映されていない」を選択された方のみ回答】 市政に市民の意向が反映されていないと回答された主な理由は何ですか。

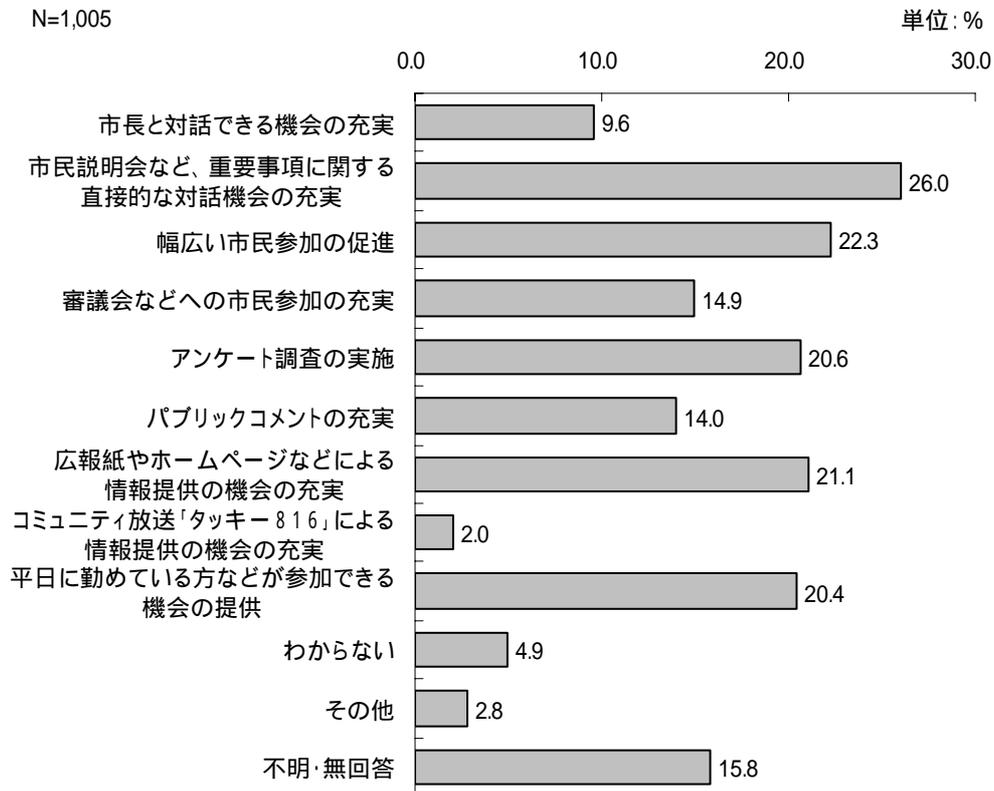
市政への市民の意向が反映されていないと思う理由について見ると、「市に意見や要望を伝えている市民層が限られているから」が最も高く 30.6%、次いで「市に意見や要望を伝える方法を知らないから」が 20.2%となっています。



その他回答	
内容	件数
市議会が市民の意見を反映していないから	3
ゴミ袋などの無料公約が実行されていない	1
日常生活がよくなっていない	1
住基ネット離脱など市長の独断施策	1
指定業者に満足できない	1
北大阪急行の延伸がおきざり	1
いつまでたっても駅前再開発が進んでいない	1
どのような要望があって、どう反映されたか知らない	1
森町のためのトンネル知らなかった。無駄が多い	1
地区地域の意見のまとめができていない	1

問 18 あなたは、できるだけ多くの市民の意向を市政に反映させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

市政に市民意向を反映させるために必要なことについて見ると、「市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実」が最も高く 26.0%、次いで「幅広い市民参加の促進」が 22.3%となっています。

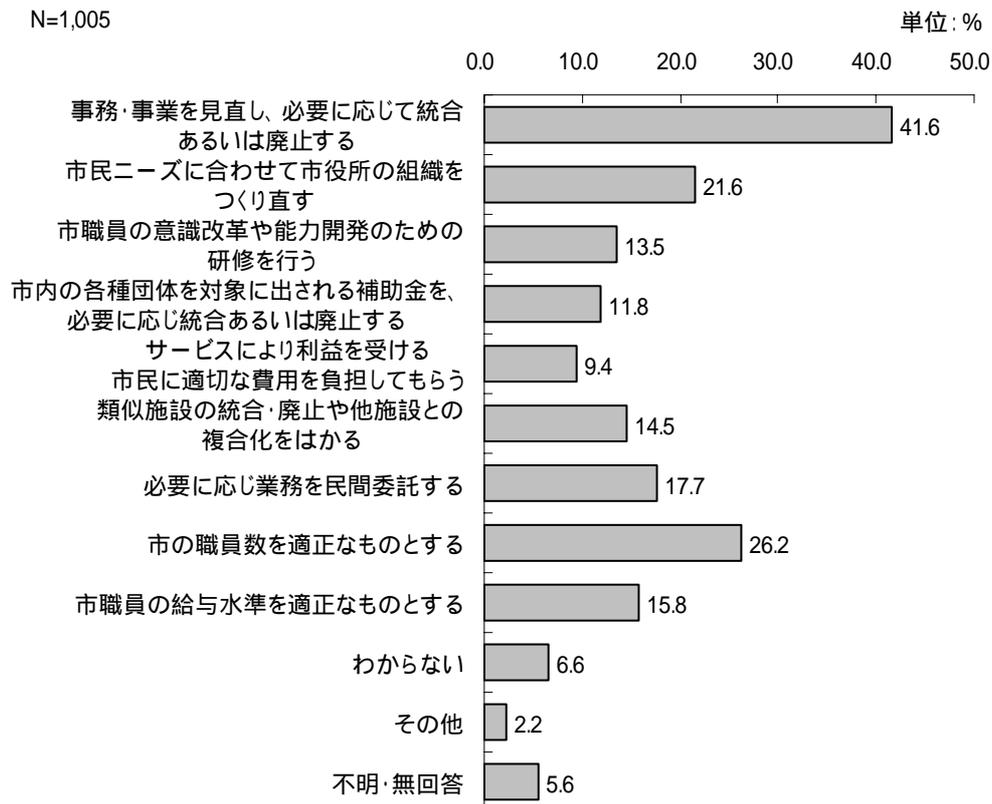


その他回答	
内容	件数
市民から意見を言いやすくする。無記名・意見箱など	4
税金の使い方をオープンにする	2
議会の構成が変わらないと何もできない	1
市民の声を聞こうとする市長・市役所職員が必要	1
自治会などを活用すべき	1
市長が別の人になる	1
行政の実行力を高める	1
市職員の家庭訪問	1
利権に縛られた政党系議員の追放	1
市民の意見を聞いたらきりが無い。議員と職員が本気で市政に取り組む	1
障害者も参加できる方法の検討	1
全く違う方法でアピールする	1
市民からあった要望とその対応の公開	1
選挙で選ばれた人の権限の確立	1
職員の教育	1
重要事項については全戸へ調査書配布回収	1

【行政改革】

問 19 あなたは、限られた財源や人材を有効に使い、効果的かつ効率的な行政サービスを提供するためには、今後どのような方策が必要だと考えますか。

効果的・効率的に行政サービスを提供するために必要なことについて見ると、「事務・事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」が最も高く 41.6%、次いで「市の職員数を適正なものとする」が 26.2%となっています。



その他回答	
内容	件数
市議会議員を減らす	4
全て必要	1
各種団体の天下りの人事は、組織の活力を失わす	1
全戸に対するIT-NETを確立	1
福祉バスの有料化	1
市職員の給与カット	1
議員の報酬・政調費の大幅減額	1
市職員給与を能力給とする	1
今の市長ではだめ	1
税率アップでもよい。子供と高齢者の福祉をよくし将来への安心感がほしい	1
充実した行政サービスのため税金をあげる	1
市民にアンケートを頻繁に行い、市職員の仕事に取り組む姿勢を変えていく	1
市長権限の強化	1
市職員の現場での意見を公表する	1
産業・学者・公僕協同の地方自治体での実践	1

問 19 × 年代別

効果的・効率的に行政サービスを提供するために必要なことについて年代別に見ると、いずれの年代においても「事務・事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」が最も高くなっており、特に30代では5割を超えています。

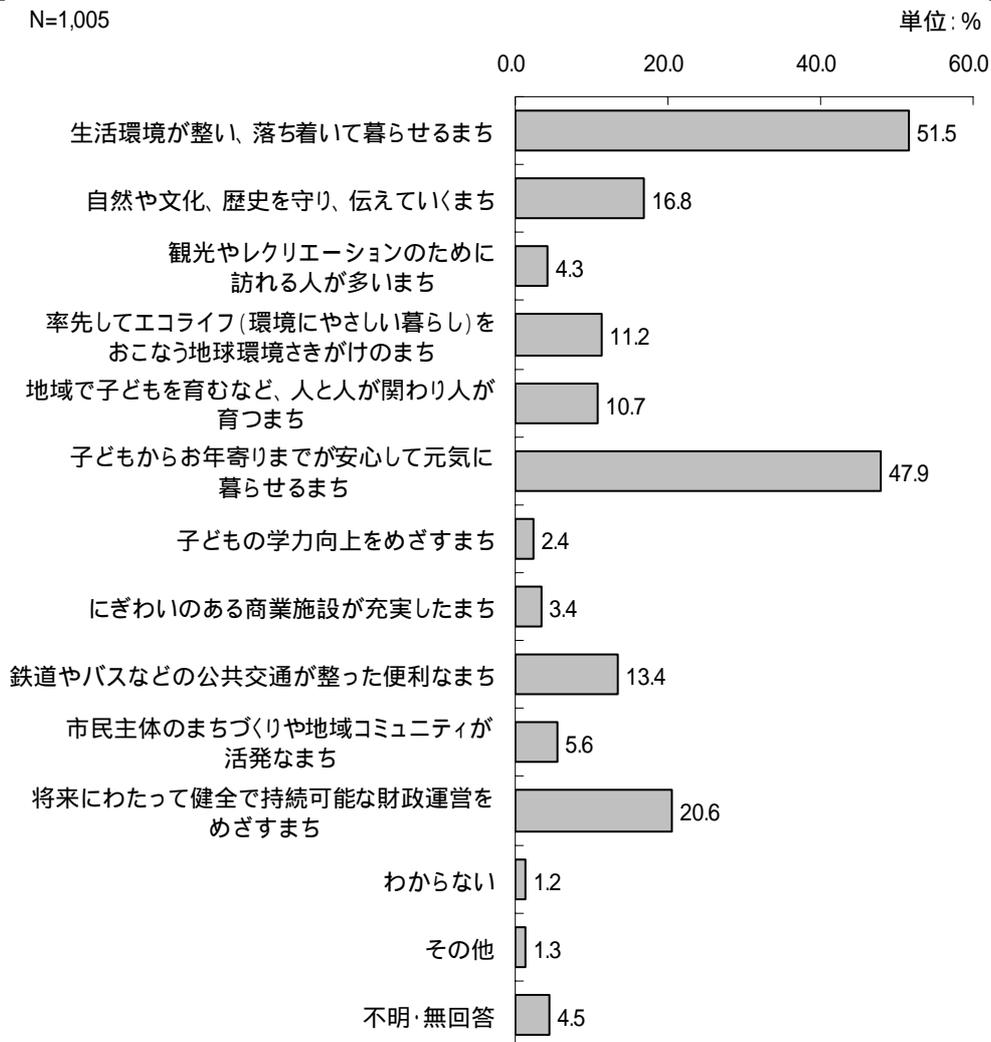
上段:度数 下段:%	合計	事務・事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する	市民ニーズに合わせて市役所の組織をつくり直す	市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う	市内の各種団体を対象に出される補助金を、必要に応じて統合あるいは廃止する
合計	1,005 100.0	418 41.6	217 21.6	136 13.5	119 11.8
10代	20 100.0	6 30.0	6 30.0	4 20.0	1 5.0
20代	76 100.0	27 35.5	18 23.7	12 15.8	8 10.5
30代	159 100.0	87 54.7	36 22.6	15 9.4	19 11.9
40代	122 100.0	54 44.3	31 25.4	17 13.9	15 12.3
50代	175 100.0	74 42.3	35 20.0	22 12.6	19 10.9
60～64歳	128 100.0	43 33.6	28 21.9	22 17.2	18 14.1
65～69歳	121 100.0	49 40.5	21 17.4	17 14.0	14 11.6
70歳以上	175 100.0	67 38.7	35 20.0	26 14.9	19 10.9
上段:度数 下段:%	サービスにより利益を受ける市民に適切な費用を負担してもらう	類似施設の統合・廃止や他施設との複合化をはかる	必要に応じ業務を民間委託する	市の職員数を適正なものとする	市職員の給与水準を適正なものとする
合計	94 9.4	146 14.5	178 17.7	263 26.2	159 15.8
10代	1 5.0	1 5.0	1 5.0	3 15.0	6 30.0
20代	6 7.9	10 13.2	14 18.4	20 26.3	18 23.7
30代	16 10.1	28 17.6	49 30.8	30 18.9	20 12.6
40代	16 13.1	13 10.7	23 18.9	33 27.0	22 18.0
50代	15 8.6	28 16.0	35 20.0	56 32.0	30 17.1
60～64歳	13 10.2	17 13.3	24 18.8	40 31.3	20 15.6
65～69歳	11 9.1	21 17.4	16 13.2	36 29.8	18 14.9
70歳以上	14 8.0	22 12.6	12 6.9	39 22.3	22 12.6
上段:度数 下段:%	わからない	その他	不明・無回答		
合計	66 6.6	22 2.2	56 5.6		
10代	3 15.0	-	2 10.0		
20代	5 6.6	2 2.6	3 3.9		
30代	7 4.4	4 2.5	2 1.3		
40代	8 6.6	7 5.7	-		
50代	8 4.6	2 1.1	10 5.7		
60～64歳	3 2.3	1 0.8	8 6.3		
65～69歳	10 8.3	2 1.7	8 6.6		
70歳以上	21 12.0	4 2.3	19 10.9		

いずれの年代でも、「事務事業の見直し」の割合が高くなっている

箕面市の将来都市像についてお伺いします

問 20 あなたが望む箕面市の将来の姿やあるべき姿について、次のどれですか。

希望する将来の箕面市の姿について見ると、「生活環境が整い、落ち着いて暮らせるまち」が最も高く 51.5%、次いで「子どもからお年寄りまでが安心して元気に暮らせるまち」が 47.9%となっています。



その他回答	
内容	件数
箕面の特徴的なものを伸ばす	1
税負担の軽減	1
高税金・高環境	1
歩行者が優先される街、歩車分離システム	1
犯罪の少ない街作り	1
人口を増やすことより、環境破壊に充実を図ってほしい	1
カルフルなどの商業施設はいらない	1
大人も子供も考える力をつけるようにする	1
一人一人がよく考える教養のあるまち	1
福祉サービスが充実したまち	1
これ以上山の木を切らないで、自然の多いまちに	1
医療・福祉・教育施設が充実したまち	1

問 20 × 年代別

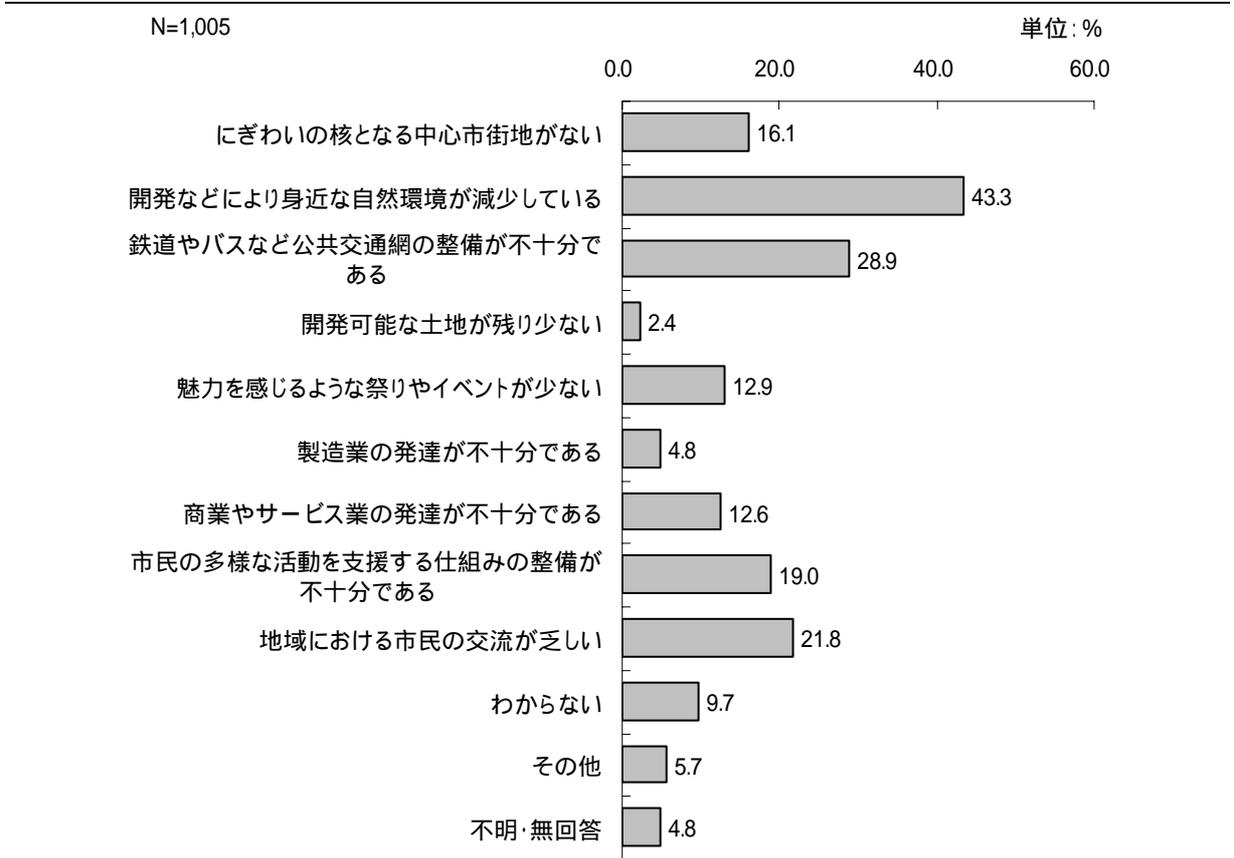
希望する将来の箕面市の姿について年代別に見ると、40代・65～69歳では、「子どもからお年寄りまでが安心して元気に暮らせるまち」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	生活環境が整い、落ち着いた暮らせるまち	自然や文化、歴史を守り、伝えていくまち	観光やレクリエーションのために訪れる人が多いまち	率先してエコライフ（環境にやさしい暮らし）をおこなう地球環境さきがけのまち
合計	1,005 100.0	518 51.5	169 16.8	43 4.3	113 11.2
10代	20 100.0	9 45.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0
20代	76 100.0	36 47.4	12 15.8	5 6.6	6 7.9
30代	159 100.0	84 52.8	28 17.6	5 3.1	22 13.8
40代	122 100.0	75 61.5	16 13.1	4 3.3	13 10.7
50代	175 100.0	95 54.3	30 17.1	6 3.4	20 11.4
60～64歳	128 100.0	63 49.2	27 21.1	4 3.1	18 14.1
65～69歳	121 100.0	54 44.6	20 16.5	7 5.8	16 13.2
70歳以上	175 100.0	91 52.0	28 16.0	9 5.1	14 8.0
上段:度数 下段:%	地域で子どもを育てるなど、人と人が関わり人が育つまち	子どもからお年寄りまでが安心して元気に暮らせるまち	子どもの学力向上をめざすまち	にぎわいのある商業施設が充実したまち	鉄道やバスなどの公共交通が整った利便なまち
合計	108 10.7	481 47.9	24 2.4	34 3.4	135 13.4
10代	3 15.0	9 45.0	1 5.0	1 5.0	6 30.0
20代	16 21.1	31 40.8	1 1.3	3 3.9	12 15.8
30代	19 11.9	81 50.9	12 7.5	5 3.1	15 9.4
40代	19 15.6	76 62.3	-	5 4.1	16 13.1
50代	20 11.4	80 45.7	1 0.6	12 6.9	18 10.3
60～64歳	7 5.5	54 42.2	3 2.3	3 2.3	20 15.6
65～69歳	12 9.9	58 47.9	1 0.8	-	15 12.4
70歳以上	9 5.1	76 43.4	5 2.9	3 1.7	28 16.0
上段:度数 下段:%	市民主体のまちづくりや地域コミュニティが活発なまち	将来にわたって健全で持続可能な財政運営をめざすまち	わからない	その他	不明・無回答
合計	56 5.6	207 20.6	12 1.2	13 1.3	45 4.5
10代	-	1 5.0	-	-	1 5.0
20代	7 9.2	15 19.7	1 1.3	1 1.3	2 2.6
30代	8 5.0	32 20.1	2 1.3	3 1.9	1 0.6
40代	3 2.5	15 12.3	-	4 3.3	-
50代	14 8.0	39 22.3	1 0.6	-	8 4.6
60～64歳	12 9.4	30 23.4	-	2 1.6	7 5.5
65～69歳	5 4.1	32 26.4	2 1.7	3 2.5	6 5.0
70歳以上	7 4.0	39 22.3	6 3.4	-	16 9.1

いずれの年代でも「落ち着いた暮らせる」「安心」の割合が高くなっている

問 21 問 20 で選んだ将来の姿を実現するために、どのような課題の解決に取り組むべきだと考えますか。

希望する将来の箕面市の姿を実現するために必要な取り組みについて見ると、「開発などにより身近な自然環境が減少している」が最も高く 43.3%、次いで「鉄道やバスなど公共交通網の整備が不十分である」が 28.9%となっています。



その他回答			
財政について	件数	交通安全について	件数
無駄をはぶき財政を豊かにする	5	通学道は、時間帯によって自動車通行止めにするぐらいの決まりが必要	1
市の財政の健全化	2	交通違反の取締り	1
住民税を上げる	1	歩道の整備	1
サービスは必要最低限に 行政のスリム化	1	その他	件数
目指す市のビジョン宣言と目標に向かっての市の健全な財政運営	1	これ以上自然を壊してまで開発は不要・自然の多いまちを大切に	4
無駄な公共工事をしない	1	箕面市民病院は他に負けない魅力ある特徴ある医師の確保	1
農業振興について	件数	働く場所がほしい	1
農業を継ぐ人の育成	1	市議員は市長に対して反対意見ばかりださず、市長の意見に寄り添うべき	1
農業振興、食料自給率を高め、緑の保全をはかる	1	民間人の登用制度の見直し	1
商業活性化について	件数	公園遊具の種類が少ない	1
国定公園である滝・山の整備と観光地としての商業活性化推進	1	「箕面」でない地域に「箕面森町」と名づけることや、タワーマンション建設など歴史と風土を無視した風潮を反省すること	1
自然や文化を中心とする観光、レクリエーションをアピールしていく	1		
牧落・桜井駅前の再開発	1	教育における親の意識改革	1
文化財の保護、観光施設の充実	1	開発や成長を期待せず、人口を減らす	1
住環境について	件数	市民一人一人の意識改革	1
治安の向上	3	市内全体のマスタープランがない	1
新住民と旧住民のわかまり	1	ゴミのリサイクルなど、きめ細かい対策	1
「安全に暮らせる 静かな夜をすごせる」よう今後もしてほしい	1	今あるいいものに注目し、応援するような月刊誌をつくる	1

問 21 × 年代別

希望する将来の箕面市の姿を実現するために必要な取り組みについて年代別に見ると、40代では「鉄道やバスなど公共交通網の整備が不十分である」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	にぎわいの核となる 中心市街地がない	開発などにより身近 な自然環境が減少し ている	鉄道やバスなど公共 交通網の整備が不十 分である	開発可能な土地が残 り少ない
合計	1,005 100.0	162 16.1	435 43.3	290 28.9	24 2.4
10代	20 100.0	5 25.0	9 45.0	7 35.0	-
20代	76 100.0	11 14.5	34 44.7	23 30.3	2 2.6
30代	159 100.0	19 11.9	69 43.4	36 22.6	9 5.7
40代	122 100.0	14 11.5	50 41.0	52 42.6	1 0.8
50代	175 100.0	30 17.1	81 46.3	42 24.0	3 1.7
60～64歳	128 100.0	21 16.4	54 42.2	43 33.6	2 1.6
65～69歳	121 100.0	23 19.0	67 55.4	27 22.3	3 2.5
70歳以上	175 100.0	36 20.6	61 34.9	47 26.9	3 1.7
上段:度数 下段:%	魅力を感じるような 祭りやイベントが少 ない	製造業の発達が不十 分である	商業やサービス業の 発達が不十分である	市民の多様な活動を 支援する仕組みの整 備が不十分である	地域における市民の 交流が乏しい
合計	130 12.9	48 4.8	127 12.6	191 19.0	219 21.8
10代	3 15.0	-	3 15.0	-	3 15.0
20代	15 19.7	2 2.6	9 11.8	15 19.7	25 32.9
30代	19 11.9	5 3.1	22 13.8	31 19.5	35 22.0
40代	15 12.3	10 8.2	18 14.8	25 20.5	25 20.5
50代	30 17.1	5 2.9	29 16.6	34 19.4	44 25.1
60～64歳	14 10.9	6 4.7	15 11.7	25 19.5	31 24.2
65～69歳	12 9.9	5 4.1	12 9.9	25 20.7	27 22.3
70歳以上	19 10.9	15 8.6	15 8.6	30 17.1	24 13.7
上段:度数 下段:%	わからない	その他	不明・無回答		
合計	97 9.7	57 5.7	48 4.8		
10代	4 20.0	-	1 5.0		
20代	5 6.6	3 3.9	2 2.6		
30代	23 14.5	19 11.9	2 1.3		
40代	8 6.6	8 6.6	-		
50代	13 7.4	7 4.0	8 4.6		
60～64歳	8 6.3	7 5.5	7 5.5		
65～69歳	11 9.1	7 5.8	5 4.1		
70歳以上	23 13.1	6 3.4	20 11.4		

40代では、「公共交通網の整備」の割合が高くなっている

結果の概要

回答者について（回答者の属性）

性別

回答者の男女構成は、「男性」が40.9%、「女性」が56.2%となっており、箕面市民の男女比と比べて女性の割合がやや高くなっています。

年齢別

回答者の年齢構成は、箕面市民の構成比と比べて10～20代の比率が低くなっており、50代以上の比率が高くなっています。

居住地域別

回答者の居住地域別の構成は、箕面市民の構成比と比べて、ほぼ近似しています。

家族構成別

回答者の家族構成別の構成は、二世帯同居（子と同居）の比率が高く、次いで夫婦のみとなっており、核家族の比率が高くなっています。

職業別

回答者の職業別の構成は、会社員、家事の比率が高くなっています。

居住歴別

回答者の居住歴別の構成は、20年以上が半数以上を占めています。

前居住地別

回答者の前居住地別の構成は、市内からの転居が約2割、その他の大阪府内からの転居が約5割を占めています。

健康状態

回答者の健康状態については、とても健康である、健康であるの合計が7割以上を占めています。

人権についての考え

回答者の人権についての考えは、守られている、ある程度守られているの合計が8割以上を占めています。また、性別に見ると、女性の方が守られているの比率が低くなっています。

行政情報の入手先

行政情報の入手先は、市広報紙「もみじだより」が9割弱となっており、性別に見ると、特に女性で高く、年齢別では、高齢になるほど高くなっています。

定住意向について

箕面市に住むようになった理由

箕面市に住むようになった主な理由は、「自然の山々が近くにあり、自然環境が良いから」「手頃な土地・住宅が見つかったから」「親の代から住んでいるから」「住宅地のイメージが良いから」など、住環境に魅力を感じている意見が多くなっています。

また、年代別に見ると、10代・20代では、「親の代が住んでいるから」が、60～64歳では「手頃な土地・住宅が見つかったから」が高く、定住意識に差がうかがえます。

今後の定住意向

回答の7割以上が今後も『住み続けたい』という意向を示しており、定住意識は高い傾向にあります。

引っ越したい理由としては、「現在の住宅に不満だから（住宅が狭い、古い、家賃が高いなど）」が高い割合となっています。

これからのまちづくりについて

市民協働

今後のまちづくりについて、「地域の文化財の管理・活用」「地域の道路や街路樹の管理」では、「市が担う」とする意見が多く、それ以外では「市と市民が協働で担う」が多くなっています。「地域の公共施設の管理」「地域での子育て支援」では、他の項目に比べ「市民が担う」という意見が多くなっています。

地域活動への参加状況について、参加しているという回答はおおむね3割程度となっています。年代別に見ると、40代以降から参加の割合が高くなっています。

一方、参加していないという回答は4割程度となっており、その理由としては、「時間が無い」という意見が多くなっています。

市民協働型社会の実現については、「推進すべき」「ある程度推進すべき」という回答が6割程度となっています。一方、「あまり推進すべきではない」「推進すべきではない」という回答はごく少数となっており、市民協働については前向きな認識があると言えます。

また、市民協働を進めるうえで市が取り組むべきことについては、「職員の意識改革など市役所の体制整備」「市民活動促進のための仕組み・ルールづくり」への回答が多く、今後市民協働を進めるバランスについては、市としての方向性や役割を十分に検討し、進めることが重要であると言えます。

子育て環境について

少子化への対応については、「乳幼児医療費助成などの補助の充実」「在宅勤務や育児休業制度など就業環境の整備」「一時保育」などの充実を求める意見が多くなっています。

年代別に見ると特に、20代・30代の子育て世代では「乳幼児医療費助成などの補助の充実」の割合が高くなっています。

学校教育について

学校教育の充実については、「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」が群を抜いて高くなっており、特に60代以上の年代では6割を超えています。

健康づくりについて

健康づくりについては、「成人病検診やがん検診の充実」「救急・休日・夜間・往診など医療の充実」への回答が5割を超えており、生活習慣病対策や医療体制について充実を望む意見が多くなっています。

福祉について

福祉の充実については、「高齢者や障害者が入所（入居）できる施設の整備」「元気高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実」「福祉制度など経済面での生活支援の充実」について、充実を望む意見が多くなっています。性別に見ると、「高齢者や障害者が入所（入居）できる施設の整備」が家族介護の中心となると思われる女性で高くなっています。

産業振興について

産業振興については、「箕面駅や桜井駅周辺地域などの活性化」「歴史・文化・自然などを生かし、交流人口の増加による観光振興」「遊休農地の活用、後継者育成などによる農業振興」「身近な商店街のにぎわいを生む商業の振興」について、充実を望む意見が多くなっています。

環境について

環境については、「山林・農地・水辺空間など自然環境の保全」「太陽光発電や緑化推進などに対する助成の充実」について、充実を望む意見が多くなっています。

安全について

防災については、「災害時における連絡体制の充実」「耐震診断や改修などの補助制度の充実」について、充実を望む意見が多くなっています。

人権について

人権問題を解決するためには、「学校教育における人権教育の充実」が必要だという意見が特に多くなっています。

男女協働参画社会の実現については、「子育てや介護などを支援する社会サービスの充実」「職場における労働時間の短縮、育児休業・介護休業の取得の促進」が必要だという意見が多くなっています。

公共交通の整備について

公共交通の整備のためには、「北大阪急行の延伸など鉄軌道の整備」「バス路線網の整備」が必要だという意見が多くなっています。

行政運営について

市政への市民意見の反映については、反映されていないと感じている意見が5割を超えています。反映されていないと回答した理由として、「市に意見や要望を伝えている市民層が限られているから」「市に意見や要望を伝える方法を知らないから」への回答が2割を超えています。今後、市民意見を市政運営に反映させるために必要なこととして、市民説明会やアンケートなど、幅広く市民が参加できる機会の創出が求められています。

行政改革について、効果的かつ効率的な行政サービスを提供するためには、事務・事業を見直す必要があると感じている意見が4割を超えています。

箕面市の将来の都市像について

希望する将来都市像について

市の将来の都市像については、「生活環境が整い、落ち着いて暮らせるまち」「子どもからお年寄りまでが安心して元気に暮らせるまち」への回答が特に多くなっています。

将来都市像を達成するために必要なことについて

希望する将来都市像の実現のために、自然環境の保全、公共交通網の整備を充実していくことが望まれており、前回調査結果とほぼ同様の傾向を示しています。

3 . 暮らしの満足度・重要度について

暮らしの満足度と今後の重要度についてお伺いします

問 22 市が実施している取り組みやサービスについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」についてお聞かせください。

(1) 調査項目一覧

本調査では、以下の 1 ～ 27 の項目の満足度及び今後の重要度について調査を行いました。

項 目	満足度	重要度
1 健康づくりと地域医療	3.04	4.35
2 子どもや子育てへの支援	2.89	4.19
3 高齢福祉の充実	2.89	4.31
4 障害福祉の充実	2.98	3.96
5 住環境と住宅	2.85	3.89
6 身近な緑と遊びの空間	2.99	3.88
7 廃棄物とリサイクル	3.04	4.07
8 防災と危機管理	2.86	4.04
9 消防・救急体制の充実	3.04	4.04
10 交通安全の確保	2.73	3.95
11 人権文化の振興	3.04	3.40
12 学校教育の充実	2.94	4.01
13 生涯学習の推進	3.08	3.61
14 地球環境の保全	2.85	3.84
15 豊かな自然環境の保全	2.87	4.07
16 健全な消費生活	2.96	3.54
17 雇用創出と勤労者福祉	2.91	3.80
18 産業の活性化	2.79	3.69
19 計画的な土地利用	2.55	3.73
20 公共交通機関の整備	2.52	4.10
21 道路の整備	2.71	3.89
22 上・下水道、河川の整備と運営	3.05	3.81
23 美しい景観形成	2.91	3.87
24 情報の活用	3.17	3.49
25 コミュニティの維持・再編	2.99	3.50
26 市民参加の充実	2.89	3.59
27 財政の健全化	2.54	4.30

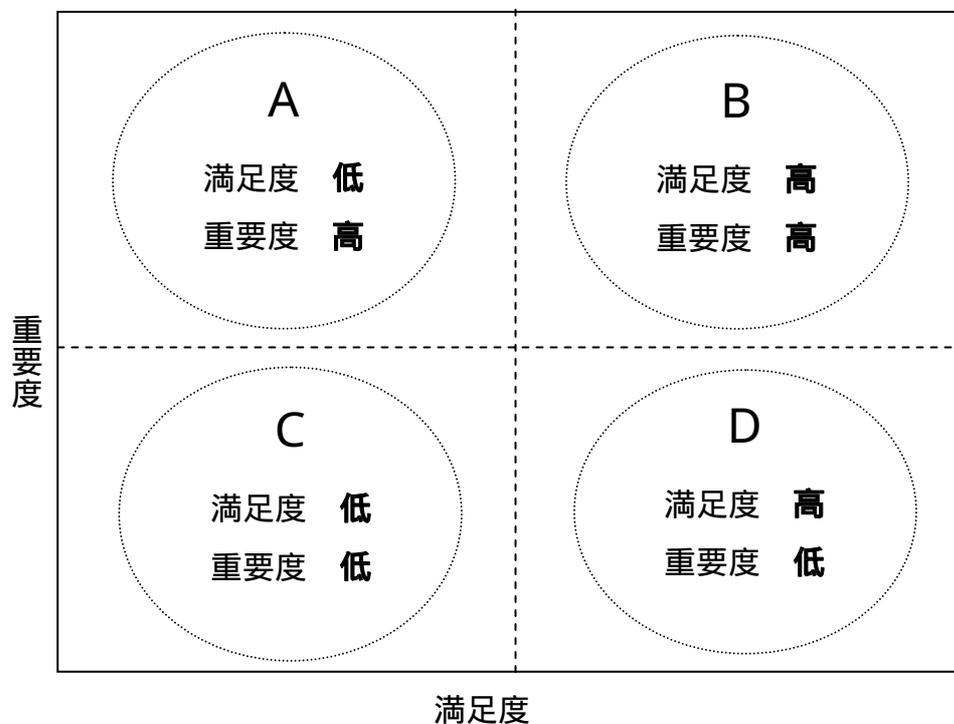
満足度の点数化については、「満足」= 5点、「ほぼ満足」= 4点、「普通」= 3点、「やや不満」= 2点、「不満」= 1点として、不明・無回答を除く件数で除したものです。

重要度の点数化については、「重要」= 5点、「やや重要」= 4点、「現状のまま」= 3点、「あまり重要でない」= 2点、「重要でない」= 1点として、わからない不明・無回答を除く件数で除したものです。

(2) 結果散布図

27項目の満足度と重要度について、下図の4つの領域に分類し、散布図を作成しました。

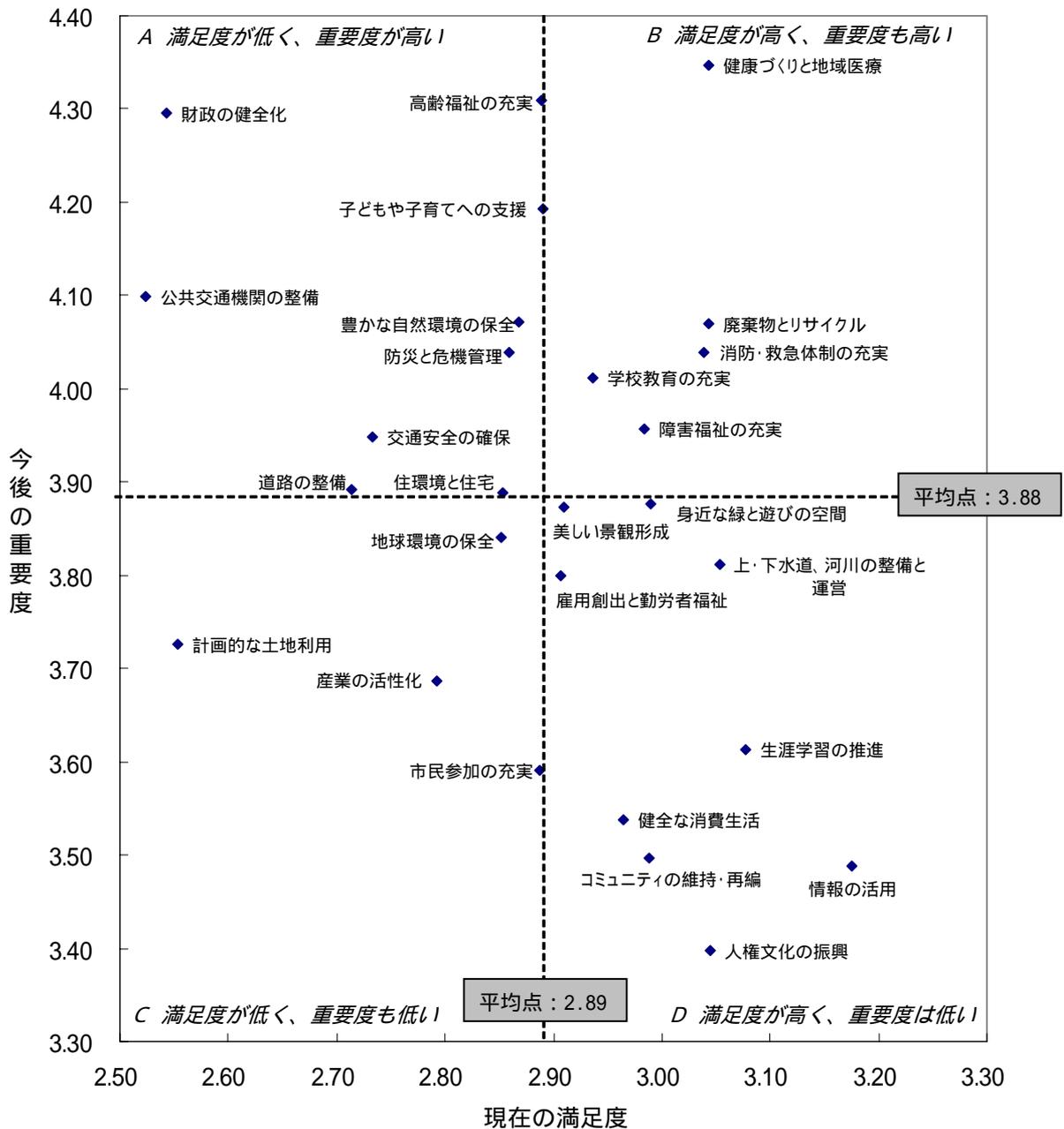
結果の分類



領域	説明
A	重要度が高いにもかかわらず、満足度が低く、優先して充実が求められている項目
B	満足度も重要度も高いため、継続して充実する必要がある項目
C	満足度は低いものの重要度も低いため、他の項目の優先順位を勘案しながら、満足度を向上していくべき項目
D	満足度は高く、重要度が低いため、今後場合によっては満足度の低い他の項目へ優先順位をシフトしていくことを検討する必要がある項目

上記の領域については、あくまで 27 項目の中の相対的な位置関係を示すために便宜上設定した分類であるため、A ~ D は絶対的な区分ではありません。

満足度・重要度の散布図



< 満足度と重要度の散布図について >

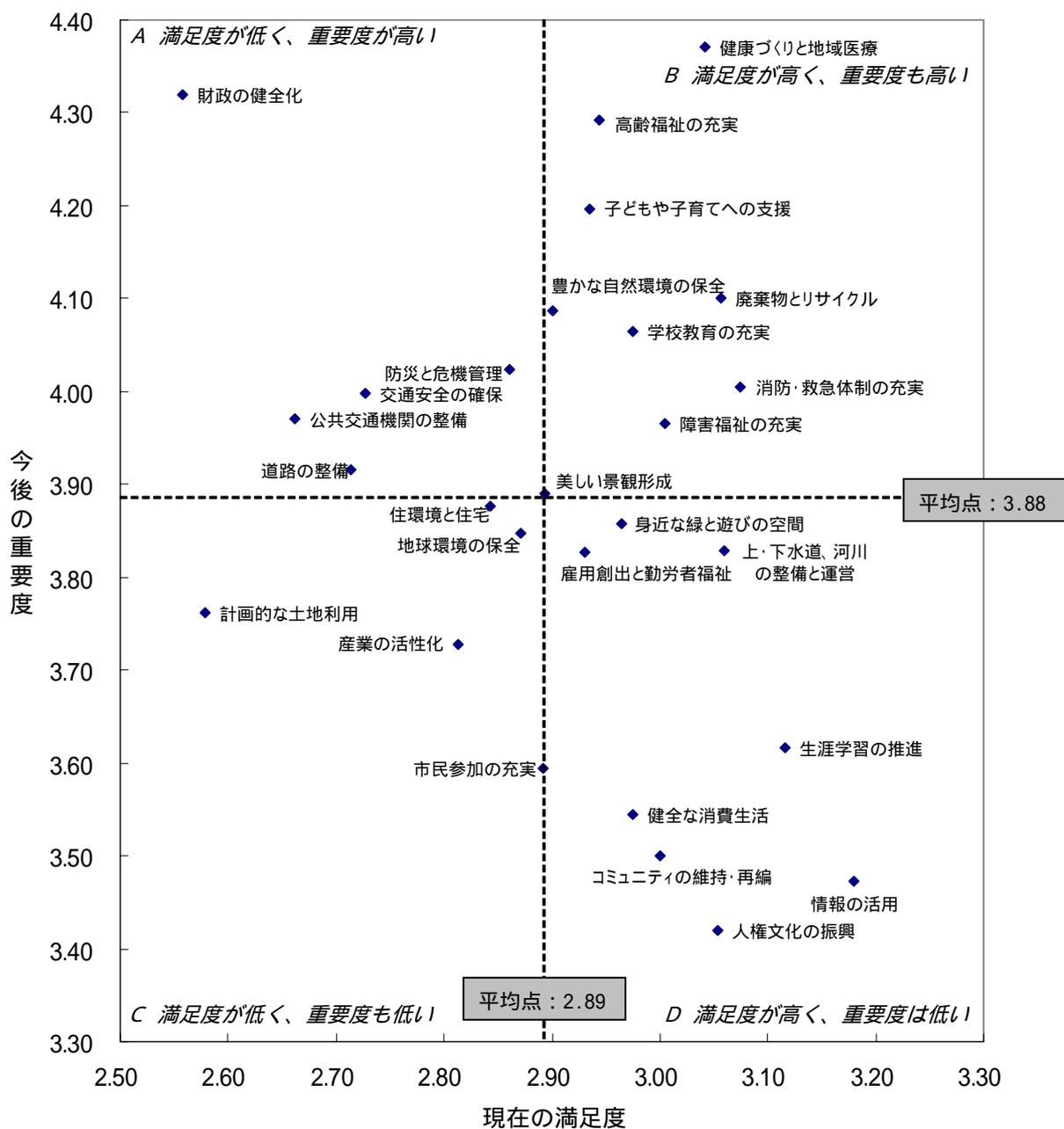
「財政の健全化」「公共交通機関の整備」「高齢福祉の充実」「子どもや子育てへの支援」「豊かな自然環境の保全」「防災と危機管理」「交通安全の確保」等がAの領域に分類され、今後優先して充実する必要がある項目となります。

(3) 地区別結果散布図

西部地区

項目	満足度	重要度
1 健康づくりと地域医療	3.04	4.37
2 子どもや子育てへの支援	2.93	4.20
3 高齢福祉の充実	2.94	4.29
4 障害福祉の充実	3.01	3.97
5 住環境と住宅	2.84	3.88
6 身近な緑と遊びの空間	2.96	3.86
7 廃棄物とリサイクル	3.06	4.10
8 防災と危機管理	2.86	4.02
9 消防・救急体制の充実	3.08	4.01
10 交通安全の確保	2.73	4.00
11 人権文化の振興	3.05	3.42
12 学校教育の充実	2.98	4.06
13 生涯学習の推進	3.12	3.62
14 地球環境の保全	2.87	3.85
15 豊かな自然環境の保全	2.90	4.09
16 健全な消費生活	2.97	3.54
17 雇用創出と勤労者福祉	2.93	3.83
18 産業の活性化	2.81	3.73
19 計画的な土地利用	2.58	3.76
20 公共交通機関の整備	2.66	3.97
21 道路の整備	2.71	3.92
22 上・下水道、河川の整備と運営	3.06	3.83
23 美しい景観形成	2.89	3.89
24 情報の活用	3.18	3.47
25 コミュニティの維持・再編	3.00	3.50
26 市民参加の充実	2.89	3.59
27 財政の健全化	2.56	4.32

西部地区の満足度・重要度の散布図



平均点は全体の数値

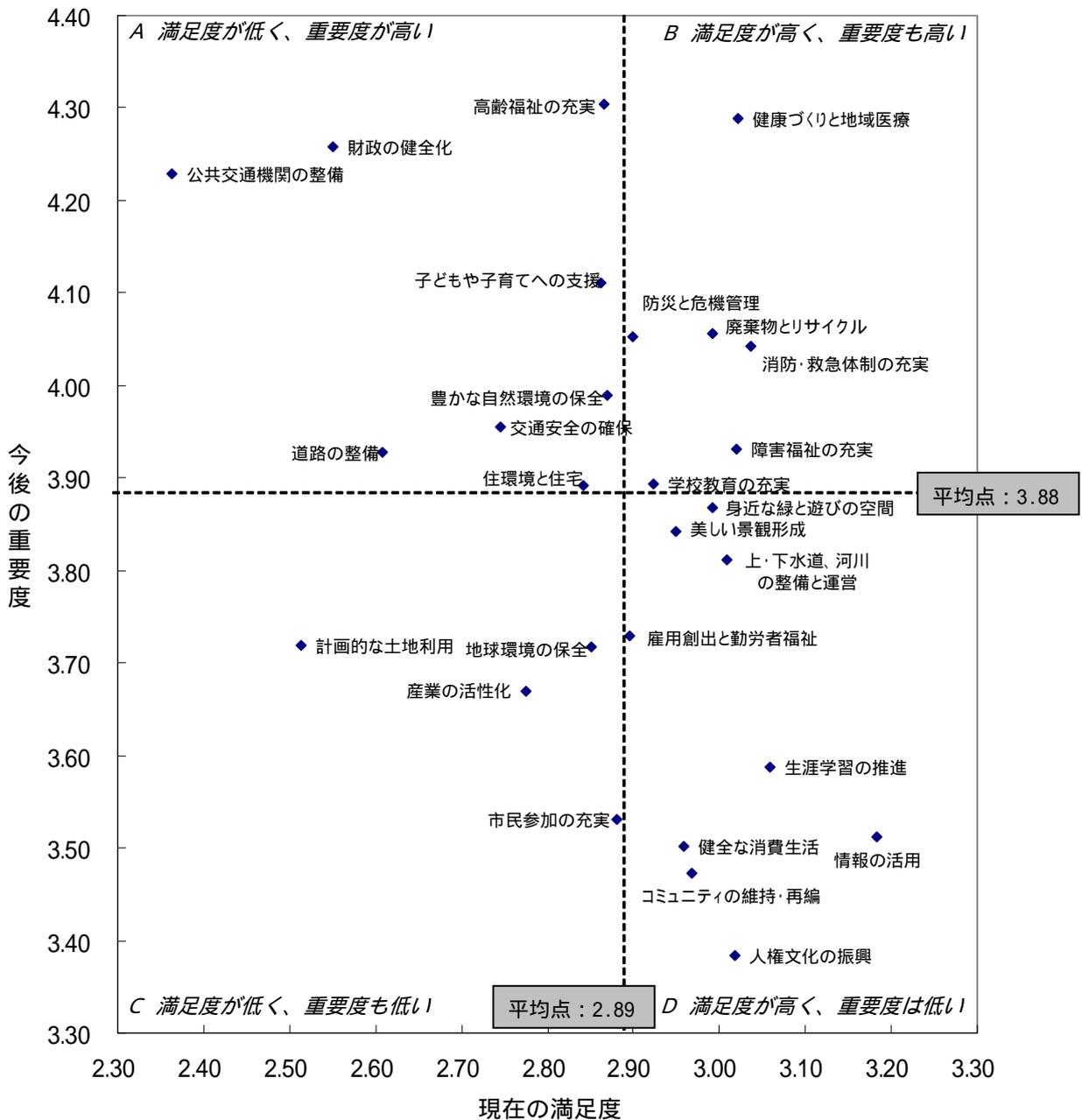
<西部地区の満足度と重要度の散布図について>

西部地区では、「財政の健全化」「防災と危機管理」「交通安全の確保」「公共交通機関の整備」「道路の整備」等がAの領域に分類され、今後優先して充実する必要があります。

中部地区

項目	満足度	重要度
1 健康づくりと地域医療	3.02	4.29
2 子どもや子育てへの支援	2.86	4.11
3 高齢福祉の充実	2.87	4.30
4 障害福祉の充実	3.02	3.93
5 住環境と住宅	2.84	3.89
6 身近な緑と遊びの空間	2.99	3.87
7 廃棄物とリサイクル	2.99	4.06
8 防災と危機管理	2.90	4.05
9 消防・救急体制の充実	3.04	4.04
10 交通安全の確保	2.74	3.95
11 人権文化の振興	3.02	3.38
12 学校教育の充実	2.92	3.89
13 生涯学習の推進	3.06	3.59
14 地球環境の保全	2.85	3.72
15 豊かな自然環境の保全	2.87	3.99
16 健全な消費生活	2.96	3.50
17 雇用創出と勤労者福祉	2.89	3.73
18 産業の活性化	2.77	3.67
19 計画的な土地利用	2.51	3.72
20 公共交通機関の整備	2.36	4.23
21 道路の整備	2.61	3.93
22 上・下水道、河川の整備と運営	3.01	3.81
23 美しい景観形成	2.95	3.84
24 情報の活用	3.18	3.51
25 コミュニティの維持・再編	2.97	3.47
26 市民参加の充実	2.88	3.53
27 財政の健全化	2.55	4.26

中部地区の満足度・重要度の散布図



平均点は全体の数値

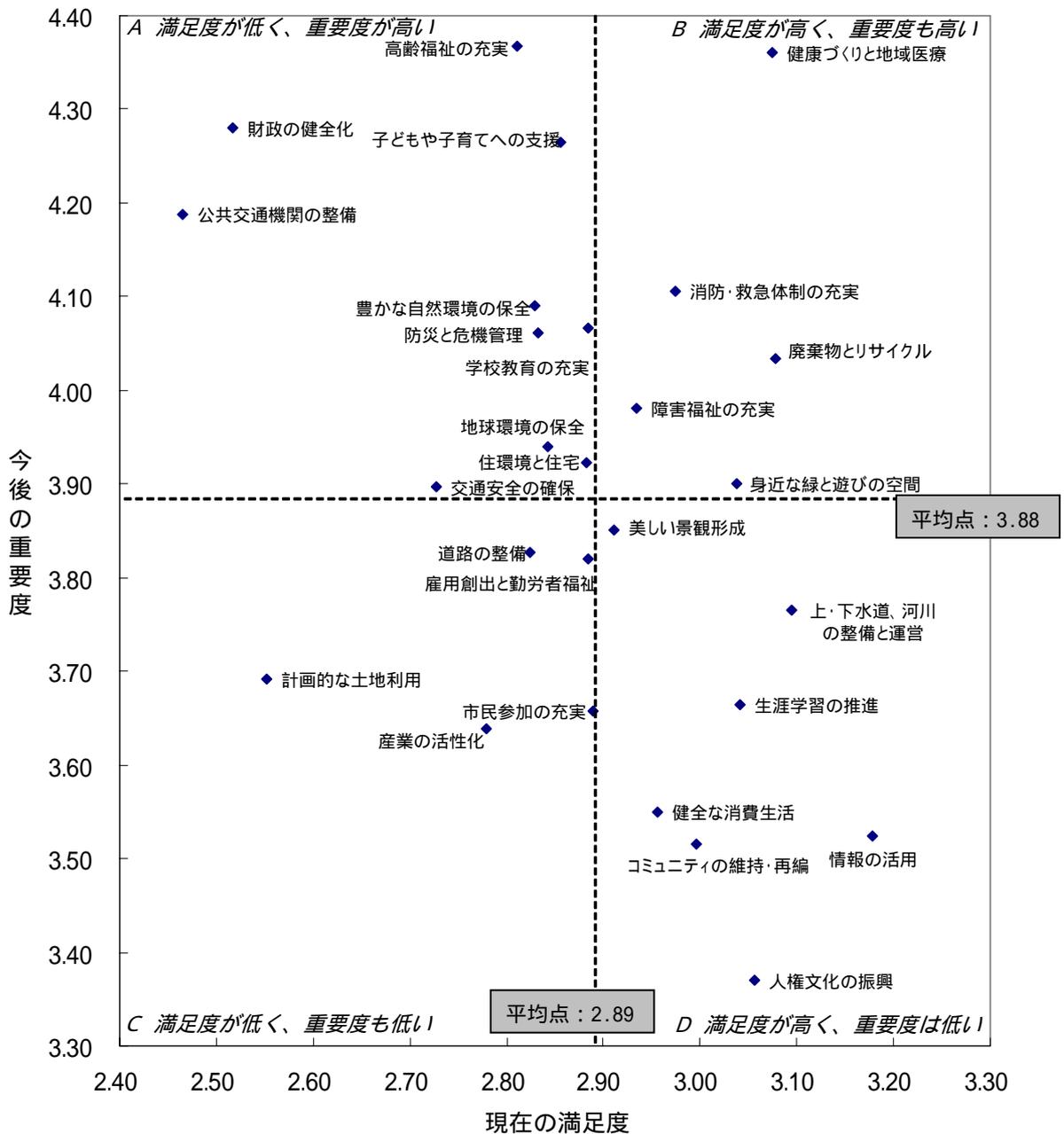
< 中部地区の満足度と重要度の散布図について >

中部地区では、「高齢者福祉の充実」「財政の健全化」「公共交通機関の整備」「子どもや子育てへの支援」「豊かな自然環境の保全」「交通安全の確保」「道路の整備」「住環境と住宅」等がAの領域に分類され、今後優先して充実する必要がある項目となります。

東部地区

項目	満足度	重要度
1 健康づくりと地域医療	3.07	4.36
2 子どもや子育てへの支援	2.86	4.26
3 高齢福祉の充実	2.81	4.37
4 障害福祉の充実	2.93	3.98
5 住環境と住宅	2.88	3.92
6 身近な緑と遊びの空間	3.04	3.90
7 廃棄物とリサイクル	3.08	4.03
8 防災と危機管理	2.83	4.06
9 消防・救急体制の充実	2.97	4.11
10 交通安全の確保	2.73	3.90
11 人権文化の振興	3.06	3.37
12 学校教育の充実	2.88	4.07
13 生涯学習の推進	3.04	3.67
14 地球環境の保全	2.84	3.94
15 豊かな自然環境の保全	2.83	4.09
16 健全な消費生活	2.96	3.55
17 雇用創出と勤労者福祉	2.88	3.82
18 産業の活性化	2.78	3.64
19 計画的な土地利用	2.55	3.69
20 公共交通機関の整備	2.47	4.19
21 道路の整備	2.82	3.83
22 上・下水道、河川の整備と運営	3.09	3.77
23 美しい景観形成	2.91	3.85
24 情報の活用	3.18	3.52
25 コミュニティの維持・再編	3.00	3.52
26 市民参加の充実	2.89	3.66
27 財政の健全化	2.52	4.28

東部地区の満足度・重要度の散布図



平均点は全体の数値

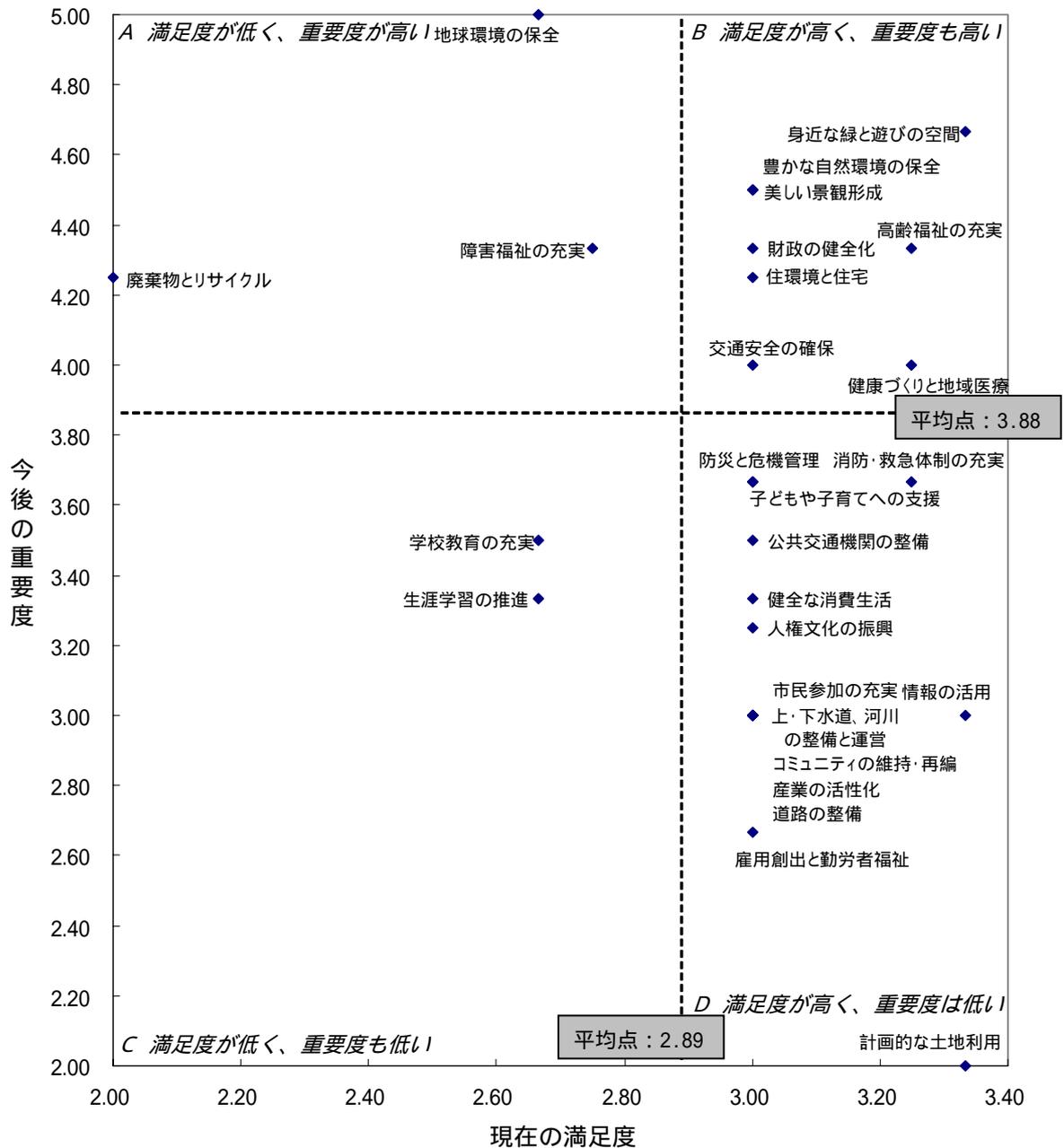
< 東部地区の満足度と重要度の散布図について >

東部地区では、「高齢者福祉の充実」「財政の健全化」「子どもや子育てへの支援」「公共交通機関の整備」「豊かな自然環境の保全」「防災と危機管理」「学校教育の充実」「地球環境の保全」「住環境と住宅」「交通安全の確保」等がAの領域に分類され、今後優先して充実する必要がある項目となります。

北部地区

項目	満足度	重要度
1 健康づくりと地域医療	3.25	4.00
2 子どもや子育てへの支援	3.00	3.67
3 高齢福祉の充実	3.25	4.33
4 障害福祉の充実	2.75	4.33
5 住環境と住宅	3.00	4.25
6 身近な緑と遊びの空間	3.33	4.67
7 廃棄物とリサイクル	2.00	4.25
8 防災と危機管理	3.00	3.67
9 消防・救急体制の充実	3.25	3.67
10 交通安全の確保	3.00	4.00
11 人権文化の振興	3.00	3.25
12 学校教育の充実	2.67	3.50
13 生涯学習の推進	2.67	3.33
14 地球環境の保全	2.67	5.00
15 豊かな自然環境の保全	3.00	4.50
16 健全な消費生活	3.00	3.33
17 雇用創出と勤労者福祉	3.00	2.67
18 産業の活性化	3.00	3.00
19 計画的な土地利用	3.33	2.00
20 公共交通機関の整備	3.00	3.50
21 道路の整備	3.00	3.00
22 上・下水道、河川の整備と運営	3.00	3.00
23 美しい景観形成	3.00	4.50
24 情報の活用	3.33	3.00
25 コミュニティの維持・再編	3.00	3.00
26 市民参加の充実	3.00	3.00
27 財政の健全化	3.00	4.33

北部地区の満足度・重要度の散布図



平均点は全体の数値

< 北部地区の満足度と重要度の散布図について >

北部地区では、「地球環境の保全」「障害福祉の充実」「廃棄物とリサイクル」等がAの領域に分類され、今後優先して充実する必要がある項目となります。

結果の概要

暮らしの満足度と今後の重要度

市が実施している各施策について、満足度と重要度を分析した結果、財政の健全化、高齢者や子育てなどの支援、公共交通の整備、自然環境保全、防災・危機管理などについては、満足度が低く重要度が高いと想定され、今後も充実が求められる分野となっています。

また、健康づくりや医療、廃棄物やリサイクル、消防・救急体制、学校教育、障害福祉については、満足度、重要度がともに高いと想定され、今後も継続した取り組みが求められる分野となっています。

各地区別結果から、今後充実が求められる満足度が低く重要度が高いと想定される項目をみると、各地区ともに財政の健全化があがっていますが、中部地区では公共交通の整備や高齢者福祉の充実、東部地区では高齢者福祉の充実や子育てなどの支援、北部地区では自然環境の保全となっており、地区ごとに差が見られる結果となっています。

4 . 前回調査との比較

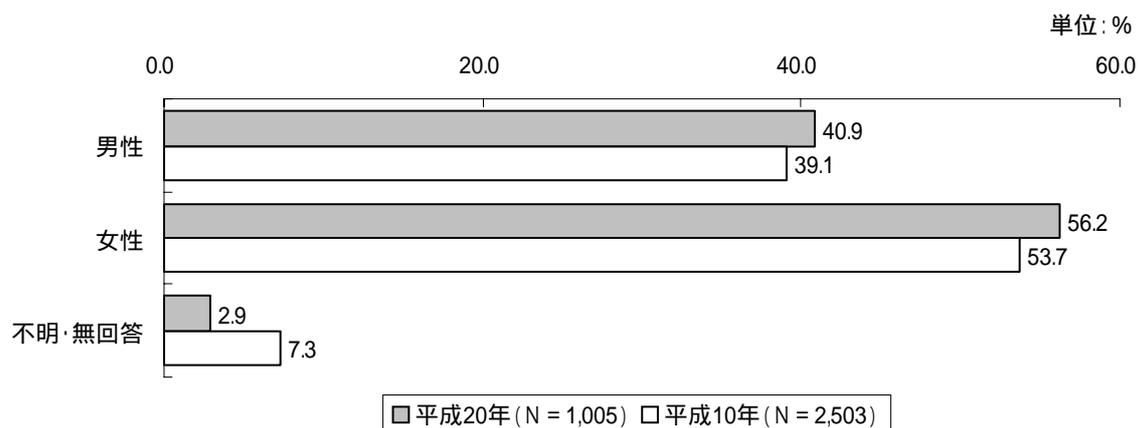
前回調査との比較について

調査結果について、経年的な変化の傾向を把握するため、それぞれの設問について、平成10年に行った前回調査との経年比較を行いました。

なお、比較することが可能である設問のみを対象としており、選択肢が異なるものなどについては、調整（2つの選択肢をまとめるなど）を加えています。（各グラフ下の 印参照）また、表現が変わっているものの同じ意味を表す選択肢については、同様のものとして扱っています。

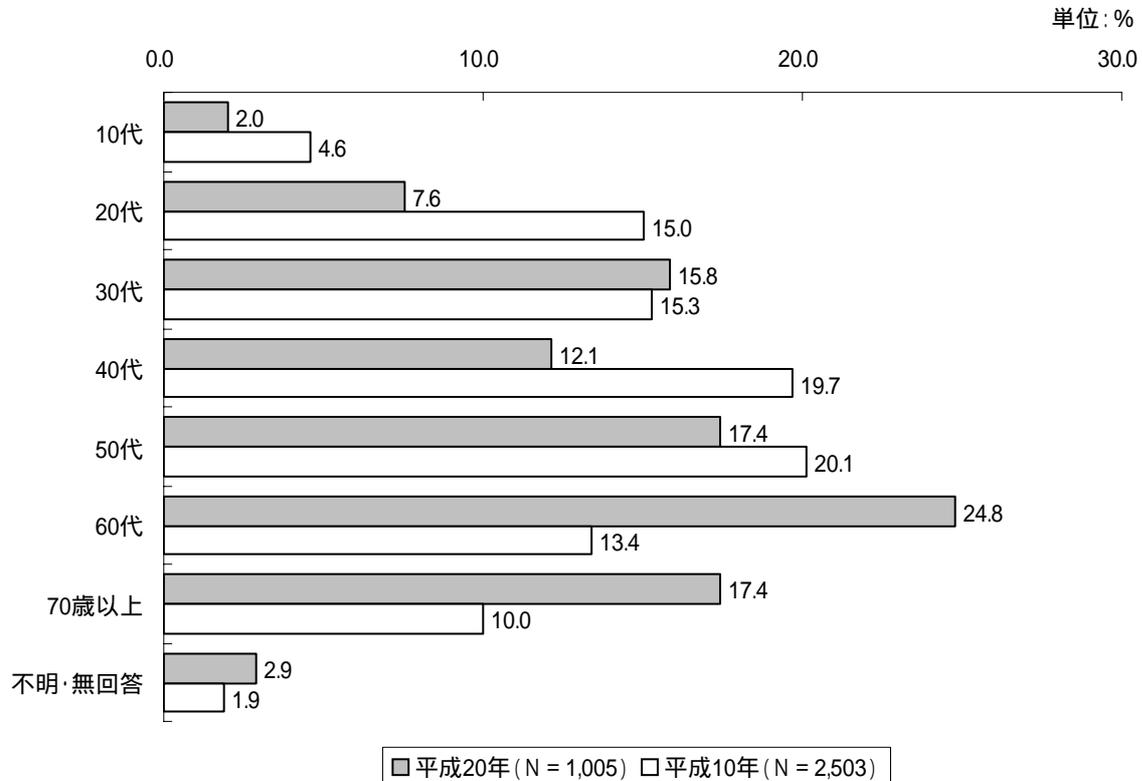
性別

回答者の性別について見ると、「不明・無回答」が減少したため、「男性」が1.8ポイント、「女性」が2.5ポイント上昇しており、前回調査と同様、男性より女性の回答が多くなっています。



年齢

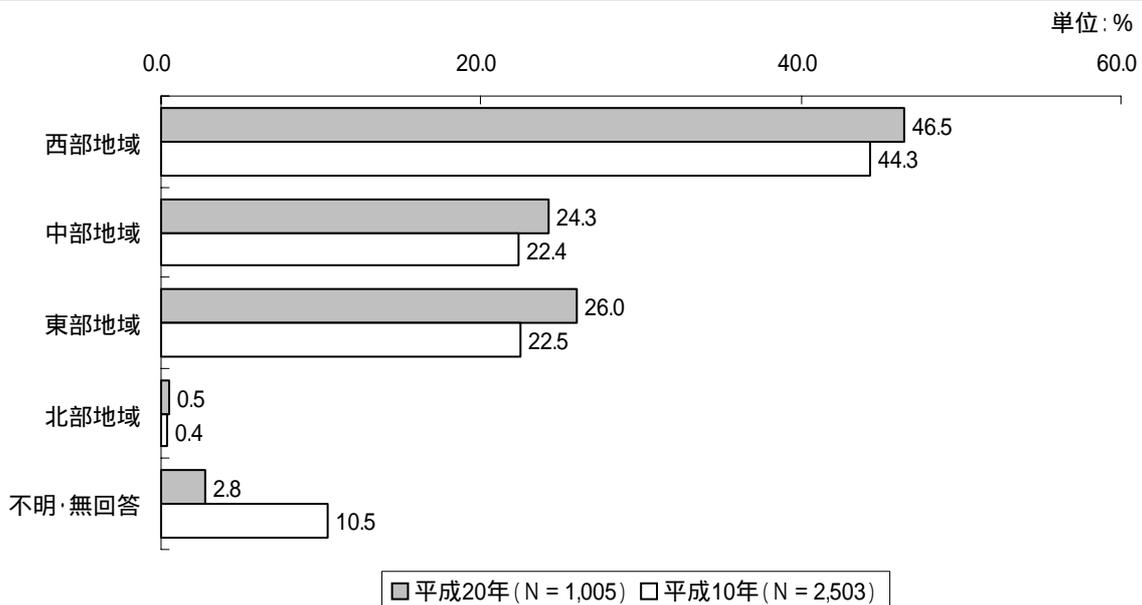
回答者の年齢について見ると、「10代」「20代」「40代」「50代」は減少、「30代」「60代」「70歳以上」は上昇しており、特に高齢層の回答が多くなっています。



平成20年調査の選択肢「60～64歳」「65～69歳」を合算して、「60代」としている。

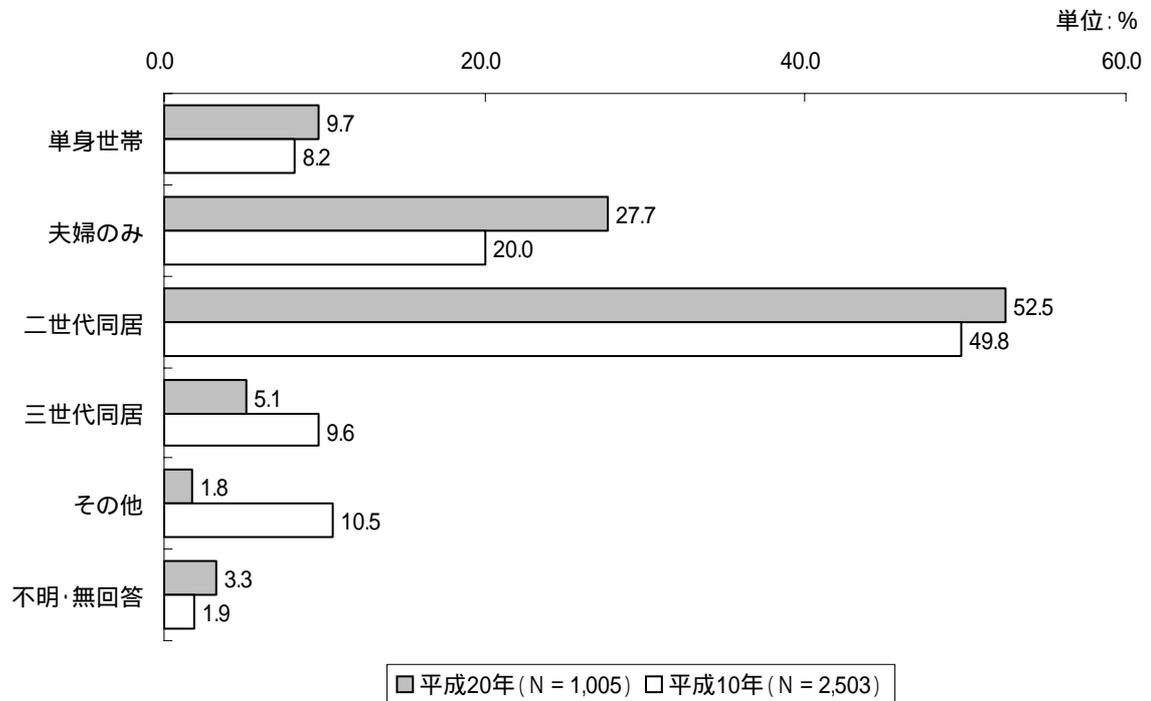
地域

回答者の居住地域について見ると、「不明・無回答」が減少したため、各地域への回答が上昇しており、前回調査と同様、「西部地域」が最も高くなっています。



世帯

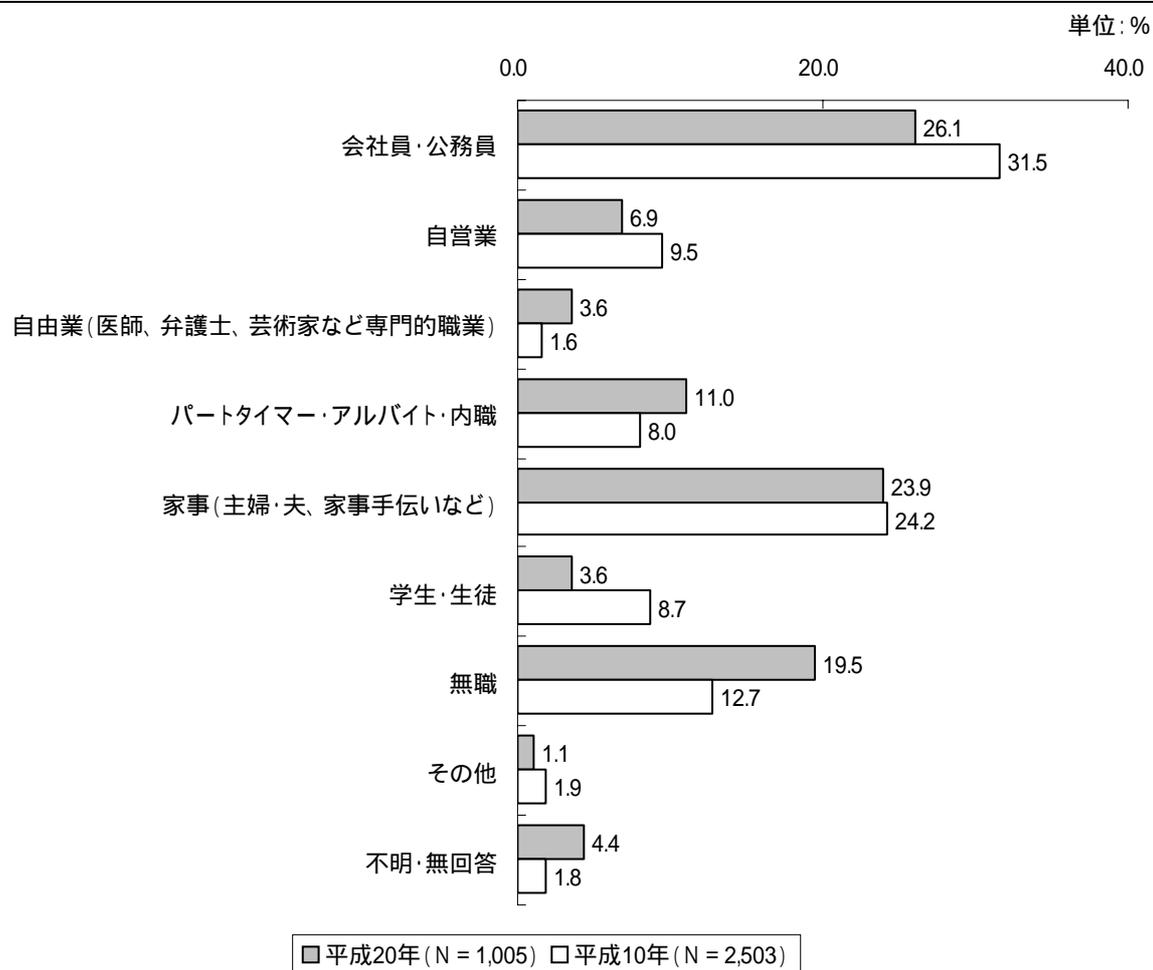
回答者の世帯について見ると、概ね同様の傾向となっておりますが、「三世代同居」が4.5ポイント減少し、「二世世代同居」が2.7ポイント上昇しています。



平成20年調査の選択肢「二世世代同居（子と同居）」「二世世代同居（親と同居）」を合算して、「二世世代同居」としている。

職業

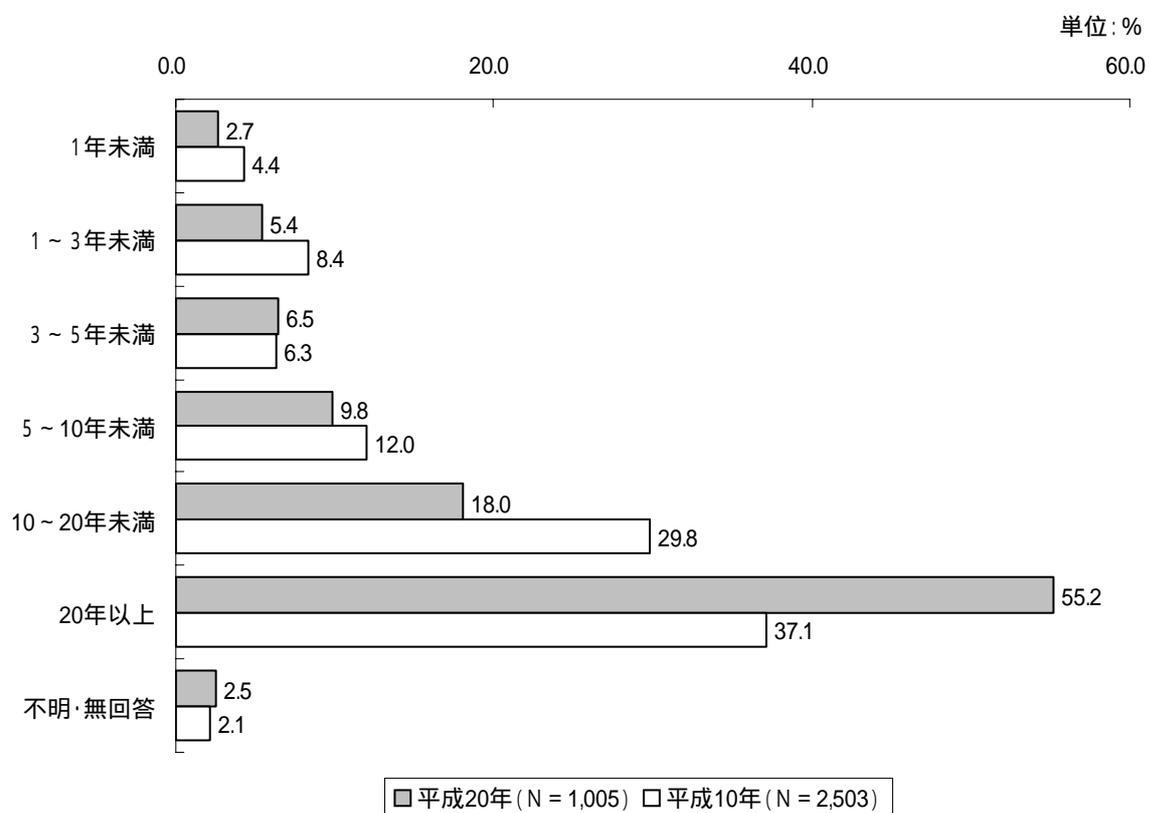
回答者の職業について見ると、それぞれの項目で割合が変化しており、特に「会社員・公務員」が5.4ポイント減少し、「無職」が6.8ポイント上昇しています。



平成10年調査の選択肢「会社勤務」「公務員・教員」を合算して、「会社員・公務員」としている。

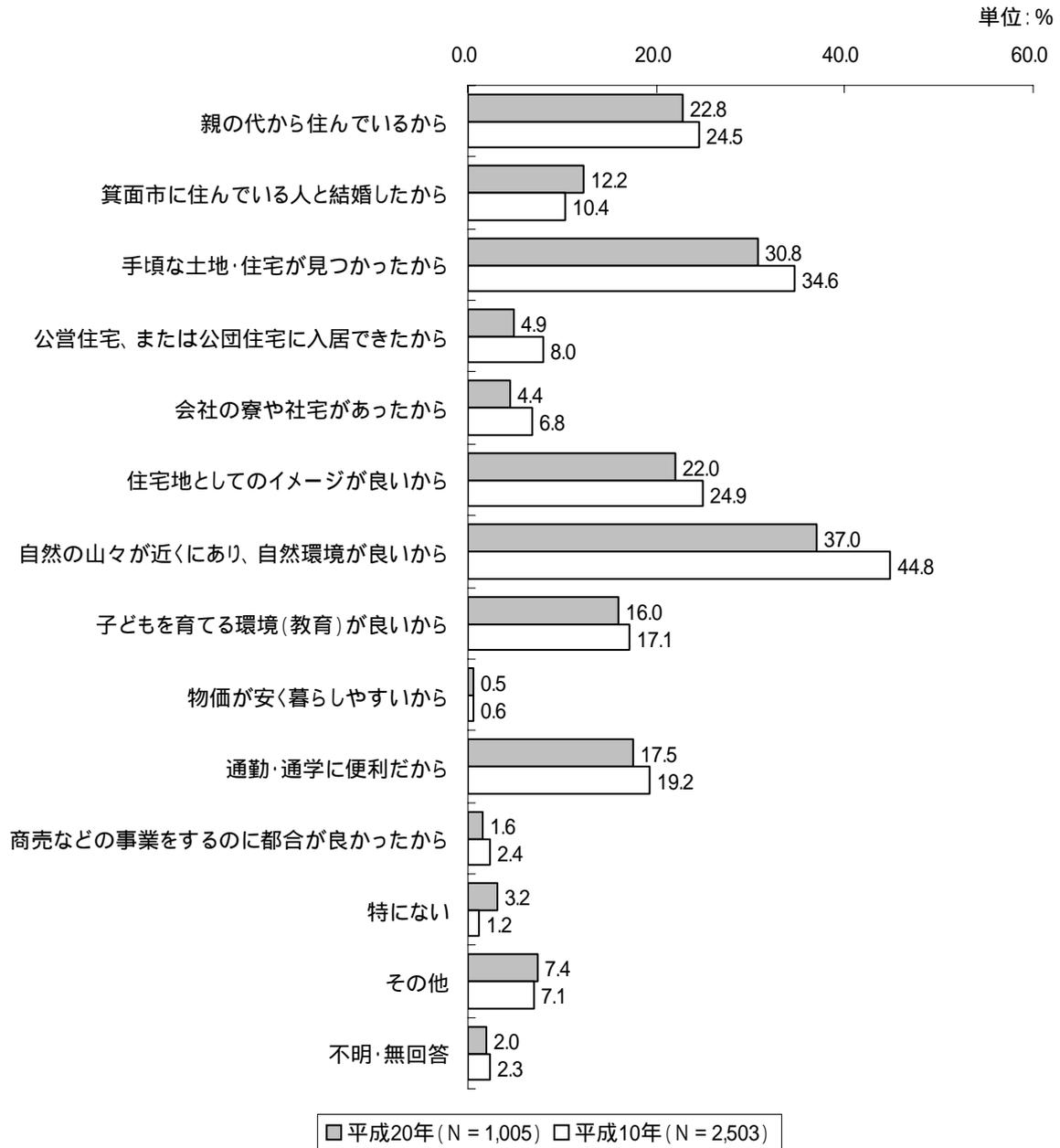
居住年数

回答者の居住年数について見ると、「10～20年未満」が11.8ポイント減少し、「20年以上」が18.1ポイント上昇しています。



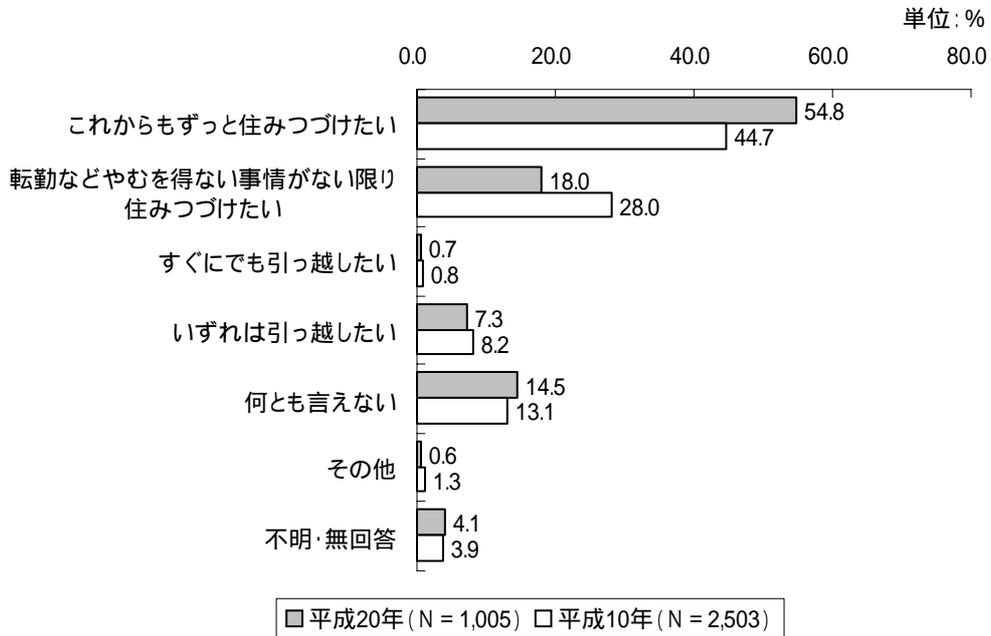
定住理由

回答者の定住理由について見ると、概ね同様の傾向となっておりますが、「自然の山々が近くにあり、自然環境が良いから」「手頃な土地・住宅が見つかったから」等が減少しています。



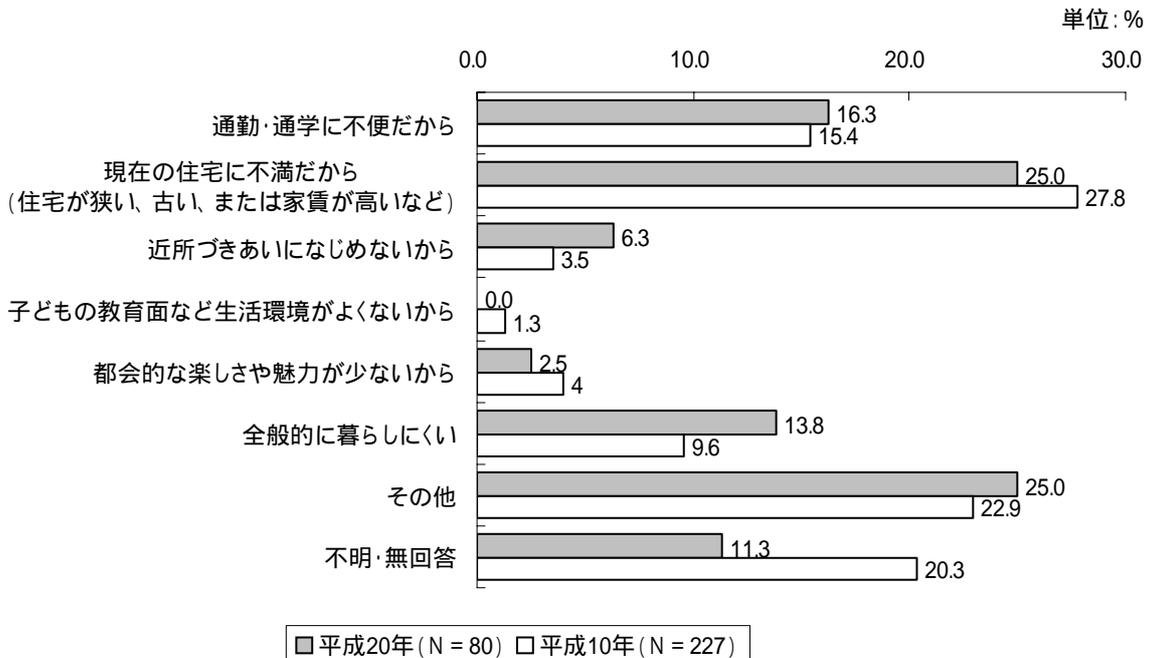
今後の定住意向について

今後の定住意向について見ると、「これからもずっと住みつづけたい」が44.7%から54.8%と、10.1ポイント上昇しています。



引っ越したい理由について

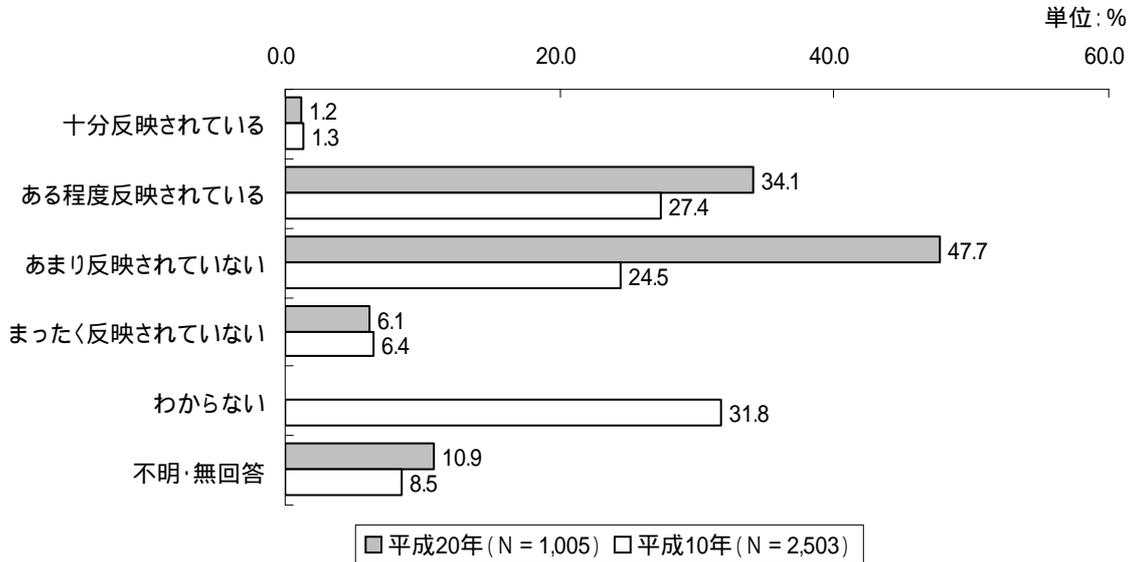
引っ越したい理由について見ると、「現在の住宅に不満だから」が減少し、「通勤・通学に不便だから」「近所づきあいになじめないから」「一般的に暮らしにくい」が上昇しています。



平成10年調査の選択肢「通勤や仕事に不便」「通学に不便」を合算して、「通勤・通学に不便だから」としている。

まちづくりへの市民意向の反映度について

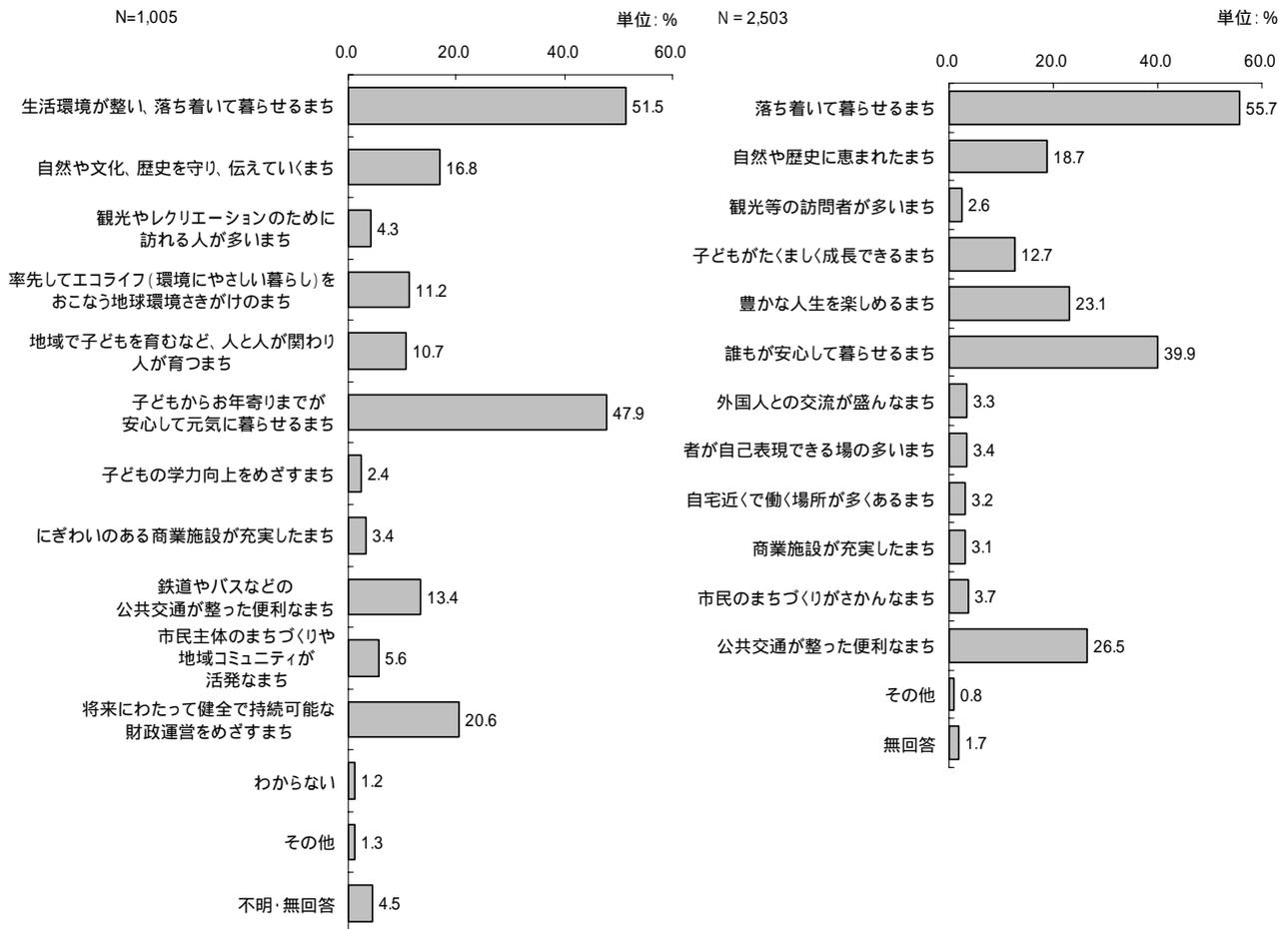
市政への市民の意向の反映度について見ると、「ある程度反映されている」「あまり反映されていない」が上昇しています。



平成20年調査では、「わからない」という選択肢がないため、単純比較はできない。

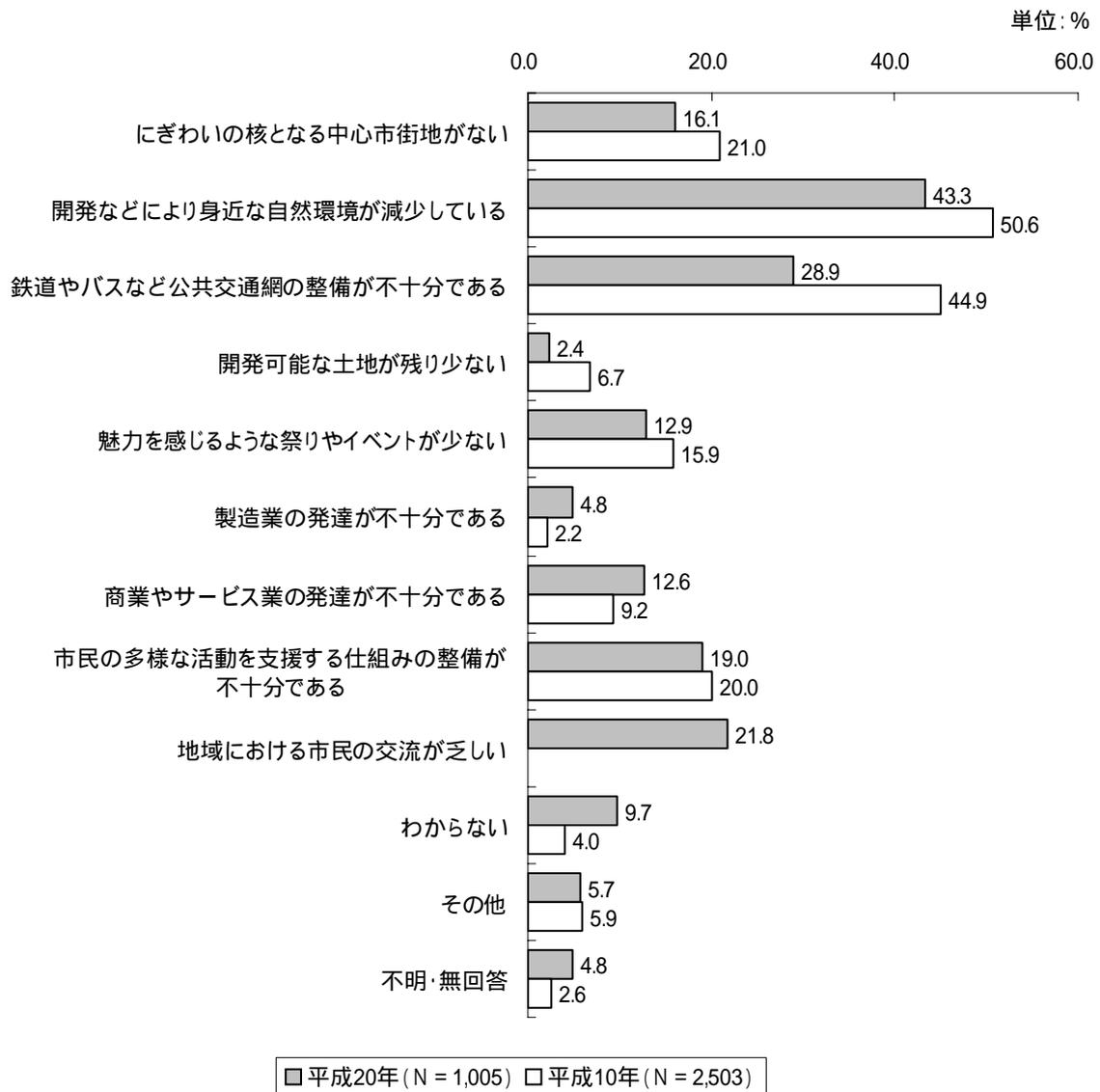
希望する将来の箕面市の姿

希望する将来の箕面市の姿について見ると、『落ち着いて暮らせる』『安心』などの項目が高くなっていますが、『公共交通』については、減少しています。



将来像を実現するために必要な取り組み

希望する将来の箕面市の姿を実現するために必要な取り組みについて見ると、「中心市街地がない」「自然環境が減少している」「公共交通網の整備が不十分」など、前回調査時に回答が多かった項目について、引き続き高い割合となっていますが、いずれも減少傾向にあります。



結果の概要

回答者について（回答者の属性）

性別

回答者の男女構成について、前回調査（平成 10 年）と比較すると、いずれも女性の比率が高くなっており、不明・無回答が減少したため、男女ともに割合が高くなっています。

年齢別

回答者の年齢構成について前回調査（平成 10 年）と比べて 10・20 代、40 代・50 代の比率が低くなっており、60 代以上の比率が高くなっています。

居住地域別

回答者の居住地域別の構成について、前回調査（平成 10 年）と比較すると、概ね同様の傾向となっており、不明・無回答が減少したため、いずれの地区においても割合が高くなっています。

家族構成別

回答者の家族構成別の構成について、前回調査（平成 10 年）と比較すると、3 世代同居が減少しています。

職業別

回答者の職業別の構成について、前回調査（平成 10 年）と比較すると、会社員が減少し、無職の比率が高くなっています。

居住歴別

回答者の居住歴別の構成について、前回調査（平成 10 年）と比較すると、10～20 年が減少し、20 年以上の比率が高くなっています。

定住意向について

箕面市に住むようになった理由

箕面市に住むようになった主な理由について、前回調査（平成 10 年）と比較すると、概ね同様の傾向となっていますが、「自然の山々が近くにあり、自然環境が良いから」「手頃な土地・住宅が見つかったから」等の比率が減少しています。

今後の定住意向

今後の定住意向について、前回調査（平成 10 年）と比較すると、『住み続けたい』という回答は概ね同様の傾向となっていますが、「これからもずっと住み続けたい」という積極的な定住意向は 10.1 ポイント上昇しています。

引っ越したい理由について、前回調査（平成 10 年）と比較すると、「現在の住宅に不満だから（住宅が狭い、古い、家賃が高いなど）」が減少し、「通勤・通学等に不便だから」「近所づきあいになじめないから」「全般的に暮らしにくい」等が上昇しています。

行政運営について

市政への市民意見の反映について、前回調査（平成 10 年）と比較すると、「ある程度反映されている」「あまり反映されていない」が上昇しています。

箕面市の将来の都市像について

希望する将来都市像について

市の将来の都市像について、前回調査（平成 10 年）と比較すると、『落ち着いて暮らせる』『安心』などの項目が継続して高くなっている一方『公共交通』については減少しています。

将来都市像を達成するために必要なことについて

希望する将来都市像の実現のために必要なことについて、前回調査（平成 10 年）と比較すると、「中心市街地がない」「自然環境が減少している」「公共交通網の整備が不十分」等が高く、概ね同様の傾向となっています。

5 . 自由回答

自由記述の分類について

「10年後の箕面市を住みやすいまちにするために、どのようなことが必要だと思いますか」という設問に対して、自由記述によりご意見をいただきました。

記述いただいた意見の内容は、分野・項目ごとに分類しています。分類の方法については、箕面市民会議における「次期総合計画に向けての提言書」でまとめられた、5つの「まちづくりの目標」と18の「まちづくりの基本方向」に基づき内容を整理しています。

なお、意見については要約しており、類似意見についてはまとめて表記し、それぞれの回答件数を記載しています。

(1) 自由記述内容一覧

目標1．安全・安心でみんながいきいき暮らすまち

内 容	件数
(1) 健康は自分で守り、頼れる医療をつくります。(健康・医療)	
保健事業の推進	
・無料検診を増やしてほしい	1
地域医療・救急医療体制の確立	
・医療、福祉をさらに充実してほしい	11
市立病院の充実	
・市立病院の医師の充実、公的病院の増設、医療の充実等	4
・市立病院にNICUを設置してほしい	1
・産婦人科を誘致してほしい	1
・24時間開いている病院があってもいいのではないか	1
(2) 誰もが明るくいきいき暮らします。(高齢者・障害者・外国人)	
地域に根ざした福祉サービスの展開	
・安い費用で入所できる福祉施設を増設すべき	1
要介護高齢者への介護サービスの充実と確保	
・デイサービス等、介護サービスに力をいれてほしい、福祉の充実等	3
高齢者の自立生活への支援	
・高齢者の福祉対策、生活支援を充実してほしい	1
高齢者のいきいき生活の支援	
・一人暮らしの高齢者を地域全体で支えられる仕組みづくりが必要	1

内 容	件数
(3) みんなでまちの安全と潤いをつくります。(安全)	
災害に備えた危機管理体制の強化	
・地震に備えて準備しておくべき。危機管理対策	3
・家屋の耐震診断の申し込み窓口を自治会などで働きかけてほしい	1
交通安全施策の推進	
・交通ルールの確立。道路、交通整備、環境整備を充実すべき	11
・バイクなどの暴走族の取り締まりを警察に要望してほしい	4
防犯環境の整備	
・外灯、街灯の設置、防犯のためのカメラをつけてほしい	7
・住宅地の違法駐車を取り締まってほしい	1
子どもの活動場所の整備	
・子どもが安心して遊べる保育園・幼稚園・小学校などの防犯対策が重要。登下校時の安全対策	1
(4) みんながいきいき働くまちをつくります。(働く)	
高齢者の就労支援	
・元気な老人が働ける環境づくりが必要	1

目標 2 . 子どもたちの夢が育つまち

内 容	件数
(1) 人と人が認め合い、受け容れあう豊かなまちをつくります。(人権)	
人権尊重のまちづくり	
・子どもに対して命の大切さ、人を思いやる心の指導をしてほしい	3
(2) 子どもたちは「地域の宝」として、地域で育てていきます。(子育て支援)	
子育て支援制度の充実	
・乳児医療の助成を3歳までから引き上げてほしい	6
・子育て支援、教育、医療に力をいれるべき	4
・子育てしやすい環境をつくってほしい	2
・保育所の充実	1
・母子手帳と一緒に妊婦マークのキーホルダーを配布してほしい	1
・私立幼稚園の補助が4歳からなら、公立幼稚園をもっとつくるべき	1
(3) 確かな未来を見つける教育を行います。(教育)	
教育環境の整備充実	
・教育設備をもっとよくするべき	1
・小学校から英語教育を導入することについて、ヒアリングを重視し、テキストは簡略にする。外国人教師に担当させる	1
・小学校の教師の教育が必要	1
・教育者の人材を集める	1

内 容	件数
・ 青少年の教育に力を入れる（奨学金給与など）	1
・ 教育者の固定化を改め、お金をかけて将来のまちの中心となれる人を育てていく意識を持ってほしい	1
・ 大阪大学との連携の強化	1
一人ひとりの豊かな人間形成に向けた教育の充実	
・ 学校教育の向上	1
・ 教育面は公平でない。教育に力をいれてほしい	1
(4) 生涯学び、生涯元気に暮らせるまちをつくります。(生涯学習)	
生涯学習・スポーツ施設の整備	
・ 高齢でも参加できるようにスポーツ教室など徒歩で行ける場所につくってほしい	1
・ 便利な場所に室内プールやレストラン併設のスポーツ施設がほしい	1

目標 3 . 地球環境さきがけのまち

内 容	件数
(1) みんなで環境さきがけ都市にふさわしいエコライフを進めます。(エコライフ)	
公害の防止	
・ 静かなまちづくりをしてほしい。騒音対策の充実	1
リサイクル・再資源化を進める	
・ リサイクル品を再利用できるシステムをつくってほしい	4
ごみを適正に処理する	
・ 燃えるごみの袋が小さい、高い。ごみ対策・回収に不満など	11
・ ごみの収集は無料化してほしい	1
・ 不燃ごみ袋の配布など、わかりやすい制度を確立してほしい	1
・ 環境美化条例をつくって美しいまちづくりを進めてほしい	1
・ 市民相談コーナーに専門職を配置してほしい	1
・ 資源ごみの空き缶など、収集車が来る前に民間のリサイクル業者が持っていくのを取り締まってほしい	1
・ 転入者にもわかりやすい、ごみ出しのルールを広報してほしい	1
・ 公園のごみ箱・バス乗り場のごみ箱を昔のように戻してほしい	1
地球環境にやさしいライフスタイルの推進	
・ 恵まれた環境維持のため、エネルギーをつくり出すことへの支援が必要。ソーラーシステム設置への補助、雨水の利用・太陽光・風力発電の促進など	4
・ 地球環境を考慮し、具体的な温暖化対策をもっとアピールしてほしい	1
・ 太陽エネルギーを利用した施設をつくる	1

内 容	件数
(2) 自然と調和した水とみどり豊かなまちをつくります。(エコシティ)	
特徴を生かした都市緑化の推進	
・171号線沿いに樹木が立ち並んでいると良い	1
公園・緑地の整備と管理運営	
・公園の遊具が充実していない。公園の整備	3
・街路樹の手入れが行き届いていない	3
・千里公園のように良い公園があれば嬉しい。日本の街並みは景観が悪い。開発も大事だが、緑も同様に配置していくことをお願いしたい	1
・小さい子どもが遊べる公園がほしい	1
・半町南公園で犬の散歩をしており、怖くて子どもが自由に遊べない	1
・草が生えて散歩しにくい。草刈機の貸与、市役所が中心となって、市民とともに草刈できないか	1
・緑は多いが、害虫も多い。除草剤などの散布も必要ではないか	1
・瀬川南公園は緑が多すぎてジャングル。掃除が大変。見に来てほしい	1
地球環境保全意識の向上と行動の推進	
・エコロジーのまちになるように企業・商店街・大型店など協力し合う	1
(3) 人と環境にやさしい公共交通を拡充し利便性を高めるまちをつくります。(公共交通)	
鉄軌道の整備	
・北大阪急行の延伸をしてほしい	19
・北大阪急行の延伸反対	4
・上止々呂美、森町のトンネル、有料化しているが今後の対策はあるのか。拡大路線は破綻を招くのでは。	1
バス路線網の整備	
・バス路線を多くしてほしい。巡回バスなど、交通の便をよくしてほしい	20
・福祉バスの運行数を増やす。不正な利用をなくしてほしい	5
・福祉バスについて費用を負担してもいいから誰でも乗れるようにしてほしい	2
・福祉バスの運転士で態度が横柄な人がいる	1
・彩都方面にもバスの運行をお願いしたい	1
・ガラシア病院の近くにもバス停をつくってほしい	1
公共交通機関への乗り継ぎの促進	
・公共交通機関の整備・充実	15
・地下鉄が延伸され安い住宅が供給されたら、若い人、子どもも増えコミュニケーションも広がる	1
・阪急箕面駅界隈への交通網が充実してほしい	1

目標4 「箕面らしさ」を活かすまち

内 容	件数
(1) 山、川、緑の自然環境を守ります。(自然)	
地球環境保全行動の支援	
・自然環境保全や景観に配慮した整備・開発をおねがいしたい	107
山間・山麓部の豊かな自然の保全・活用	
・箕面の滝を元に戻してほしい	1
身近な自然の保全・活用と創出	
・自然を生かしたエコ活動、自然とふれあえるキャンプ場や遊び場施設の開発、農作物づくりの現地参加、朝市の推進が必要	1
河川(ため池)	
・箕面川で蛍が見られるよう環境づくりをする	3
山なみ景観の保全	
・箕面の山にごみが多すぎ、この問題を行政で解決してほしい	2
(2) 歴史・文化を後世に伝えていきます。(歴史・伝統文化)	
・該当なし	
(3) 住環境・まちなみ・景観を大切にします。(住環境・まちなみ)	
既成市街地の整備	
・阪急桜井駅周辺の活性化と道路の違法駐車を解消してほしい	16
・商店街の活性化	2
・地元商店街への補助	1
・牧落駅近くにスーパーがほしい	1
・箕面市の機能の中心はどこか、箕面駅・桜井駅周辺地域の活性化などない	1
新市街地の整備	
・住宅の開発マスタープラン	1
山間・山麓部や市街化調整区域等の保全・活用	
・休耕地の活用	1
・市街化調整区域の有効な土地活用を図る	1
公的住宅の整備・運営	
・箕面市営住宅への入居を希望	2
自動車交通の適正化	
・国道 171 号線の交通渋滞の解消など、幹線道路の充実	3
・道路整備が一部の地区だけ立派なのは釈然としない	1

内 容	件数
道路ネットワークの充実	
・牧落と桜井の間の半分整備されたまま放っておかれている道路をそのままにしておいたら公園にしてほしい	1
・坊島3丁目、家の前は田んぼであぜ道、ちゃんとした道路をつくってほしい	1
・西国街道の合理的な一方通行の検討を図ってほしい	1
交通環境の整備	
・歩道の環境整備、歩道と自転車道との区分けなど	12
・地域ごとに遊歩道を増やしてほしい	3
・駐輪場の無料化	1
・国道171号線の歩道を拡げてほしい	1
・萱野の交差点の歩行者信号は渡りきるまでに点滅する。間隔が短い	1
・牧落、桜井駅あたりに駐車場をつくってほしい	1
・牧落駅にエスカレーターをつくってほしい	1
安全で快適な都市環境の整備・保全	
・パチンコ施設はたくさんいない	10
・老人・子どもたちが暮らしやすいまちにしてほしい	7
・治安のよいまちにしてほしい。防犯強化	3
・24時間営業店は必要ない。23時までの規制を設けたらいい	2
良好なまちなみ景観の形成	
・カラス対策が必要	6
・電柱電線のない美しいまちなみをモットーにしてほしい	1
・箕面滝道の電線の地中化を検討してほしい	1
(4) 新しい観光と産業で“まち”を活性化させます。(観光・産業)	
観光環境の整備	
・箕面駅周辺の再開発、観光に力をいれてほしい	8
・市が支援して滝道に質のよい店が増えると、観光事業が成り立つのではないかと	2
・観光客が気持ちよく使える、明るく清潔なトイレへの改修	1
農林業の保全・育成	
・物価が高いので地元の農産物を利用し、食料品が安くなる政策が必要	1
・自給自足できるような環境をつくる	1
新産業の振興	
・箕面独自のものをつくりあげてほしい	1
・ファミリーレストランより、美味しい店をつくってほしい	1

目標5 . 誰もが公共を担い、みんなでつくるまち

内 容	件数
(1) 地域コミュニティが元気で住みよい地域をつくります。(地域コミュニティ)	
行政情報の提供	
・ 市政がどのように活動しているか市民に P R が必要	1
・ インターネットを使った情報提供、市民の意見を聞き入れるサイトが必要	1
・ 現状を見据え、国や市は状況を説明した上でお金が必要であることを市民にアピールし、 税金を増やすことで収支のバランスをよくし、福祉などのサービスを満足いくものにすべき	1
地域情報化の促進	
・ 情報通信リテラシーの向上に向けての啓発	1
・ 「もみじだより」を全世帯に配布してほしい	1
コミュニティ活動の促進	
・ 地域の人々と交流が深まるイベント、魅力がアピールできるイベントのを開催すべき	7
・ 健康でいられるために地域や区域でスポーツ活動をしたい	2
地域活動の拠点づくり	
・ 小野原地区に公共施設が必要	1
・ 子どもと老人がともに遊べる場所と機会の確保	1
・ 箕面市全体の自治会を整理してほしい	1
地域密着型の行政運営	
・ 地域のことは決まった人だけでなく、全体で協力できるようになればいい	2
・ 様々なことをすべて市が請け負うのではなく、市民ボランティアや地域の方を活用するしくみづくりが必要	2
・ 市民や利用者の声を尊重し、地域で支えることが必要	1
・ 市民ニーズをいかに行政に取り入れるかが課題。公務員としてのマナーが悪い	1
・ 国・府からの補助金を廃止し、各市町村へ税金が直接入るようにし、自治体が主たる行政となるべき	1
・ 市民が意見を出しやすい仕組みをつくってほしい	1
・ 行政はいかに市民によく理解されるか努力すべき	1
(2) 市民の公益活動ネットワークが協働して、新しい公共を創造します。(公益市民活動)	
市民参加によるまちづくり	
・ 多くの知識のある高齢者にボランティアしてもらい、市の一翼を担ってほしい	1
・ 夜遅くうろついている子どもを保護すること。市民参加 O K の夜の見回り活動など	1
・ 市民各自が社会のルールを守り、マナーをよくする	1
・ 市民の質の向上	1

内 容	件数
(3) 市民とともに行政は無駄のない経営を進め、健全な財政を次世代に継承します。(行政経営)	
・職員数を減らし合理化するべき。市長、市議の給与カットなど	18
・税金の無駄遣いしないでほしい。税金の使い道が一般市民に反映されていないのでは。財政を健全に運営することなど	11
・市民税・固定資産税など税金が高すぎる。安くしてほしい	8
・市民と行政が一丸となって必要なことを実行していくことが必要	6
・無駄な公共工事をしない	5
・市長・議員が私欲を捨て、協力し合い本当に良いと思えることを計画、実行していただきたい	5
・市職員の意識改革、質の向上が必要	5
・市役所の窓口受付時間の延長、土日も開けてほしい	4
・市組織の簡素化。施策の重点化スリム化による無駄の排除	4
・無駄な施策をつくらないこと	3
・市の借金を減らし早く黒字化してほしい	2
・都市計画の充実	2
・市長の政策等への要望・反対意見など	2
・職員給与の適正化	1
・身体障害のある人に対する職員の意識を高めてもらいたい	1
・議会の構成・議員や職員の意識も変わらないと期待が持てない	1
・市民税を払っている以上、行政サービスは平等が必要(十分な税金負担をしても行政サービスは普通以下か)	1
・まちづくりのセンスがない。つくりっぱなし、開発しっぱなし。土木業だけが儲けて、そのあとの管理は誰もしないという悪いイメージしかない	1
・選挙時に公約発言されたことは8割くらい守ってほしい	1
・市職員が市民のために仕事をしているかどうか確認するシステムが必要	1
・現在の委託者(労働者)の仕事量対給与面及び職員の接し方などの行政担当者は、どれくらい把握されているか疑問に思えるところが多く感じられる	1

内 容	件数
アンケートについて	
・このアンケートは難しい、目的がよくわからない。無駄遣いに思う	12
・このアンケートがどのように市政に活かされるかわかればいい	2
・アンケートの中身に不満	1
・選挙戦前にアンケート調査をして意味があるのか	1
その他	
・水道代が高い	4
・便利さばかりを追求してもよい結果は望めない。現在のつけを未来に残さないためには、多少不便さがあってもよい	3
・行政に期待するだけでなく、自分たちでできることは自分たちでやって、限られた資源、財源を大切にし、みんなで箕面を守りたい	2
・「今の住みやすさを10年後も維持する」という目線で見直していくことが大切	1
・北摂2市2町は合併しなくていい	1
・高齢化問題・環境保全に関して府内で一番進んでいる市を認識できるような、モデル市になるよう目指してほしい	1
・食糧危機に対応するために穀物の備蓄量を国・地方市場が備蓄して価格の安定化を計る必要がある	1

結果の概要

自由回答については、計 534 件の意見がありました。その中で、特に多い意見としては、自然環境の保全に関する意見が多くなっています。

1．安全・安心でみんながいきいき暮らすまち

健康・医療について

医療福祉の充実を求める意見が多くなっています。その他、市立病院の医師の充実や公的病院の増設といった市立病院の充実への要望も見られます。

高齢者・障害者・外国人について

デイサービス等、介護サービスの充実を求める意見や高齢者の自立生活への支援に関する意見が見られます。

安全について

災害に備えた危機管理体制の強化に関する意見や外灯の整備、防犯のためのカメラの設置など、防犯対策に関する意見についても見られます。

2．子どもたちの夢が育つまち

人権について

子どもに対して命の大切さ、人を思いやる心の指導をしてほしいといった、人権尊重意識の醸成を求める意見が見られます。

子育て支援について

乳児医療の助成等の子育て支援制度の充実を求める意見が多くなっています。また、保育所の整備など子育てしやすい環境づくりに関する意見についても見られます。

教育・生涯学習について

教育内容や学校環境の整備、また、スポーツ施設の整備等の生涯学習の充実を求める意見が見られます。

3．地球環境さきがけのまち

生活環境の整備と保全について

恵まれた環境を維持するために地球環境にやさしいライフスタイルの推進を求める意見が見られます。また、ごみ処理問題に関する意見が多く見られます。その他、リサイクル・再資源化の推進に関する意見も多くなっています。

公共交通について

バスの路線を多くしてほしい、交通の便をよくしてほしいなど、バス路線網の整備を求める意見が多くなっています。併せて鉄軌道の整備に関する意見についても多くなっています。また、歩道の環境整備、歩道と自転車道との区分け、交通ルールの確立、道路等の環境を整備すべきといった交通安全施策を求める意見が多くなっています。

4. 「箕面らしさ」を活かすまち

自然環境の保全について

地球環境保全行動への支援に関する意見が多くなっています。また、自然豊かなのどかなまちなみを維持してほしいといった環境保全意識の向上や自然の保全・活用に向けた意見が見られます。

住環境・まちなみについて

電線の地中化など、良好なまちなみ景観の形成に向けた意見や公的住宅の整備・運営に関する意見が見られます。

観光・産業の振興について

箕面駅周辺の再開発・観光に力を入れてほしいといった観光基盤の整備に関する意見が多く見られます。

産業については、自給自足ができるような環境づくりといった農林業の保全・育成に関する意見が見られます。

5. 誰もが公共を担い、みんなでつくるまち

多様な市民活動の推進について

地域の人々と交流が深まるイベントの開催などコミュニティ活動の促進に関する意見が多くなっています。その他、地域のことについて決まった人だけでなく、地域全体で協力できる体制づくりに関することや市民が意見を出しやすい仕組みづくりに関することについての意見が見られます。

行政経営について

財政の健全化や市民と行政の協働が必要であるといった意見が多く見られます。

6 . 総評

(1) 定住について

定住を希望する回答は7割以上であり、前回調査時同様に住環境への市民の評価は比較的高いものと思われます。ただし、20年以上住んでいる人が5割を超えており、前回調査時よりも長く住んでいる人が多くなっており、自分の家があるから、他に移る理由がないからといった宿命的な定住が多くなっていることが影響していると推察され、今後は、特に若い世代において「箕面市に住み続けたい」という積極的な選択的定住の増加を図る必要がうかがえます。

(2) 市民協働とまちづくり

市民協働については、福祉活動や防災活動といった安全・安心を構築する要素（人の関わる分野）においては、市民もしくは市と市民が協働で担い進めていくべきだという意見が多くなっています。一方、公共物の管理・活用、道路や駅周辺の整備、経済的支援・制度、サービス支援といった社会的資源や基盤的な要素（モノの関わる分野）においては、市が担い進めるべきだという意見が多くなっています。

年代別に見ると、30代～50代において、協働の意識が他の年代よりも高くなっており、これらの年代を取り込むことで、効果的なまちづくりの取り組みが期待されます。

(3) 将来都市像について

市民の求める将来の都市像は、「生活環境」「元気」「安心」「暮らし」と言った要素が重要となっており、これは、前回調査と同様の傾向となっています。特に、「生活環境が整い、落ち着いて暮らせるまち」については、前回から引き続き最も高い割合を占めており、「子どもからお年寄までが安心して元気に暮らせるまち」が5割弱と、前回調査と比較して、割合が高くなっています。

そのため、箕面市のまちづくりは、「生活環境が整備され、すべての年代の人が安心して、落ち着いて暮らすことができるまち」を目標として進めていくことが求められています。

その実現のためのキーワードとしては、「自然」「環境」「交通」「市民活動」「地域交流」「安全・安心」などであり、特に自然環境に対する意識が高くなっています。

利便性の高い快適な生活と、自然に恵まれた豊かな生活環境を両立しながら、市民との協働によるまちづくりが求められていることがうかがえます。

(4) 今後望まれる施策

これまで市が実施してきた取り組みにおいて、福祉（高齢者・子育て）、公共交通整備、自然環境保全、防災・危機管理などについては、満足度が低く重要度が高くなっており、これらについては今後も取り組みの充実が求められます。

また、健康づくりや医療、資源再利用や環境保護、消防・救急体制、学校教育、福祉（障害福祉）については、満足度、重要度がともに高く、今後も継続した取り組みが求められています。

自由回答で意見の多かった歩道や道路環境、交通安全、公園、ごみ処理、観光、駅周辺の活性化、都市景観、コミュニティ活動・地域交流への取り組みについても充実することが重要です。

7 . 資料編

(1) 調査票

へいせい ねんど ねんど じきみのおしそごうけいかく
平成23年度(2011年度)からの次期箕面市総合計画
さくてい しみんいしきちょうさ きょうりょく ねが
策定のための「市民意識調査」へのご協力のお願い

しみん ひごろ しせい りかい きょうりょく まこと
市民のみなさまには、日頃から市政にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。
ほんし げんざい へいせい ねんど ねんど じきみのおしそごうけいかく さくてい すす
本市では現在、平成23年度(2011年度)からはじまる次期箕面市総合計画の策定を進めており、ま
ちづくりの方針を示す最も基本となる総合計画に、市民のみなさまのご意見を反映していきたく
かんが
いと考えております。

しみん し げんじょう たい かん
そこで、市民のみなさまが市の現状に対してどのように感じておられるか、またこれからのまち
かん かんが はあく みのおし す さいいじょう かた むさく
づくりに関してどうお考えなのかを把握するため、箕面市にお住まいの16歳以上の方を無作為
えら しみんいしきちょうさ じっし
に選ばせていただき、市民意識調査を実施することといたしました。

ちょうさ けっか どうけいてき しより ちょうさもくてきがい りよう かいどうしゃ かたがた
この調査の結果は統計的に処理し、調査目的以外には利用しませんので、回答者の方々にご
めいわく いっさい
迷惑をおかけすることは一切ありません。

いそが まこと きょうしゆく ちょうさ しゆし りかい きょうりょく
お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよ
ねが もう あ
うお願い申し上げます。

へいせい ねん ねん がつ
平成20年(2008年)7月
みのおしちょう ふじ さわ じゆん いち
箕面市長 藤 沢 純 一

ご記入にあたって

かいどう な ほんにん いけん こた ほんにん きにゅう
ご回答は、あて名ご本人の意見でお答えください。なお、ご本人が記入できないときは、
かぞく ゆうじん だいひつ けっこう
ご家族やご友人が代筆していただいても結構です。

(The questionnaire is only Japanese language. Please ask your family members
or friends who can understand Japanese to answer the questions.)

かいどう ぼーるぺん こ えんぴつ ちょうさひょう ちやくせつ きにゅう
ご回答は、ボールペン、濃い鉛筆などで、この調査票に直接ご記入ください。

かいどう あ ばんごう まる かこ しつもん えら まる かず こと
ご回答は、当てはまる番号を で囲んでください。質問によって選ぶ の数が異なりますの
ちゅうい
で、ご注意ください。

た あ ばあい ない ぐたいてきかんけつ きにゅう
「その他」に当てはまる場合は()内になるべく具体的簡潔にご記入ください。

きにゅう ちょうさひょう むきめい どうふう へんしんようふうとう きって ふよう い
ご記入いただいた調査票は、無記名のまま、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、
がつ にち もく とうかん
7月17日(木)までにご投函ください。

ちょうさ と あ かき ねが
この調査の問い合わせは、下記までお願いします。

みのおしやくしよ しちょうこうしつ せいさくきかくか
箕面市役所 市長公室 政策企画課

TEL : 072-724-6718

FAX : 072-723-2096

あなた自身のことについてお伺いします

問1 あなたご自身のことについてお聞かせください。

あなたの性別をお知らせください。当てはまる番号を で囲んでください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

あなたの年代をお知らせください。次の中から当てはまる番号を で囲んでください。

- | | | | | |
|-----------|-----------|----------|--------|--------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代 | 5. 50代 |
| 6. 60～64歳 | 7. 65～69歳 | 8. 70歳以上 | | |

あなたは箕面市のどの地区にお住まいですか。次の中から当てはまる番号を で囲んでください。

- | | | | |
|-----------|------------|-----------|-----------|
| 1. 箕面 | 2. 温泉町 | 3. 箕面公園 | 4. 西小路 |
| 5. 牧落 | 6. 百楽荘 | 7. 桜 | 8. 桜井 |
| 9. 半町 | 10. 瀬川 | 11. 桜ヶ丘 | 12. 新稲 |
| 13. 稲 | 14. 萱野 | 15. 西宿 | 16. 今宮 |
| 17. 外院 | 18. 石丸 | 19. 白島 | 20. 坊島 |
| 21. 如意谷 | 22. 船場西 | 23. 船場東 | 24. 小野原西 |
| 25. 小野原東 | 26. 粟生外院 | 27. 粟生新家 | 28. 粟生間谷西 |
| 29. 粟生間谷東 | 30. 大字粟生間谷 | 31. 彩都粟生南 | 32. 上止々呂美 |
| 33. 下止々呂美 | 34. 森町中 | 35. 森町北 | |

あなたのご家族の構成をお知らせください。次の中から当てはまる番号を で囲んでください。

- | | |
|----------------|---|
| 1. 単身世帯 | |
| 2. 夫婦のみ | |
| 3. 二世帯同居（子と同居） | |
| 4. 二世帯同居（親と同居） | |
| 5. 三世帯同居 | |
| 6. その他（具体的に | ） |

あなたの主な職業をお知らせください。次の中から当てはまる番号を1つ選び、番号を で囲んでください。

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 会社員・公務員 | |
| 2. 自営業 | |
| 3. 自由業（医師、弁護士、芸術家など専門的職業） | |
| 4. パートタイマー・アルバイト・内職 | |
| 5. 家事（主婦・夫、家事手伝いなど） | |
| 6. 学生・生徒 | |
| 7. 無職 | |
| 8. その他（具体的に | ） |

箕面市にお住まいになって何年ぐらいになりますか。次の中から当てはまる番号を で囲んでください。

- 1 . 1 年未満
- 2 . 1 ~ 3 年未満
- 3 . 3 ~ 5 年未満
- 4 . 5 ~ 1 0 年未満
- 5 . 1 0 ~ 2 0 年未満
- 6 . 2 0 年以上

現在のお住まいの所に来られる前はどちらに住んでおられましたか。次の中から当てはまる番号を 1つ 選び、番号を で囲んでください。

- 1 . 箕面市内 (市内で転居)
- 2 . 大阪市
- 3 . 豊中市
- 4 . 吹田市
- 5 . 池田市
- 6 . 茨木市
- 7 . その他の大阪府内の市町村
- 8 . 兵庫県
- 9 . 京都府
- 1 0 . 生まれて以来現住所
- 1 1 . その他 (具体的に)

あなたは、自分の健康についてどのように考えていますか。次の中から当てはまる番号を 1つ 選び、番号を で囲んでください。

- 1 . とても健康である
- 2 . 健康である
- 3 . あまり健康でない
- 4 . 健康でない

あなたの人権は守られていると思いますか。次の中から当てはまる番号を 1つ 選び、番号を で囲んでください。

- 1 . 守られている
- 2 . どちらかと言えば守られている
- 3 . どちらかと言えば守られていない
- 4 . 守られていない
- 5 . わからない

あなたは、行政の情報をどのような方法で得ていますか。次の中から当てはまる番号を 全て 選び、番号を で囲んでください。

- 1 . 市広報紙「もみじだより」
- 2 . 市ホームページ
- 3 . 市議会広報紙「みのお議会だより」
- 4 . コミュニティ放送「タッキー 8 1 6 」
- 5 . 公共施設にあるポスターやチラシ
- 6 . 自治会など地域での回覧物
- 7 . その他 (具体的に)

市内での定住意向などについてお伺いします

問2 あなたが、箕面市に住むようになった主な理由は何ですか。次の中から当てはまるものを3つまで選び、番号を で囲んでください。

1. 親の代から住んでいるから
2. 箕面市に住んでいる人と結婚したから
3. 手頃な土地・住宅が見つかったから
4. 公営住宅、または公団住宅に入居できたから
5. 会社の寮や社宅があったから
6. 住宅地としてのイメージが良いから
7. 自然の山々が近くにあり、自然環境が良いから
8. 子どもを育てる環境（教育）が良いから
9. 物価が安く暮らしやすいから
10. 通勤・通学に便利だから
11. 商売などの事業をするのに都合良かったから
12. 特にない
13. その他（具体的に)

問3 あなたは、これからも箕面市（現在お住まいの地区）に住みつづけたいと思っておられますか。次の中から当てはまるものを1つ選び、番号を で囲んでください。

1. これからもずっと住みつづけたい → 問4へ
2. 転勤などやむを得ない事情がない限り住みつづけたい → 問4へ
3. すぐにでも引っ越したい → 問3 - 1・2へ
4. いずれは引っ越したい → 問3 - 1・2へ
5. 何とも言えない → 問4へ
6. その他（具体的に)

問3 - 1【問3で3または4を選択された方のみお答えください】

あなたが引っ越したいと回答された最も大きな理由は何ですか。次の中から当てはまるものを1つ選び、番号を で囲んでください。

1. 通勤・通学に不便だから
2. 現在の住宅に不満だから（住宅が狭い、古い、または家賃が高いなど）
3. 近所づきあいになじめないから
4. 子どもの教育面など生活環境がよくないから
5. 都会的な楽しさや魅力が少ないから
6. バスや電車など公共交通網が整備されていないため移動に不便だから
7. 買い物などに不便だから（近くにない、物価が高い）
8. その他（具体的に)

問3 - 2【問3で3または4を選択された方のみお答えください】

どのような地域に移りたいと考えていますか。次の中から当てはまるものを1つ選び、番号を で囲んでください。

1. 箕面市内の他の地区
2. 東京都内や大阪市内などの大都市
3. より通勤・通学が便利な都市
4. より広い住宅に住むことができる都市
5. 箕面市より自然の豊かな地方のまち
6. わからない
7. その他（具体的に)

これからのまちづくりについてお伺いします

【市民協働】

市民協働とは、日常生活における様々な課題に対し、市民自らも主体となって市と共通の目的をもって解決にあたることであり、「市民と市がともに考え、ともにつくり、ともに実行していく姿」です。

問4 これからの社会では、市民のみなさんと市が役割分担をしながら、市民一人ひとりが主体となってまちづくりを進めていくことが必要です。それぞれの項目について、主に誰が中心となって進めていくべきだと考えますか。あなたの考えに近い番号を1つ選び、番号を で囲んでください。

		1 市が担う	2 市と市民が協働で担う	3 市民が担う	4 わからない
(1)	地域の道路や街路樹の管理 (枝払い・草刈り・側溝清掃など)	1	2	3	4
(2)	地域の公園の管理 (公園内の草取り・清掃・植栽の管理など)	1	2	3	4
(3)	環境保全活動 (ごみの減量化・リサイクルの推進・環境意識啓発活動など)	1	2	3	4
(4)	里山の保全 (下刈り・間伐・自然観察会など)	1	2	3	4
(5)	地域の文化財の管理・活用 (史跡や建造物等文化財の管理・説明など)	1	2	3	4
(6)	高齢者の生活支援 (ひとり暮らし高齢者の見守り・声かけなど)	1	2	3	4
(7)	健康増進活動 (地域での健康づくり教室や勉強会の開催など)	1	2	3	4
(8)	地域での子育て支援 (子どもへの声かけや見守り・育児サポートなど)	1	2	3	4
(9)	防災活動 (災害に備えた地域での自主的な防災組織の活動や防災訓練など)	1	2	3	4
(10)	地域の公共施設の管理 (コミュニティセンターなどの利用者受付・清掃・管理など)	1	2	3	4

ここでいう市民とは、箕面市に在住している住民だけでなく、市内で活動などを行っている事業者や団体、組織、それらに属する人を含みます。

問5 あなたは、自治会や各種団体、ボランティア組織、NPOなどの活動に、どの程度参加したことがありますか。次の中から当てはまるものを1つ選び、番号を で囲んでください。

NPOとは、営利を目的とせず、社会の抱える問題を解決するため自主的・自立的に活動する民間組織のことです。(例：環境保全、福祉の向上など)

1. 積極的に参加している	_____	→ 問6へ
2. ときどき参加している	_____	
3. あまり参加したことがない	_____	→ 問5 - 1へ
4. 参加したことがない	_____	

問5 - 1【問5で3または4を選択された方のみお答えください】

参加したことがないと回答された最も大きな理由は何ですか。次の中から当てはまるものを1つ選び、番号を で囲んでください。

1. 参加したいが、始めるきっかけや機会がない	
2. 参加したいが、どこに問い合わせをすればいいのかわからない	
3. 興味のある活動に対する情報がない	
4. 活動に参加する時間がない	
5. 活動に興味がない	
6. 活動の必要性を感じない	
7. 人間関係がわずらわしい	
8. その他(具体的に _____)	

問6 市では、市民協働型社会の実現をめざしていますが、あなたは、このことについてどう考えますか。次の中から当てはまるものを1つ選び、番号を で囲んでください。

1. 推進すべき	_____	→ 問6 - 1へ
2. ある程度推進すべき	_____	
3. どちらとも言えない	_____	→ 問7へ
4. あまり推進すべきでない	_____	
5. 推進すべきでない	_____	

問6 - 1【問6で1または2を選択された方のみお答えください】

市民協働型社会の実現のため、あなたは、市がどのようなことに取り組むべきだと考えますか。次の中から当てはまるものを2つ選び、番号を で囲んでください。

1. 市政情報の積極的な提供	
2. 職員の意識改革など市役所の体制整備	
3. 市民活動促進のための仕組み・ルールづくり	
4. 市民と市の意見交換の場の設定	
5. 自治会活動の活性化	
6. 市民の協働意識の醸成	
7. わからない	
8. その他(具体的に _____)	

【子育て環境】

問7 あなたは、少子化が進む中で、この変化に対応するには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中から当てはまるものを2つ選び、番号を で囲んでください。

- 1 . 妊婦や乳幼児に対する健康診査など母子保健事業の充実
- 2 . 乳幼児医療費助成などの補助の充実
- 3 . 保育所定員の拡充
- 4 . 一時保育（緊急時や用事の際などに保育所で一時的に預かる制度）の充実
- 5 . 子育て相談や情報提供など子育て支援サービスの充実
- 6 . 子育てグループなど子育てに関わる市民活動の支援
- 7 . 子どもの遊び場の整備
- 8 . 在宅勤務や育児休業制度など就業環境の整備
- 9 . わからない
- 10 . その他（具体的に)

【学校教育】

問8 あなたは、学校教育を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中から当てはまるものを2つ選び、番号を で囲んでください。

- 1 . 社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進
- 2 . 小・中学校が連携し、9年間を見通したカリキュラムによる教育の推進
- 3 . コンピュータやインターネットなど、情報教育の充実
- 4 . 国際化を視野に入れた教育の充実
- 5 . 体験学習活動を通じた地域の人たちとの交流など開かれた学校づくり
- 6 . 少人数学級の推進など、きめ細かな教育の推進
- 7 . 家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進
- 8 . 子ども同士のつながりを深めるための学年を越えた交流の促進
- 9 . 不登校やいじめなどへ対応した教育の推進
- 10 . 校舎の耐震化など、施設の改修・整備
- 11 . 学校内や通学路における子どもの安全対策の強化や安全教育の充実
- 12 . わからない
- 13 . その他（具体的に)

【健康づくり】

問9 あなたは、健康づくりを充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中から当てはまるものを2つ選び、番号を で囲んでください。

- 1 . 妊婦や乳幼児に対する健康診査など母子保健事業の充実
- 2 . 成人病検診やがん検診の充実
- 3 . 健康相談・健康教室の充実
- 4 . 保健師などの訪問活動の推進
- 5 . 救急・休日・夜間・往診など医療の充実
- 6 . スポーツによる健康づくり・体力づくり
- 7 . 市民が主体となった地域での健康づくりの推進
- 8 . わからない
- 9 . その他（具体的に)

【福祉】

問10 あなたは、福祉を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中から当てはまるものを2つ選び、番号を で囲んでください。

1. 高齢者や障害者が入所（入居）できる施設の整備
2. 高齢者や障害者の日中活動の場の充実
3. 高齢者や障害者などが生活しやすいバリアフリー化の推進
4. 地域全体で高齢者や障害者などを支える仕組みづくりの整備
5. 高齢者や障害者などを介助するボランティアの育成
6. 福祉制度など経済面での生活支援の充実
7. 元気高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実
8. わからない
9. その他（具体的に

【産業振興】

問11 あなたは、産業振興・活性化のためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中から当てはまるものを2つ選び、番号を で囲んでください。

1. 身近な商店街のにぎわいを生む商業の振興
2. 箕面駅や桜井駅周辺地域などの活性化
3. 大型店を核とした商業地区の整備
4. 新たな産業の育成・支援
5. 企業や研究機関などの誘致
6. 地域資源の活用による箕面ブランドの開発
7. 遊休農地の活用、後継者育成などによる農業の振興
8. 新規産物の開発や物産販売所、朝市開催など特産物による振興
9. 歴史・文化・自然などを生かし、交流人口の増加による観光振興
10. わからない
11. その他（具体的に

【環境】

問12 あなたは、環境を良くするためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中から当てはまるものを2つ選び、番号を で囲んでください。

1. 電気・ガス・ガソリンなどエネルギー利用の抑制
2. 公共交通網の整備などによる自動車利用の抑制
3. 太陽光発電や緑化推進などに対する助成の充実
4. 山林・農地・水辺空間など自然環境の保全
5. 新規開発や住宅建築時の規制誘導による住環境の保全
6. 山なみ景観や街なみ景観の保全と育成
7. 資源ごみの分別などによるリサイクルの推進
8. マイバッグ利用や簡易包装などによるごみの発生抑制
9. 大気汚染・騒音・振動・悪臭など公害対策の充実
10. いろいろな環境問題に取り組む市民活動への支援の充実
11. わからない
12. その他（具体的に

【安全】

問13 あなたは、地震や台風など災害による被害を防ぐ取り組みとして、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中から当てはまるものを2つ選び、番号を で囲んでください。

- | |
|------------------------|
| 1. 避難訓練や防災講座などの啓発活動の充実 |
| 2. 耐震診断や改修などの補助制度の充実 |
| 3. 防災資機材の備蓄・整備の充実 |
| 4. 災害時における連絡体制の充実 |
| 5. 施設の耐震化の充実 |
| 6. 自主防災組織の結成促進 |
| 7. 災害時の広域連携の推進 |
| 8. まちぐるみの防災対策の推進 |
| 9. わからない |
| 10. その他（具体的に) |

【人権】

問14 あなたは、人権問題を解決するためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中から当てはまるものを2つ選び、番号を で囲んでください。

- | |
|---------------------------|
| 1. 人権問題について学ぶ講座やセミナーの開催 |
| 2. 学校教育における人権教育の充実 |
| 3. 人権に関する相談の強化 |
| 4. 人権侵害被害者への救済 |
| 5. 広報紙での人権啓発記事の掲載 |
| 6. 人権問題を取り扱った冊子、パンフレットの配布 |
| 7. わからない |
| 8. その他（具体的に) |

問15 あなたは、男女が対等なパートナーとして、家庭、職場、地域における活動を両立し、社会のあらゆる分野に参画していくためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中から当てはまるものを2つ選び、番号を で囲んでください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 講座やセミナーなど、社会教育における男女協働参画の啓発 |
| 2. 学校教育における男女共生教育の充実 |
| 3. 女性の就労促進・支援につながる専門知識や技術の取得 |
| 4. 男性の家事や育児など、生活面での能力の取得 |
| 5. 職場における労働時間の短縮、育児休業・介護休業の取得の促進 |
| 6. 審議会や委員会など市の政策決定の場や管理職への女性の積極的な登用 |
| 7. 子育てや介護などを支援する社会サービスの充実 |
| 8. 社会制度や慣行の見直し |
| 9. わからない |
| 10. その他（具体的に) |

【公共交通の整備】

問16 あなたは、公共交通の整備を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中から当てはまるものを1つ選び、番号を で囲んでください。

1. 北大阪急行の延伸など鉄軌道の整備
2. バス路線網の整備
3. 駅前広場や駐輪場の整備など、公共交通機関への乗り継ぎの促進
4. 渋滞緩和や違法駐車対策の充実
5. わからない
6. その他（具体的に)

行政運営についてお伺いします

【市民意見の反映】

問17 あなたは、現在の市政に市民の意向がどの程度反映されていると考えていますか。次の中から当てはまるものを1つ選び、番号を で囲んでください。

1. 十分反映されている →問18へ
2. ある程度反映されている
3. あまり反映されていない →問17-1へ
4. まったく反映されていない

問17-1【問17で3または4を選択された方のみお答えください】

市政に市民の意向が反映されていないと回答された主な理由は何ですか。次の中から当てはまるものを1つ選び、番号を で囲んでください。

1. 市民の意見や要望の把握が不十分であるから
2. 市民が市に意見や要望を伝えても、対応が不十分であるから
3. 市に意見や要望を伝える方法を知らないから
4. 市に意見や要望を伝えている市民層が限られているから
5. 市は財政面や人材面などで対応力に限界があるから
6. その他（具体的に)

問18 あなたは、できるだけ多くの市民の意向を市政に反映させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中から当てはまるものを2つ選び、番号を で囲んでください。

1. 市長と対話できる機会の充実
2. 市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実
3. 幅広い市民参加の促進
4. 審議会などへの市民参加の充実
5. アンケート調査の実施
6. パブリックコメントの充実
7. 広報紙やホームページなどによる情報提供の機会の充実
8. コミュニティ放送「タッキー816」による情報提供の機会の充実
9. 平日に勤めている方などが参加できる機会の提供
10. わからない
11. その他（具体的に)

パブリックコメントとは、政策等の意思形成過程において、その案等を公表し、広く市民の意見・情報を求め、寄せられた意見などを考慮して意思決定を行うものです。なお、寄せられた意見の概要とその意見に対する行政機関の考え方をとりまとめて公表します。

【行政改革】

問19 あなたは、限られた財源や人材を有効に使い、効果的かつ効率的な行政サービスを提供するためには、今後どのような方策が必要だと考えますか。次の中から当てはまるものを2つ選び、番号を で囲んでください。

1. 事務・事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する
2. 市民ニーズに合わせて市役所の組織をつくり直す
3. 市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う
4. 市内の各種団体を対象に出される補助金を、必要に応じ統合あるいは廃止する
5. サービスにより利益を受ける市民に適切な費用を負担してもらう
6. 類似施設の統合・廃止や他施設との複合化をはかる
7. 必要に応じ業務を民間委託する
8. 市の職員数を適正なものとする
9. 市職員の給与水準を適正なものとする
10. わからない
11. その他（具体的に)

箕面市の将来都市像についてお伺いします

問20 あなたが望む箕面市の将来の姿やあるべき姿について、次の中から当てはまるものを2つ選び、番号を で囲んでください。

1. 生活環境が整い、落ち着いて暮らせるまち
2. 自然や文化、歴史を守り、伝えていくまち
3. 観光やレクリエーションのために訪れる人が多いまち
4. 率先してエコライフ（環境にやさしい暮らし）をおこなう地球環境さきがけのまち
5. 地域で子どもを育むなど、人と人が関わり人が育つまち
6. 子どもからお年寄りまでが安心して元気に暮らせるまち
7. 子どもの学力向上をめざすまち
8. にぎわいのある商業施設が充実したまち
9. 鉄道やバスなどの公共交通が整った便利なまち
10. 市民主体のまちづくりや地域コミュニティが活発なまち
11. 将来にわたって健全で持続可能な財政運営をめざすまち
12. わからない
13. その他（具体的に)

問21 問20で選んだ将来の姿を実現するために、どのような課題の解決に取り組むべきだと考えますか。次の中から当てはまるものを2つ選び、番号を で囲んでください。

1. にぎわいの核となる中心市街地がない
2. 開発などにより身近な自然環境が減少している
3. 鉄道やバスなど公共交通網の整備が不十分である
4. 開発可能な土地が残り少ない
5. 魅力を感じるような祭りやイベントが少ない
6. 製造業の発達が不十分である
7. 商業やサービス業の発達が不十分である
8. 市民の多様な活動を支援する仕組みの整備が不十分である
9. 地域における市民の交流が乏しい
10. わからない
11. その他（具体的に)

暮らしの満足度と今後の重要度についてお伺いします

問 2 2 市が実施している取り組みやサービスについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」についてお聞かせください。次の(1)～(27)の各項目について、あなたの想いに近いものを次の中からそれぞれ1つ選び、番号を で囲んでください。

	現在の満足度					今後の重要度					
	1 満足	2 ほぼ満足	3 普通	4 やや不満	5 不満	1 重要	2 やや重要	3 現状のまま	4 あまり重要でない	5 重要でない	6 わからない
(1) 健康づくりと地域医療 (ライフステージに応じた健康づくり事業、母子保健事業・介護予防事業などの保健事業、訪問看護や小児救急、箕面市立病院の診療体制や設備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(2) 子どもや子育てへの支援 (一時保育・病後時保育などの多様な保育サービス、子育てに関する相談体制や情報提供、放課後の子どもの安全な活動場所などの環境づくり)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(3) 高齢福祉の充実 (介護保険サービス、介護保険サービスの対象とならない在宅高齢者への福祉サービス、老人デイサービスセンター、一人暮らしや虚弱な高齢者への安否確認など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(4) 障害福祉の充実 (障害者が地域生活における自立を支援するための相談業務、早期療育、ホームヘルプ、日中活動の場の提供など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(5) 住環境と住宅 (公害のない居住環境、違反建築物などに対する指導、市営住宅、高齢者や障害者等の円滑な民間賃貸住宅への入居支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(6) 身近な緑と遊びの空間 (街路樹の維持管理、市民主体による公園・緑地の管理運営、農業体験機会事業など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(7) 廃棄物とリサイクル (ごみの減量、生ごみの堆肥化による有機廃棄物の再利用、リサイクルセンターの運営、環境クリーンセンターでの効率的なごみ処理など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6

	現在の満足度					今後の重要度					
	1 満足	2 ほぼ満足	3 普通	4 やや不満	5 不満	1 重要	2 やや重要	3 現状のまま	4 あまり重要でない	5 重要でない	6 わからない
(8) 防災と危機管理 (土砂災害や雨水浸水などに対応できる都市基盤、民間建築物に対する耐震診断助成、避難場所、コミュニティ放送「タッキー816」などによる情報の提供、自主防災組織の整備、広域自治体間協力など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(9) 消防・救急体制の充実 (火災や地震災害等における消火・救急・救助活動確保のための人員体制及び車両・資機材の整備、また、応急手当の普及講習、防火査察、防火訓練指導、自主防火組織の育成、消防団との連携など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(10) 交通安全の確保 (放置自転車・迷惑駐車等の排除、歩道の整備、交通安全教室の実施など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(11) 人権文化の振興 (人権に関する学習会、人権相談、外国人市民相談、市民主体の国際交流、男女が社会の対等な構成員として互いを尊重するための学習会など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(12) 学校教育の充実 (少数指導、児童の体力向上、地域や保護者の意見を取り入れた学校経営、安全な教育施設や教育環境など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(13) 生涯学習の推進 (文化・生涯学習・スポーツ活動を自主的に行う団体・グループの支援、各種イベントの開催、施設予約システム、図書館の蔵書検索・予約システム、スポーツ施設など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6

	現在の満足度					今後の重要度					
	1 満足	2 ほぼ満足	3 普通	4 やや不満	5 不満	1 重要	2 やや重要	3 現状のまま	4 あまり重要でない	5 重要でない	6 わからない
(14) 地球環境の保全 (地球環境保全に対する啓発、環境学習、公共施設での環境対策、環境 NPO や市民団体などによる地球環境保全に向けた活動に対する支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(15) 豊かな自然環境の保全 (山林所有者・市民・行政協働の自然保全活動、保護樹木・樹林など市街地にある身近な自然の保全など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(16) 健全な消費生活 (消費生活センターにおける消費生活相談、苦情処理、地球環境にやさしいライフスタイルをめざしての環境学習など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(17) 雇用創出と勤労者福祉 (雇用促進を図るための講座、小規模事業所における福利厚生への支援、シルバー人材センターの活用による高齢者の就労支援、障害者雇用支援センターの活用による障害者の就労支援、女性の就労支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(18) 産業の活性化 (魅力ある商業地域の活性化、明治の森箕面国定公園などを活用した観光業の振興、特産品の育成、農林業の保全、ベンチャー企業や SOHO などの新産業に対する支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(19) 計画的な土地利用 (駅前の商業地等の再整備、止々呂美における地域振興、かやの中央・彩都・箕面森町の秩序ある整備、山間・山麓部の自然や市街化調整区域の適正な保存など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(20) 公共交通機関の整備 (北大阪急行線延伸など公共交通ネットワークの整備、バス路線の整備、公共施設巡回福祉バスの運行、駐車・駐輪施設の整備による違法駐車対策、渋滞緩和など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6

	現在の満足度					今後の重要度					
	1 満足	2 ほぼ満足	3 普通	4 やや不満	5 不満	1 重要	2 やや重要	3 現状のまま	4 あまり重要でない	5 重要でない	6 わからない
(21) 道路の整備 (交通渋滞の解消、日常生活上の移動が容易にできる道路ネットワーク、歩道・点字ブロックの整備、段差の解消、防災強化のための狭い道などの拡幅整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(22) 上・下水道、河川の整備と運営 (安全で良質な水の安定供給、汚水処理、雨水による浸水対策、自然災害防止のための河川やため池の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(23) 美しい景観形成 (土地所有者・市民・市民活動団体との協働による山なみ景観の保全、良好な都市景観の形成、都市景観形成建築物の指定など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(24) 情報の活用 (広報紙「もみじだより」、市ホームページ、コミュニティ放送「タッキー816」などによる行政情報の提供など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(25) コミュニティの維持・再編 (自治会活動に対する支援、コミュニティセンターや学校の余剰教室を利用した地域活動拠点、行政が地域で市民と一緒にやって行くまちづくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(26) 市民参加の充実 (審議会委員への市民の登用、行政情報の公開、市民の意見を行政運営に反映させるための取り組み、市民活動センターの管理、NPO 団体との協働事業など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
(27) 財政の健全化 (行政組織のスリム化などの構造改革や歳出・歳入改革、職員の意識改革を行い、持続可能な行政体質への変革を図るなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6

